

松本康浩*¹, 尾上誠良*², 細井一弘*³, 若栗忍*⁴, 岩瀬裕美子*⁵, 山本敏誠*⁵, 松岡奈央子*⁵, 中村和市*⁶, 戸田嗣人*⁶, 高木広憲*⁷, 大崎尚人*⁷, 川上哲*⁸, 瀬戸孝樹*², 加藤尚視*², 山田静雄*², 大野泰雄, 小島肇: 光安全性評価のためのROSアッセイ多施設バリデーション.

第39回日本毒性学会 (2012.7)

*¹ あすか製薬(株)

*² 静岡県立大学薬学研究所

*³ 参天製薬(株)

*⁴ (一財)食品薬品安全センター

*⁵ 田辺三菱製薬(株)

*⁶ 塩野義製薬(株)

*⁷ 大正製薬(株)

*⁸ 旭化成ファーマ(株)

中津則之*, 五十嵐芳暢*, 山田弘*, 漆谷徹郎*, 大野泰雄: トキシコゲノミクスプロジェクトにおける対照群データの解析.

第39回日本毒性学会 (2012.7)

* (独)医薬基盤研究所

山下智也*¹, 森敦*², 川原拓馬*³, 山田弘*⁴, 漆谷徹郎*^{4,5}, 大野泰雄: 大規模データベース, 解析, 毒性予測システムTG-GATEsの機能.

第39回日本毒性学会 (2012.7)

*¹ (株)日立製作所

*² (株)日立ソリューションズ

*³ 日立公共システムサービス(株)

*⁴ (独)医薬基盤研究所

*⁵ 同志社女子大学薬学部

大野泰雄: 難分解性有機フッ素化合物の安全対策 (Safety Risk Management of Perfluoro alkyl Acids).
いわて国際環境シンポジウム～難分解性有機フッ素化合物汚染の現状と将来展望～ (2012.7)

大野泰雄: レギュラトリーサイエンスの実践と活用について.

第2回レギュラトリーサイエンス学会 (2012.9)

大野泰雄: 安全性評価のためのバイオマーカーの調査研究イントロダクション.

第6回応用トキシコロジー リカレント講座 (2012.9)

大野泰雄: 医療イノベーションの実現に向けた国立医薬品食品衛生研究所の取り組み.

平成24年度臨海部活性化シンポジウム (2012.11)

大野泰雄, 高橋光一*¹, 小林章男*², 池田孝則*³, 日原太郎*⁴: 「早期臨床試験に関する最近の話題」非臨床データの臨床試験への外挿 (バイオマーカー).

第33回日本臨床薬理学会学術総会 (2012.11)

*¹ 久光製薬(株)基礎研究所

*² 日本たばこ産業(株)医薬総合研究所

*³ MSD(株)安全性研究室

*⁴ エーザイ(株)

大野泰雄: 眼刺激性試験代替法のバリデーション「バリデーション事始め」.

日本動物実験代替法学会25周年記念講演会 (2012.12)

最上(重本)由香里, 大野泰雄, Goldman, J.E., 関野祐子, 佐藤薫: 生後ラットの脳・SVZ周辺において活性化ミクログリアは神経およびグリア細胞の新生・分化を制御している.

第86回日本薬理学会 (2013.3)

川西徹: バイオイメージングの今後の展望.

日本バイオイメージング学会第21回学術集会・公開講座 (2012.8)

川西徹: Overview: ～ナノマテリアルの開発・安全性評価のup to date～.

日本薬学会第133年会シンポジウム (2013.3)

川西徹: 国立医薬品食品衛生研究所における革新的医薬品創出に向けたレギュラトリーサイエンス研究とは.

日本薬学会第133年会シンポジウム (2013.3)

田邊思帆里, 青柳一彦*¹, 横崎宏*², 佐々木博己*¹: 胃がん細胞と間葉系幹細胞において発現変化する遺伝子群.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 国立がん研究センター研究所

*² 神戸大学大学院医学研究科

Tanabe S, Aoyagi K^{*1}, Yokozaki H^{*2}, Sasaki H^{*1}: Gene combination regulated in stem cells and gastric cancer cells.

Ninth AACR-Japanese Cancer Association Joint Conference (2013.2)

^{*1} National Cancer Center Research Institute

^{*2} Kobe University Graduate School of Medicine

Tanabe S: Molecular markers and combinations representing cellular phenotype.

BIT's 2nd World Congress of MolMed-2012 (2012.12)

Shibata H, Yomota C, Okuda H: Polyethylene glycol prevents in vitro aggregation of liposomes induced by heparin in the presence of bivalent ions.

AAPS Annual Meeting (2012.10)

吉田寛幸, 奥田晴宏, 四方田千佳子: 吸入ステロイド製剤の溶出性に与える乳糖の影響の評価.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

伊豆津健一, 四方田千佳子, 奥田晴宏, 川西徹: 凍結溶液における高分子と二糖類の混合性および変動因子.

日本薬剤学会第27年会 (2012.5)

伊豆津健一, 四方田千佳子, 奥田晴宏, 川西徹: 凍結溶液における溶質混合性と冷却条件の影響.

第57回低温生物工学会大会 (2012.5)

伊豆津健一, 四方田千佳子, 奥田晴宏, 川西徹: タンパク質医薬品の安定性向上に関する検討: 氷晶成長と凍結乾燥製剤の成分混合性.

日本蛋白質科学会第12年会 (2012.6)

Izutsu K: Phase separation of proteins and excipients in frozen solutions and freeze-dried solids.

Freeze-drying of Pharmaceuticals and Biologicals Conference (2012.8)

Izutsu K, Yomota C, Okuda H, Kawanishi T: Characterization of multi-solute frozen solutions for the development of protein and DDS formulations.

International Congress of Thermal Analysis and Calorimetry (2012.8)

大館亮平*, 伊豆津健一, 吉橋泰生*, 米持悦生*, 寺田

勝英*: *Myo-Inositol*の凍結乾燥における結晶多形に関する検討.

第56回日本薬学会関東支部大会 (2012.10)

* 東邦大学大学院薬学研究科

Izutsu K, Yomota C, Okuda H, Kawanishi T, Ohdate R*, Yamaki T*, Yonemochi E*, Terada K*: Effects of formulation and process factors on crystal forms of freeze-dried *myo*-Inositol.

AAPS Annual Meeting (2012.10)

* Toho University

于照コン*, 大館亮平*, 伊豆津健一, 寺田勝英*, 米持悦生*, 吉橋泰生*: *Myo-Inositol*の凍結乾燥における結晶多形に関する熱測定と粉末X線回折を用いた検討.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 東邦大学大学院薬学研究科

阿曾幸男, 宮崎玉樹, 奥田晴宏: D-マンニトールの結晶多形に及ぼす結晶化温度の影響.

日本薬剤学会第27年会 (2012.5)

宮崎玉樹, 阿曾幸男, 奥田晴宏: 非晶質ニフェジピンの粘弾性に及ぼす高分子添加剤の影響.

日本薬剤学会第27年会 (2012.5)

Aso Y, Miyazaki T, Okuda H: ¹³C-NMR study on crystalline state of API in some commercially available pharmaceuticals.

AAPS Annual Meeting (2012.10)

Miyazaki T, Aso Y, Okuda H: Effects of PVP and HPMC on the dynamic viscoelastic properties of amorphous nifedipine.

AAPS Annual Meeting (2012.10)

阿曾幸男, 堀寄允文, 宮崎玉樹, 奥田晴宏: ¹³C-固体NMRによる非晶質ニフェジピンの結晶化および結晶転移の検討.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

宮崎玉樹, 阿曾幸男, 奥田晴宏: デンブン・アルファー化デンブン・部分アルファー化デンブンの識別法.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

香取典子, 小出達夫, 檜山行雄, 奥田晴宏: PATにおける製剤均一性試験法の判定基準について - Large Nの妥当性.

日本薬剤学会第27年会 (2012.5)

香取典子: 日本版バイオアナリシス分析法バリデーション指針案の要点と背景.

第25回バイオメディカル分析化学シンポジウム (2012.8)

Katori N: Bioanalytical method validation: Process of preparation and notable points of the draft Japanese guideline.

19th International Mass Spectrometry Conference (2012.9).

Katori N: Regulated bioanalysis status in Japan and notable points of the draft Japanese BMV guidelines.

5th EBF Open Symposium (2012.11).

坂本知昭, 藤巻康人^{*1}, 村山広大^{*2}, 小金井誠司^{*1}, 小宮山誠^{*2}, 香取典子, 檜山行雄, 奥田晴宏: PAT評価ツールを目指した高速透過型近赤外分光器の導入アプローチ.

日本薬剤学会第27年会 (2012.5)

^{*1} (独)東京都立産業技術研究センター

^{*2} 横河電機(株)センシング研究所

笹倉大督^{*}, 平村行慶^{*}, 坂本知昭: 医薬品造粒粒子の統計的粒子形状解析と粉体レオメトリーによる複合解析.

日本薬剤学会第27年会 (2012.5)

^{*} マルバーンインスツルメンツ(株)

坂本知昭, 佐々木哲朗^{*1}, 木村寛子^{*1}, 西澤潤一^{*2}, 檜山行雄, 香取典子, 奥田晴宏: テラヘルツ分光法を用いた湿式打錠用顆粒物製造工程におけるテオフィリンの振動分光学的解析.

日本分析化学会第61年会 (2012.9)

^{*1} 静岡大学

^{*2} 上智大学

Sakamoto T, Sasaki T^{*1}, Nishizawa J^{*2}, Hiyama Y, Katori N, Okuda H: Vibrational spectroscopic analysis of theophylline in a pharmaceutical granulation process

using near-, mid- and far-infrared/terahertz spectroscopy.

37th International Conference on Infrared Millimeter and Terahertz Waves (IRMMW-THz 2012) (2012.9)

^{*1} Shizuoka University

^{*2} Sophia University

Sasaki T^{*1}, Itatani K^{*2}, Sakamoto T, Nishizawa J^{*2}: Nondestructive sample preparation of pharmaceutical samples for wide frequency range THz spectroscopy.

37th International Conference on Infrared Millimeter and Terahertz Waves (IRMMW-THz 2012) (2012.9)

^{*1} Shizuoka University

^{*2} Sophia University

Sakamoto T, Sasaki T^{*1}, Kimura H^{*1}, Tanabe T^{*2}, Nishizawa J^{*3}, Hiyama Y, Katori N, Okuda H: Understanding of pseudo-polymorphism conversion mechanism of theophylline under a wet granulation process using terahertz spectroscopy.

International Symposium on Frontiers in Terahertz Technology (FTT 2012) (2012.11)

^{*1} Shizuoka University

^{*2} Tohoku University

^{*3} Sophia University

坂本知昭, 檜山行雄, 香取典子, 奥田晴宏: NIR分光法による疑似結晶多形転移プロセスの経時的解析.

第28回近赤外フォーラム (2013.3)

坂本知昭, 佐々木哲朗^{*1}, 木村寛子^{*1}, 田邊匡生^{*2}, 西澤潤一^{*3}, 檜山行雄, 香取典子, 奥田晴宏: テラヘルツ分光法を用いた疑似結晶形転移プロセスの解析.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

^{*1} 静岡大学

^{*2} 東北大学

^{*3} 上智大学

坂本知昭, 渡邊英俊, 香取典子, 奥田晴宏: ELSDを検出器としたHPLCによる抗マラリア薬Artemetherおよび関連化合物の一斉分析.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

坂本知昭, 渡邊英俊, 香取典子, 岩崎裕子*, 高柳雅治*, 堀江真之介*, 奥田晴宏: UHPLC及び次世代SFC UPC2を用いたケトンからアルコールへの不斉合成工程における光学純度のリアルタイム解析.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

* ウォーターズ(株)

坂本知昭, 藤巻康人*¹, 村山広大*², 小金井誠司*¹, 北川雅博*², 檜山行雄, 小宮山誠*³, 香取典子, 奥田晴宏: 分散形NIR分光器を用いたIn-line高速透過錠剤含量測定.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ (独)東京都立産業技術研究センター

*² エーザイ(株)

*³ 横河電機(株)センシング研究所

Sakamoto T, Sasaki T*¹, Kimura H*¹, Tanabe T*², Fujimaki Y*³, Nishizawa J*⁴, Hiyama Y, Katori N, Okuda H: Vibrational spectroscopic analysis of pseudo-polymorphism conversion of theophylline during a tableting process.

Pittsburgh Conference on Analytical Chemistry and Applied Spectroscopy (PITTCON 2013) (2013.3)

*¹ Shizuoka University

*² Tohoku University

*³ Tokyo Metropolitan Industrial Technology Research Institute

*⁴ Sophia University

小出達夫, 眞田則明*, 戸津美矢子*, 香取典子, 檜山行雄, 奥田晴宏: TOF-SIMSを用いた製剤中におけるステアリン酸マグネシウムの特性評価.

日本薬剤学会第27年会 (2012.5)

* アルバック・ファイ(株)

山本佳久*¹, 深水啓朗*², 久田浩史*³, 小出達夫, 香取典子, 鈴木豊史*², 伴野和夫*²: 携帯型ラマン分光器の応用.

第56回日本薬学会関東支部大会 (2012.10)

*¹ 帝京平成大学薬学部

*² 日本大学薬学部

*³ (株)テックアナリシス

山本佳久*¹, 深水啓朗*², 目鳥幸一*², 大貫義則*³, 小出達夫, 香取典子, 鈴木豊史*², 伴野和夫*²: 各種クロベタゾン酪酸エステル軟膏に使用される白色ワセリン基剤の鑑別.

第22回日本医療薬学会年会 (2012.10)

*¹ 帝京平成大学薬学部

*² 日本大学薬学部

*³ 星薬科大学

伴野和夫*¹, 深水啓朗*¹, 山本佳久*², 久田浩史*³, 小出達夫, 香取典子, 鈴木豊史*¹: 携帯型ラマン分光器を用いた持参薬の迅速鑑別に関する検討.

第22回日本医療薬学会年会 (2012.10)

*¹ 日本大学薬学部

*² 帝京平成大学薬学部

*³ (株)テックアナリシス

小出達夫, 香取典子, 深水啓朗*¹, 山本佳久*², 奥田晴宏: 近赤外ケミカルイメージングによる製剤評価～原料の粒子径が測定に与える影響についての検討.

第28回近赤外フォーラム (2013.3)

*¹ 日本大学薬学部

*² 帝京平成大学薬学部

山本佳久*¹, 深水啓朗*², 久田浩史*³, 小出達夫, 香取典子, 鈴木豊史*², 伴野和夫*²: 携帯型ラマン分光器による持参薬の鑑別-粉砕された錠剤および混合された粉末状製剤-.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 帝京平成大学薬学部

*² 日本大学薬学部

*³ (株)テックアナリシス

斉藤奈央子*¹, 稲垣めぐみ*¹, 村井佑美*¹, 深水啓朗*¹, 山本佳久*², 小出達夫, 香取典子, 鈴木豊史*¹, 伴野和夫*¹: インターネットを通じて購入したアトルバスタチンCa錠の製剤学的評価.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 日本大学薬学部

*² 帝京平成大学薬学部

運敬太, 加藤くみ子, 川西徹, 奥田晴宏: リポソーム構

成分の細胞内動態特性評価.

日本薬学会第27年会 (2012.5)

運敬太, 加藤くみ子, 大島裕希, 楠原洋之^{*1}, 西山伸宏^{*2}, 片岡一則^{*2,3}, 川西徹, 奥田晴宏: ブロック共重合体の細胞内動態特性に関する評価.

第28回日本DDS学会 (2012.7)

^{*1} 東京大学大学院薬学系研究科

^{*2} 東京大学大学院医学系研究科

^{*3} 東京大学大学院工学系研究科

加藤くみ子, 運敬太, 川西徹, 奥田晴宏: リポソームの細胞内動態評価.

第21回日本バイオイメージング学会 (2012.8)

運敬太: phiC31 インテグラゼと超音波応答性マンノース修飾リポソームを利用した細胞選択的遺伝子発現長期持続化の達成.

第62回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2012.10)

加藤くみ子: ナノバイオテクノロジーの開発と標準化. ナノテクノロジー国際標準化ワークショップ (2013.2)

加藤くみ子: サイエンスセッション: 産業との対話. ナノバイオファースト国際シンポジウム (2013.3)

加藤くみ子, 運敬太, 日高征幸, 多田稔, 鈴木琢雄, 石井明子, 川崎ナナ, 川西徹, 山口照英, 奥田晴宏: EGFRを標的としたイムノリポソームの作製法と特性評価に関する研究.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

運敬太, 加藤くみ子, 奥田晴宏: コレカルシフェロール含有リポソームの細胞内取込に関する研究.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

後藤洋子^{*1}, 石塚保行^{*2}, 松浦知和^{*3}, 新見伸吾: 絹フィブリン-ハイドロキシアパタイトコート不織布を用いて培養したヒト肝癌由来FLC-5細胞におけるアルブミン産生.

第61回高分子学会年次大会 (2012.5)

^{*1} (独) 農業生物資源研究所

^{*2} (株) エーシーバイオテクノロジーズ

^{*3} 東京慈恵会医科大学

Nakazawa S^{*1}, Ahn J^{*2}, Hashii N, Hirose K^{*3}, Kawasaki N: Local dynamics analysis of human insulin and a rapid-acting insulin analog by hydrogen deuterium exchange/mass spectrometry.

The American Society for Mass Spectrometry 60th Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics (2012.5)

^{*1} 北海道大学大学院生命科学院

^{*2} Waters Corporation

^{*3} (株) 日本ウォーターズ

橋井則貴, 高倉大輔, 川崎ナナ: 微量糖タンパク質の部位特異的糖鎖解析法の最適化.

包括脳ネットワーク夏のワークショップ (2012.7)

Harazono A, Hashii N, Kuribayashi R, Kawasaki N: Comparison of glycoforms of innovator and biosimilar epoetins using LC/ESI/MS of intact proteins.

International Carbohydrate Symposium 2012 (2012.7)

Ishii A, Suzuki T, Hashii N, Nakagawa Y^{*1}, Takahashi T^{*1}, Ebisawa A^{*1}, Nishi S^{*2}, Fujita N^{*2}, Bando A^{*3}, Sekimoto Y^{*3}, Miyata K^{*3}, Endo T^{*4}, Otsu T^{*4}, Sugimoto S^{*5}, Kondou T^{*5}, Fujita Y^{*6}, Miyanaga N^{*7}, Mashimo M^{*7}, Shimada N^{*7}, Yoden H^{*8}, Shimamura H^{*8}, Kurata Y^{*8}, Kawasaki N: Current Status toward Revision of the Potency Assay in the JP Heparin Sodium Monograph.

5th Workshop on the Characterization of Heparin Products (2012.8)

^{*1} Pharmaceutical and Medical Device Regulatory Science Society of Japan

^{*2} Ajinomoto Pharmaceuticals Co., Ltd.

^{*3} Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.

^{*4} Sawai Pharmaceutical Co., Ltd.

^{*5} Teva Pharma Japan Inc.

^{*6} Terumo Co., Ltd.

^{*7} Nipro Pharma Co., Ltd.

^{*8} Fuso Pharmaceutical Industries Ltd.

Hashii N: Current status of revisions to heparin monographs in the Japanese Pharmacopoeia.

5th Workshop on the Characterization of Heparin Products (2012.8)

石井明子, 鈴木琢雄, 橋井則貴, 中川ゆかり^{*1}, 高橋知子^{*1}, 海老澤亜樹子^{*1}, 西誠一^{*2}, 藤田奈穂^{*2}, 坂東綾^{*3}, 関本祐子^{*3}, 宮田一義^{*3}, 遠藤敏夫^{*4}, 大津卓磨^{*4}, 杉本詩織^{*5}, 近藤匡^{*5}, 藤田裕司^{*6}, 宮永直幸^{*7}, 眞霜昌裕^{*7}, 嶋田徳彦^{*7}, 余田光^{*8}, 嶋村英雄^{*8}, 倉田康憲^{*8}, 川崎ナナ: 生物薬品の相対力価算出のためのバイオアッセイ-試験成立条件設定法に関する研究-

第2回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2012.9)

- ^{*1} (一財)医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
^{*2} 味の素製薬(株)
^{*3} (株)大塚製薬工場
^{*4} 沢井製薬(株)
^{*5} テバ製薬(株)
^{*6} テルモ(株)
^{*7} ニプロファーマ(株)
^{*8} 扶桑薬品工業(株)

川崎ナナ: バイオ医薬品のFIH試験の課題.

レギュラトリーサイエンス学会 第1回学術大会シンポジウム (2012.9)

伊左治知弥^{*}, 竹原雅子花^{*}, 小林沙織^{*}, 近藤円^{*}, 福田友彦^{*}, 橋井則貴, 高倉大輔, 川崎ナナ, 顧建国^{*}: GOLPH3はシアル酸転移酵素と相互作用し糖鎖構造とインテグリンの機能を制御する.

第31回日本糖質学会 (2012.9)

^{*} 東北薬科大学薬学部

小川温子^{*1,2}, 佐野琴音^{*1}, 浅沼公恵^{*1}, 宮本泰則^{*1}, 橋井則貴, 川崎ナナ, 佐藤ちひろ^{*3,4}, 北島健^{*3,4}: 組織再生を制御する細胞外マトリックス分子, ビトロネクチンの糖鎖変化とその検出.

第31回日本糖質学会 (2012.9)

- ^{*1} お茶の水女子大学大学院
^{*2} お茶の水女子大学糖鎖科学教育研究センター
^{*3} 名古屋大大学院生命農学
^{*4} 名古屋大学生物機能開発利用研究所

松本尚悟^{*1}, 中尾広美^{*1}, 河邊圭子^{*1}, 館山大揮^{*2}, 廣瀬佳則^{*3}, 森田彩葉^{*3}, 野中元裕^{*1}, 川崎ナナ, 橋井則貴, 川寄伸子^{*1}, 古江-楠田美穂^{*2}, 豊田英尚^{*3}, 川寄敏祐^{*1}: ヒトiPS細胞上のケラタン硫酸鎖を認識する新規

単クローン抗体の性質.

第31回日本糖質学会 (2012.9)

- ^{*1} 立命館大学糖鎖工学研究センター
^{*2} (株)医薬基盤研究所
^{*3} 立命館大学薬学部

西岡宗一郎^{*1,4}, 小林功^{*2,4}, 辻大輔^{*1,4}, Motiur Md. Rahman^{*1}, 池戸駿介^{*1}, 真板宣夫^{*3}, 原園景, 石井明子, 川崎ナナ, 瀬筒秀樹^{*2,4}, 町井博明^{*2,4}, 伊藤孝司^{*1,4}: TGカイコを用いた組み換えヒトカテプシンAの分子特性とリソソーム病治療薬開発.

第31回日本糖質学会 (2012.9)

- ^{*1} 徳島大学大学院
^{*2} (独)農業生物資源研究所
^{*3} 徳島大学疾患酵素学研究センター
^{*4} アグリヘルスPT

Hashii N, Kuribayashi R, Kawasaki N: Alteration of glycan profile during early-stage of mesenchymal stem cells differentiation.

19th International Mass Spectrometry Conference (2012.9)

Nakazawa S^{*}, Hashii N, Kawasaki N: Analysis of interaction between TNF-alpha and anti-TNF-alpha agents by hydrogen deuterium exchange/mass spectrometry. 19th International Mass Spectrometry Conference (2012.9)

^{*} 北海道大学大学院生命科学院

白石真純^{*}, 日向須美子^{*}, 日向昌司, 花輪壽彦^{*}: 五苓散及び沢瀉湯によるMDR-1高発現肝臓癌細胞HuH-7/PTXの薬剤耐性の解除.

第29回和漢医薬学会学術大会 (2012.9)

^{*} 北里大学東洋医学総合研究所

日向須美子^{*}, 白石真純^{*}, 日向昌司, 花輪壽彦^{*}: 薬剤耐性ががん細胞の抗がん剤に対する感受性を回復させる漢方薬.

日本東洋医学会第69回関東甲信越支部学術総会 (2012.10)

^{*} 北里大学東洋医学総合研究所

Yuan Y, Yokoyama M^{*1}, Maeda Y^{*2}, Harada S^{*2}, Sato N^{*1}, Yusa K: Key structure of V3 loop in noncompetitive resistant R5 HIV-1JR-FL.

13th KUMAMOTO AIDS Seminar GCOE Joint International Symposium (2012.10)

^{*1} 国立感染症研究所

^{*2} 熊本大学大学院

Nakano Y*, Maeda Y*, Monde K*, Terasawa H*, Yusa K, Harada S*: Skewed recognition of monomeric form of CCR5 by maraviroc-resistant R5 HIV-1.

13th KUMAMOTO AIDS Seminar GCOE Joint International Symposium (2012.10)

* 熊本大学大学院

栗林亮佑, 橋井則貴, 原園景, 川崎ナナ: カラムスイッチング法と液体クロマトグラフィー/質量分析法を用いた抗体医薬品の不均一性迅速解析法.

BMSシンポジウム2012 (2012.11)

中澤志織^{*1}, 橋井則貴, Joomi Ahn^{*2}, 廣瀬賢治^{*3}, 川崎ナナ: 水素/重水素交換質量分析によるヒトインスリンアナログの多量体安定性解析.

BMSシンポジウム2012 (2012.11)

^{*1} 北海道大学大学院生命科学院

^{*2} Waters Corporation

^{*3} (株)日本ウォーターズ

川崎ナナ: バイオ医薬品の新しい品質管理戦略と展望.

BMSシンポジウム2012 (2012.11)

中野雄介*, 前田洋助*, 門出和精*, 寺沢広美*, 遊佐敬介, 原田信志*: HIV-1 coreceptorのoligomer形成がHIV-1感染感受性に与える影響.

第60回日本ウイルス学会学術集会 (2012.11)

* 熊本大学大学院

前田洋助*, 寺沢広美*, 中野雄介*, 門出和精*, 遊佐敬介, 原田信志*: HTLV-1エンベロープの播く融合能におけるウイルス産生細胞内エンドソームの産生化の関与.

第60回日本ウイルス学会学術集会 (2012.11)

* 熊本大学大学院

小林哲: 各種インターフェロン製剤における自殺または糖尿病関連の副作用発現期間の比較.

第18回日本薬剤疫学会 (2012.11)

伊達公恵^{*1}, 川崎ナナ, 橋井則貴, 蛭田葉子, 坂上ひろみ^{*1}, 小川温子^{*1,2}: 藤α-アミラーゼと腸内糖鎖リガンドとの結合を介する糖吸収調節機構の発見.

第85回日本生化学会大会 (2012.12)

^{*1} お茶の水女子大学大学院

^{*2} お茶の水女子大学糖鎖科学教育研究センター

村田大輔^{*1,2,3}, 野村和子^{*2,3}, 出嶋克史^{*2,3,4}, 水口惣平^{*2,3,5}, 川崎ナナ, 中島紫^{*3}, 伊藤さつき, 安藤恵子^{*3,6,7}, 中台枝里子^{*3,7}, 三谷昌平^{*3,7}, 松田采子^{*2}, 野村一也^{*2,3}: GPIアンカー合成は線虫Caenorhabditis elegansの配偶子幹細胞ニッチの維持と生殖系列細胞発生に必須である.

第85回日本生化学会大会 (2012.12)

^{*1} 大阪大学大学院医学系研究科

^{*2} 九州大学理学研究院生物科学部門

^{*3} CREST, JST

^{*4} 学振海外特別研究員 UCSD, USA

^{*5} 宮崎大学医学部

^{*6} 埼玉大学脳科学融合研究センター

^{*7} 東京女子医科大学

中澤志織^{*1}, 橋井則貴, Joomi Ahn^{*2}, 廣瀬賢治^{*3}, 川崎ナナ: 水素重水素交換/質量分析によるヒトインスリンアナログの多量体安定性に関する部位の特定.

第85回日本生化学会大会 (2012.12)

^{*1} 北海道大学大学院生命科学院

^{*2} Waters Corporation

^{*3} (株)日本ウォーターズ

西岡宗一郎^{*1,4}, 小林功^{*2,4}, 辻大輔^{*1,4}, Rahman Md Motiur^{*1}, 池戸駿介^{*1}, 真板宣夫^{*3}, 原園景, 石井明子, 川崎ナナ, 瀬筒秀樹^{*2,4}, 町井博明^{*2,4}, 伊藤孝司^{*1,4}: リソソーム病治療への応用を目指したTGカイコ由来組換えヒトカテプシンAの分子特性評価.

第85回日本生化学会大会 (2012.12)

^{*1} 徳島大学大学院

*² (独) 農業生物資源研究所

*³ 徳島大学疾患酵素学研究センター

*⁴ アグリヘルスPT

多田稔, 石井明子, 鈴木琢雄, 川崎ナナ: 抗体医薬品の酸化がFcγ受容体を介した免疫エフェクター細胞の活性化に及ぼす影響.

第85回日本生化学会大会 (2012.12)

鈴木琢雄, 石井明子, 多田稔, 宮崎ちひろ, 川崎ナナ: 抗体医薬品の生体内分布に関する蛍光イメージング解析 - FcRn親和性と生体内分布の関連 -.

第85回日本生化学会大会 (2012.12)

川崎ナナ: Glycosylation analysis in the quality control of glycosylated-biopharmaceuticals.

CASSS (CMC Strategy Forum-Japan) (2012.12)

橋井則貴: ヘパリン問題と薬局方の対応.

第13回医薬品等ウイルス安全性シンポジウム (2013.2)

日向須美子*¹, 日向昌司, 好村守生*², 天倉吉章*², 合田幸広, 花輪毒彦*¹: 癌細胞のHGF-c-Metシグナルを阻害する麻黄の活性成分・Herbacetin.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 北里大学東洋医学総合研究所

*² 松山大学薬学部

川崎ナナ, 中澤志織*, 栗林亮佑, 多田稔, 石井明子, 橋井則貴: バイオ医薬品ヒト初回投与試験のリスク低減に向けて - 抗体医薬品作用機序の解析.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 北海道大学大学院生命科学院

原園景, 橋井則貴, 寺崎さち子*, 栗林亮佑, 川崎ナナ: 液体クロマトグラフィー, キャピラリー電気泳動及び質量分析を用いた抗体医薬品糖鎖プロファイリング法の比較.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 富山県薬事研究所

石井明子, 鈴木琢雄, 多田稔, 川崎ナナ: 表面プラズモン共鳴法を用いた抗体医薬品のFcγ受容体結合特性解析.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

鈴木琢雄, 宮崎ちひろ, 石井明子, 多田稔, 川崎ナナ: 抗体医薬品の生体内分布に関する蛍光イメージング解析 - 抗体と分解物の分離解析法の開発 -.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

石井明子, 多田稔, 川崎ナナ: トランスジェニックカイコを用いた抗体医薬品開発の可能性と課題.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

多田稔, 石井明子, 鈴木琢雄, 川崎ナナ: Fcγ受容体発現モデルエフェクター細胞株を用いた抗体医薬品の生物活性評価.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

後藤洋子*¹, 石塚保行*², 松浦知和*³, 新見伸吾: 絹フィブロイン-ハイドロキシアパタイトコート不織布を用いて培養したヒト肝癌由来細胞の機能発現.

日本蚕糸学会第83回大会 (2013.3)

*¹ (独) 農業生物資源研究所

*² (株) エーシーバイオテクノロジーズ

*³ 東京慈恵会医科大学

大根谷章浩*¹, 測野裕之*¹, 高橋豊*², 鎌倉浩之, 合田幸広, 川原信夫*¹: 食品としても用いられる薬用植物の一酸化窒素産生抑制活性について (その2).

日本食品化学学会第18回総会・学術大会 (2012.6)

*¹ (独) 医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター

*² エムエス・ソリューションズ(株)

若葉大悟, 出水庸介, 鎌倉浩之, 栗原正明, 奥田晴宏, 合田幸広: 強壯を標榜する健康食品から単離されたプロドラッグタイプのED治療薬類似物質mutaprodanafilの構造.

日本食品化学学会第18回総会・学術大会 (2012.6)

最所和宏, 花尻(木倉)瑠理, 合田幸広: 平成15~23年度における強壯用健康食品買い上げ調査において検出された無承認無許可医薬品.

日本食品化学学会第18回総会・学術大会 (2012.6)

Kikura-Hanajiri R, Kawamura M, Uchiyama N, Goda Y: Changes in the trends of the abuse of designer drugs and their legal status in Japan.

2012 NIDA International Forum -New and Emerging Psychoactive Substances: Second Interdisciplinary Forum (2012.6)

Kikura-Hanajiri R, Kawamura M, Uchiyama N, Goda Y: Survey of the trend in the abuse of designer drugs in Japan from 2002 to 2011.

The 50th Annual Meeting of the International Association of Forensic Toxicologists (2012.6)

Uchiyama N, Kawamura M, Kikura-Hanajiri R, Goda Y: Identification of two new adamantyl amide type synthetic cannabinoids, APICA and APINACA, and the detection of newly distributed designer drugs in illegal products sold in Japan.

The 50th Annual Meeting of the International Association of Forensic Toxicologists (2012.6)

Ogata J, Uchiyama N, Kikura-Hanajiri R, Goda Y: The botanical origins of blend herbal products (“Spice”-like products) containing synthetic cannabinoids.

The 50th Annual Meeting of the International Association of Forensic Toxicologists (2012.6)

浦山豊弘*, 肥塚加奈江*, 赤木正章*, 山本淳*, 鎌倉浩之, 合田幸広: 健康食品からの医薬品成分検出事例について.

第58回中国地区公衆衛生学会 (2012.8)

* 岡山県環境保健センター

河野徳昭*¹, 丸山卓郎, 合田幸広, 小松かつ子*², 吉松嘉代*¹, 川原信夫*¹: 薬用植物総合情報データベースの構築-生薬の遺伝子鑑別に関する情報整備-

第30回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム (2012.8)

*¹ (独) 医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター

*² 富山大学和漢医薬学総合研究所

鄭美和: 当帰芍薬散とエストロゲンの共通点と相違点.

日本東洋医学会関東甲信越支部栃木県部会 第19回学術集会ランチョンセミナー (2012.8)

菅谷京子*, 角野文代*, 黒崎かな子*, 鎌倉浩之, 合田幸広: 健康食品から医薬品成分類似物質を検出した事例について.

第50回栃木県公衆衛生学会 (2012.9)

* 栃木県保健環境センター

若菜大悟, 丸山卓郎, 合田幸広, 富澤裕一郎*, 川崎武志*: シンギの確認試験法について.

日本生薬学会第59回年会 (2012.9)

* (株)ウチダ和漢薬

柳沢朋美*¹, 山口恭加*¹, 小暮紀行*¹, 北島満里子*¹, 飯田修*², 花尻瑠理, 緒方潤, 合田幸広, 高山廣光: ミソハギ科 *Heimia salicifolia* 含有新規アルカロイドの探索.

日本生薬学会第59回年会 (2012.9)

*¹ 千葉大学大学院薬学研究院

*² (独) 医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター

伏見直子*¹, 伏見裕利*², 安食菜穂子*^{3,4}, 池崎秀和*⁴, 御影雅幸*³, 川原信夫*⁵, 合田幸広: 生薬「滑石」の基原について(2): 分光測色計による識別.

日本生薬学会第59回年会 (2012.9)

*¹ (株)ウチダ和漢薬

*² 富山大学和漢医薬学総合研究所

*³ 金沢大学大学院医学保健学総合研究科

*⁴ (株)インテリジェントセンサーテクノロジー

*⁵ (独) 医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター

合田幸広: 生薬・漢方製剤分野で使用する生薬の英語表記について.

日本生薬学会第59回年会 (2012.9)

袴塚高志: ISO/TC249における東洋伝統医学の国際標準化と生薬・漢方製剤分野への影響について.

日本生薬学会第59回年会 (2012.9)

渥美さやか, 糸田幸恵, 袴塚高志, 合田幸広, 高橋豊*: 西洋ハーブの有効性・安全性及び品質確保に関する研究(11) LC-MS/MSによるブラックコホシ市場品の品質評価.

日本生薬学会第59回年会 (2012.9)

* エムエス・ソリューションズ(株)

在間一将, 若菜大悟, 糸田幸恵, 鎌倉浩之, 袴塚高志,

合田幸広, 足立理絵子*, 神谷洋*, 川崎武志*: センブクカ由来セスキテルペンラクトンの分析法の開発と基原植物について.

日本生薬学会第59回年会 (2012.9)

* (株)ウチダ和漢薬

渕野裕之^{*1}, 大根谷章浩^{*1}, 川原信夫^{*1}, 合田幸広, 高橋豊^{*2}: 薬用植物総合情報データベース構築のための基盤整備に関する研究 -ビャクジュツ, チンピ市場流通品の成分比較について-.

日本生薬学会第59回年会 (2012.9)

^{*1} (独)医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター

^{*2} エムエス・ソリューションズ(株)

小松かつ子*, Bai Y*, He Y*, Zhu S*, 合田幸広: 薬用*Acros*属植物の遺伝的・成分的多様性の解析.

日本生薬学会第59回年会 (2012.9)

* 富山大学和漢医薬学総合研究所

大根谷章浩^{*1}, 竹脇大気^{*2}, 渕野裕之^{*1}, 高橋豊^{*3}, 和田浩志^{*2}, 鎌倉浩之, 合田幸広, 川原信夫^{*1}: 国内流通生薬のNO産生抑制活性とLC/MSメタボローム解析 (その3)

日本生薬学会第59回年会 (2012.9)

^{*1} (独)医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター

^{*2} 東京理科大学薬学部

^{*3} エムエス・ソリューションズ(株)

金田利夫*, 中田麻美*, 関亜理*, 角張義亮*, 平澤祐介*, 森田博史*, 川崎洋子, 合田幸広: アカネ科*Rubia tinctorum*から単離したmolluginのiNOS発現抑制作用.

日本生薬学会第59回年会 (2012.9)

* 星薬科大学

西野仁美*, 羽田野翔太*, 出口潤*, 中田麻美*, 平澤祐介*, 金田利夫*, 森田博史*, 川崎洋子, 合田幸広: 抗炎症性成分molluginのアナログ合成に関する研究

日本生薬学会第59回年会 (2012.9)

* 星薬科大学

竹田文信, 若菜大悟, 横倉胤夫^{*1}, 神谷洋^{*1}, 浅間宏

志^{*1}, 近藤誠三^{*1}, 和田篤敬^{*1}, 浮田謙二^{*1}, 若林健一^{*1}, 高橋喜久美^{*1}, 富塚弘之^{*1}, 佐々木博^{*1}, 菊地祐一^{*2}, 山本豊^{*3}, 嶋田康男^{*3}, 合田幸広: トウシンソウの確認試験法について.

日本生薬学会第59回年会 (2012.9)

^{*1} 日本漢方生薬製剤協会

^{*2} (公社)東京生薬協会

^{*3} 日本生薬連合会

堀井周文*, 小此木明*, 大窪俊樹*, 鎌倉浩之, 合田幸広: 葛根湯エキス製剤及び湯剤の同等性に関する研究 (第2報).

第29回和漢医薬学会学術大会 (2012.9)

* クラシエ製薬(株)漢方研究所

好村守生^{*1}, 天倉吉章^{*1}, 山上沙織^{*1}, 吉田隆志^{*1}, 渕野裕之^{*2}, 合田幸広, 川原信夫^{*2}: HPTLCによる国内流通生薬の成分比較~サイコ, サンシシ, シャクヤク, ソヨウ, ダイオウについて~.

第29回和漢医薬学会学術大会 (2012.9)

^{*1} 松山大学薬学部

^{*2} (独)医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター

若菜大悟, 丸山卓郎: ¹H-NMRデータと遺伝子情報の多変量解析による生薬の鑑別.

第7回メタボロームシンポジウム (2012.10)

Goda Y: QNMR, a new method for specification of marker compounds used for standardization of herbal medicines.

The International World of Pharmacopoeias - now and in the future (2012.10)

若菜大悟, 内山奈穂子, 丸山卓郎, 合田幸広, 山本豊^{*1}, 神谷洋^{*2}, 川崎武志^{*2}, 林茂樹^{*3}, 菱田敦之^{*3}, 川原信夫^{*3}, 柴田敏郎^{*3}: シャクヤク及びカンゾウの多変量解析による品質評価.

第41回生薬分析シンポジウム (2012.11)

^{*1} (株)栃本天海堂

^{*2} (株)ウチダ和漢薬

^{*3} (独)医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター

鎌倉浩之, 合田幸広: 漢方製剤における放射性物質の移

行についての検討.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

糸田幸恵, 袴塚高志, 浅間宏志^{*1}, 前博友^{*2}, 山本豊^{*3}, 蔡少青^{*4}, 合田幸広: PCR法による生薬アキョウの基原動物種鑑別.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

^{*1} (株)ウチダ和漢薬

^{*2} (株)前忠

^{*3} (株)栃本天海堂

^{*4} 北京大学医学部

河村麻衣子, 花尻(木倉)瑠理, 合田幸広: 平成23年度違法ドラッグ製品の全国買い上げ調査について.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

内山奈穂子, 河村麻衣子, 花尻(木倉)瑠理, 合田幸広: 平成24年度新規流通違法ドラッグ成分の同定.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

花尻(木倉)瑠理: 指定薬物制度と違法ドラッグ流通実態の変化について.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

高橋和長^{*}, 長谷川貴志^{*}, 西條雅明^{*}, 吹譯友秀^{*}, 元木裕二^{*}, 内山奈穂子, 花尻(木倉)瑠理, 合田幸広: 千葉県における違法ドラッグ検査結果について.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

^{*} 千葉県衛生研究所

最所和宏, 花尻(木倉)瑠理, 合田幸広: 平成23年度無承認無許可医薬品の買い上げ調査について-強壯用健康食品-.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

金田利夫^{*}, 中田麻美^{*}, 関亜理^{*}, 角張義堯^{*}, 平澤祐介^{*}, 川崎洋子, 合田幸広, 森田博史^{*}: アカネ科*Rubia tinctorum*から単離したmolluginのNO産生抑制作用.

第19回天然薬物の開発と応用シンポジウム (2012.11)

^{*} 星薬科大学

小川優子^{*1}, 内山奈穂子, 裏出良博^{*2}, 小西天二^{*1}: 天然薬物に含まれる睡眠改善物質の探索-オキシピナタニンの睡眠改善効果-.

第19回天然薬物の開発と応用シンポジウム (2012.11)

^{*1} 同志社女子大学薬学部

^{*2} (公財)大阪バイオサイエンス研究所

橋元誠^{*}, 小林大祐^{*}, 若菜大悟, 合田幸広, 藤井勲^{*}: 糸状菌*Talaromyces stipitatus*由来MTドメインを有するタイプI型PKSの機能解析.

第12回糸状菌分子生物学コンファレンス (2012.11)

^{*} 岩手医科大学薬学部

合田幸広: 国立衛研における瘦身や強壯を標榜する健康食品中の医薬品成分の分析と同定.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

在間一将, 若菜大悟, 糸田幸恵, 鎌倉浩之, 袴塚高志, 合田幸広: *Inula helenium*の含有成分から見た安全性の評価に関する研究.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

天倉吉章^{*1}, 好村守生^{*1}, 山上沙織^{*1}, 吉田隆志^{*2}, 日向昌司, 日向須美子^{*2}, 花輪壽彦^{*2}, 合田幸広: 麻黄エキスに含まれる成分研究.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

^{*1} 松山大学薬学部

^{*2} 北里大学東洋医学総合研究所

河野徳昭^{*}, 吉松嘉代^{*}, 川原信夫^{*}, 合田幸広: ケシ属植物の実用的遺伝子鑑別法の開発.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

^{*} (独)医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター

米本愛^{*1}, 玉川恵香^{*1}, 山路誠一^{*1}, 伏谷眞二^{*1}, 若菜大悟, 丸山卓郎, 鎌倉浩之, 合田幸広, 杉村康司^{*2}, 飯田修^{*2}: *Sida*属植物の組織形態学的研究(3).

日本薬学会第133年会 (2013.3)

^{*1} 日本薬科大学

^{*2} (独)医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター

玉川恵香^{*1}, 米本愛^{*1}, 山路誠一^{*1}, 伏谷眞二^{*1}, 若菜大悟, 丸山卓郎, 鎌倉浩之, 合田幸広, 杉村康司^{*2}, 飯田修^{*2}: *Sida*属植物の組織形態学的研究(4).

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 日本薬科大学

*² (独)医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター

坂上祐香*, 湯浅宗光, 袴塚高志, 合田幸広: 新規漢方処方
の品質規格に関する基礎的検討 (13) 六君子湯エキス
による抗炎症性サイトカインの発現増強.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 東京理科大学薬学部

衆田幸恵, 勢ノ康代, 若菜大悟, 袴塚高志, 合田幸広:
新規漢方処方の品質規格に関する基礎的検討 (14) 腸内
細菌*Lactobacillus reuteri*の増殖を促進させる漢方処方
エキスの成分について.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

大崎愛弓*¹, 小宮山哲平*¹, 小沢正晃*¹, Sarmir K*²,
Ahmed F*³, 衆田幸恵, 袴塚高志, 合田幸広, 影近弘
之*¹, 石橋正己*⁴: シャタバリの成分と同定に関する検
討.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 東京医科歯科大学生体材料工学研究所

*² クルナ大学薬学部

*³ ジャガナス大学薬学部

*⁴ 千葉大学大学院薬学研究院

渥美さやか, 高橋豊*¹, 測野裕之*², 寺坂和祥*³, 水上
元*³, 橋井則貴, 川崎ナナ, 袴塚高志, 川原信夫*², 合
田幸広: イオンモビリティ分離技術を利用した生薬中
の異性体成分の構造推定法に関する研究: 大黃中のアン
トラキノン配糖体について.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ エムエス・ソリューションズ(株)

*² (独)医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター

*³ 名古屋市立大学大学院薬学研究科

内山奈穂子, 花尻(木倉)瑠理, 合田幸広: 2012年度買
上げ違法ドラッグ製品から検出された新規流通デザイ
ナードラッグ成分の同定.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

花尻(木倉)瑠理, 河村麻衣子, 菅野さな枝*, 永井智
紀*, 高田女里*, 向井敏二*, 合田幸広: いわゆる「脱
法ハーブ」使用者生体試料からの薬物分析例.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 聖マリアンナ医科大学

北島満里子*, 岩井真澄*, 小暮紀行*, 花尻瑠理, 合田
幸広, 高山廣光*: ミソハギ科*Heimia salicifolia*含有新
規アルカロイドの探索.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 千葉大学大学院薬学研究院

緒方潤, 花尻(木倉)瑠理, 吉松嘉代*¹, 川原信夫*¹,
阿久津守*², 合田幸広: 大麻種子1粒からのISSR法に
よる系統識別.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ (独)医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター

*² 厚生労働省関東信越厚生局麻薬取締部

Furuta B, Uchida E, Nishimura K*, Ohtaka M*, Taka-
yasu S*, Nakanishi M*, Yamaguchi T: The application
of gp91phox expressing Sendai virus vector in X-CGD
gene therapy.
第18回日本遺伝子治療学会学術集会 (2012.6)

* (独)産業技術総合研究所

内田恵理子: 核酸医薬品開発の動向と課題.
薬物動態学会第27回年会 (2012.11)

竹内光恵*, 小木美恵子*, 會澤康治*, 西村駿*, 内田
恵理子, 得永嘉昭*: Nd:YAGレーザーによる応力波を
用いた遺伝子導入.
第35回日本分子生物学会年会 (2012.12)

* 金沢工業大学

内田恵理子: 国内外の遺伝子治療に関する指針及びICH
遺伝子治療専門家会議について.
第3回国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム (2013.1)

佐藤陽治: 国際協調と日本のあるべき姿.
第11回日本再生医療学会総会 (2012.6)

佐藤陽治: ヒト多能性幹細胞加工製品の製造における造
腫瘍性評価.
第11回日本再生医療学会総会 (2012.6)

黒田拓也, 安田智, 草川森士, 鈴木和博, 川真田伸*, 佐藤陽治: ヒトiPS細胞由来網膜色素上皮細胞中に残存する未分化細胞のin vitro高感度検出法の開発と評価. 第11回日本再生医療学会総会 (2012.6)

* (公財)先端医療振興財団

Kuroda T, Yasuda S, Kusakawa S, Suzuki K, Kawamata S*, Sato Y: Validation of in vitro methods for detection of residual undifferentiated cells in retinal pigment epithelial cells derived from human induced pluripotent stem cells.

International Society for Stem Cell Research 10 th Annual Meeting (2012.6)

* (公財)先端医療振興財団

佐藤陽治: 再生医療/細胞・組織加工製品の安全性評価.

第39回日本毒性学会年会 (2012.7)

Hayakawa T^{*1}, Aoi T^{*2}, Umezawa A^{*3}, Ozawa K^{*4}, Sato Y, Sawa Y^{*5}, Matsuyama A^{*6}, Yamanaka S^{*2}, Yamato M^{*7}: Japanese guidelines on ensuring quality and safety of products derived from engineered human stem cells – after public consultation –. 3rd TERMIS World Congress 2012 (2012.9)

^{*1} 近畿大学薬学総合研究所

^{*2} 京都大学iPS細胞研究所

^{*3} (独)国立成育医療センター生殖医療研究部

^{*4} 自治医科大学医学部内科学講座血液学部門

^{*5} 大阪大学大学院医学系研究科外科学講座

^{*6} (公財)先端医療振興財団再生医療研究開発部門

^{*7} 東京女子医科大学先端生命医科学研究所

Hayakawa T^{*1}, Aoi T^{*2}, Umezawa A^{*3}, Ozawa K^{*4}, Sato Y, Sawa Y^{*5}, Matsuyama A^{*6}, Yamanaka S^{*2}, Yamato M^{*7}: The final version of Japanese guidelines on ensuring quality and safety of products derived from processing of various human stem cells. World Stem Cell Summit 2012 (2012.12)

^{*1} 近畿大学薬学総合研究所

^{*2} 京都大学iPS細胞研究所

^{*3} (独)国立成育医療センター生殖医療研究部

^{*4} 自治医科大学医学部内科学講座血液学部門

^{*5} 大阪大学大学院医学系研究科外科学講座

^{*6} (公財)先端医療振興財団再生医療研究開発部門

^{*7} 東京女子医科大学先端生命医科学研究所

草川森士, 船田正彦^{*1}, 安田智, 黒田拓也, 山内淳司^{*2}, 佐藤陽治: レポーター蛋白を利用した多能性幹細胞の神経分化の評価.

第35回日本神経科学大会 (2012.9)

^{*1} (独)国立精神・神経医療研究センター

^{*2} (独)国立成育医療研究センター

草川森士, 町田一彦^{*1}, 安田智, 黒田拓也, 澤田留美, 伊藤守^{*1}, 堤秀樹^{*1}, 川真田真^{*2}, 佐藤陽治: 細胞・組織加工製品の製造工程管理法としてのNOGマウス造腫瘍性試験系のバリデーション.

第12回日本再生医療学会総会 (2013.3)

^{*1} (公財)実験動物中央研究所

^{*2} (公財)先端医療振興財団

佐藤光利*, 中島みどり, 倉持智美, 安田智, 佐藤陽治: ヒト脂肪由来間葉系幹細胞における虚血応答性制御因子の特性解析.

第86回日本薬理学会年会 (2013.3)

* 東邦大学大学院薬学研究科

西田基宏*, 佐藤陽治, 井上和秀*, 黒瀬等*: 一酸化窒素はニトロ2次生成物を形成することでプリン作動性P2Y2受容体刺激による心筋細胞老化を仲介する.

第86回日本薬理学会年会 (2013.3)

* 九州大学大学院薬学研究院

北島直幸^{*1}, 沼賀拓郎^{*2}, 佐藤陽治, 森泰生^{*2}: NADPHオキシダーゼ由来NOS産生に対するTRPC3チャネルの関与.

第86回日本薬理学会年会 (2013.3)

^{*1} 九州大学大学院薬学研究院

^{*2} 京都大学大学院工学研究科

角田将朗^{*1}, 齋木翔太^{*1}, 佐藤陽治, 仲矢道雄^{*1}, 岩本隆宏^{*2}, 黒瀬等^{*1}, 西田基宏^{*1}: 末梢循環障害におけるTRPC6チャネルの役割.

第86回日本薬理学会年会 (2013.3)

*¹ 九州大学大学院薬学研究院

*² 福岡大学大学院医学研究科

佐藤陽治：ヒトiPS細胞加工製品に残存する未分化細胞のin vitro検出法の開発.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

鈴木孝昌：我々は既に被曝していた（放射線リスクに関するHPの紹介）.

平成24年度環境変異原学会公開シンポジウム (2012.5)

鈴木孝昌：Omics approach for the biomarker of genotoxicity by aristolochic acid.

韓国毒性学会，公衆衛生学会合同国際シンポジウム (2012.6)

鈴木孝昌，田邊思帆里，山口鉄生，鈴木和博：MYBPC2はヒト骨格筋芽細胞の筋分化マーカーとなる.

第11回日本再生医療学会総会 (2012.6)

鈴木孝昌，小原有弘*¹，松本真理子，広瀬明彦，林真*²，本間正充：ジメチルアニリン異性体のマウスでの変異原性.

日本環境変異原学会 第41回大会 (2012.11)

*¹ (独)医薬基盤研究所

*² (公財)食品農医薬品安全性評価センター

Miyajima-Tabata A, Sakai K, Kato R, Matsuoka A: Studies on cytotoxicity and genotoxicity in CHL cells cultured on MPC polymers.

EUROTOX 2012 (2012.6)

Nakaoka R, Matsuoka A: Effects of surface functional groups on interacted-cell behavior: Effect on gap-junctional intercellular communication of cells.

9th World Biomaterial Congress (2012.6)

植松美幸，薮島由二，中岡竜介，松岡厚子，瀬川勝智，中野達也：医用高分子材料表面の水和状態に関する分子動力的解析（第1報）.

高分子学会医用高分子シンポジウム (2012.6)

薮島由二，福井千恵，澤田留美，松岡厚子：間葉系幹細胞の骨分化に及ぼすエンドトキシンの影響について(1)

－蛋白質の網羅的発現解析による検討－.

第11回日本再生医療学会総会 (2012.6)

加藤玲子，佐藤正人*，小久保舞美*，持田譲治*，松岡厚子：in vitroにおける同種軟骨細胞（シート）の免疫応答におよぼす影響.

第11回日本再生医療学会 (2012.6)

* 東海大学医学部

澤田留美，薮島由二，福井千恵，河野健，松岡厚子：間葉系幹細胞の骨分化に及ぼすエンドトキシンの影響について(2)－遺伝子発現の網羅的解析による検討－.

第11回日本再生医療学会総会 (2012.6)

佐々木寛人*¹，澤田留美，清田泰次郎*²，本多裕之*¹，加藤竜司*¹：骨髄由来間葉系幹細胞の画像情報解析による劣化度評価.

第11回日本再生医療学会総会 (2012.6)

*¹ 名古屋大学

*² (株)ニコン

佐々木寛人*¹，高橋厚妃*¹，坪井泰樹*¹，澤田留美，清田泰次郎*²，本多裕之*¹，加藤竜司*¹：間葉系幹細胞画像の情報解析による細胞状態分類法の有効性.

第11回日本再生医療学会総会 (2012.6)

*¹ 名古屋大学

*² (株)ニコン

中岡竜介，河野健，澤田留美，平野義明*，松岡厚子：細胞接着性ペプチド修飾アルギン酸ゲル中で3次元培養したヒト細胞の分化挙動に関する研究.

第11回日本再生医療学会総会 (2012.6)

* 関西大学化学生命工学部化学・物質工学科

Sasaki H*¹，Matsuoka F*¹，Takeuchi I*²，Sawada R，Honda H*¹，Kato R*¹：Morphology-based cell quality assessment of differentiation potential of mesenchymal stem cells.

10th Annual Meeting of International Society for Stem Cell Research (2012.6)

*¹ Nagoya University

*² Nagoya Institute of Technology

中岡竜介：最新技術の標準化に関する課題と今後の展望について。

平成24年度第1回ISO上層委員会報告会（2012.7）

植松美幸：大動脈瘤治療を対象にしたナビゲーションシステムの開発。

第21回日本心血管インターベンション治療学会（2012.7）

迫田秀行，松岡厚子：打ち抜き試験による高度架橋超高分子量ポリエチレンの機械特性評価。

日本機械学会M&M2012材料力学カンファレンス（2012.9）

Sasaki H^{*1}, Matsuoka F^{*1}, Takahashi A^{*1}, Takeuchi I^{*2}, Sawada R, Kiyota Y^{*3} Honda H^{*1}, Kato R^{*1}: Morphology-based prediction of differentiation potential of mesenchymal stem cells.

3rd TERMIS World Congress2012（2012.9）

^{*1} Nagoya University

^{*2} Nagoya Institute of Technology

^{*3} Nikon Co., Ltd.

植松美幸：医師の判断を支援する手術ナビゲーションシステム－使いやすさと信頼性の狭間で－。

第40回日本放射線技術学会秋季学術大会（2012.10）

迫田秀行，菅野伸彦^{*}，松岡厚子：人工股関節における内部クラックとデラミネーション破壊。

第39回日本臨床バイオメカニクス学会（2012.11）

^{*} 大阪大学大学院医学系研究科

植松美幸，市橋琢弥^{*1}，安里権也^{*2}，梅津光生^{*1,2}，中岡竜介，松岡厚子，飯村浩^{*3}，青見茂之^{*4}，山崎健二^{*4}，鈴木孝司^{*5}，村垣善浩^{*5}，伊関洋^{*5}：TAAA Navigatorの開発と臨床的評価の実際。

第21回日本コンピュータ外科学会大会（2012.11）

^{*1} 早稲田大学大学院創造理工学研究科総合機械工学専攻

^{*2} 早稲田大学創造理工学部総合機械工学科

^{*3} 東京女子医科大学病院中央放射線部

^{*4} 東京女子医科大学心臓血管外科

^{*5} 東京女子医科大学先端生命医科学研究所先端工学外科学分野

市橋琢弥^{*1}，植松美幸，安里権也^{*2}，梅津光生^{*1,2}，中岡竜介，松岡厚子，東隆^{*3}，山崎健二^{*3}，鈴木孝司^{*4}，村垣善浩^{*4}，伊関洋^{*4}：弓部大動脈瘤用ステントグラフト留置過程のデータに基づく可視化に向けた初期の検討。

第21回日本コンピュータ外科学会大会（2012.11）

^{*1} 早稲田大学大学院創造理工学研究科総合機械工学専攻

^{*2} 早稲田大学創造理工学部総合機械工学科

^{*3} 東京女子医科大学心臓血管外科

^{*4} 東京女子医科大学先端生命医科学研究所先端工学外科学分野

安里権也^{*1}，植松美幸，市橋琢弥^{*2}，梅津光生^{*1,2}，中岡竜介，松岡厚子，飯村浩^{*3}，青見茂之^{*4}，山崎健二^{*4}，鈴木孝司^{*5}，村垣善浩^{*5}，伊関洋^{*5}：解剖学的特徴点計測における誤差評価についての実験的検討。

第21回日本コンピュータ外科学会大会（2012.11）

^{*1} 早稲田大学大学院創造理工学研究科総合機械工学専攻

^{*2} 早稲田大学創造理工学部総合機械工学科

^{*3} 東京女子医科大学病院中央放射線部

^{*4} 東京女子医科大学心臓血管外科

^{*5} 東京女子医科大学先端生命医科学研究所先端工学外科学分野

加藤玲子，佐藤正人^{*}，小久保舞美^{*}，河毛知子^{*}，宮島敦子，持田譲治^{*}，松岡厚子：積層化軟骨細胞シートの同種T細胞におよぼす影響。

第50回日本人工臓器学会大会（2012.11）

^{*} 東海大学医学部外科学系整形外科学

植松美幸，齋島由二，中岡竜介，松岡厚子，瀬川勝智，中野達也：医用高分子材料の生体適合性評価指標開発に向けた分子動力的シミュレーション。

第50回日本人工臓器学会（2012.11）

齋島由二，福井千恵，柚場俊康^{*}，松岡厚子：溶血性試験用陽性対照材料の開発と性能評価。

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2012（2012.11）

^{*} 川澄化学工業(株)

齋島由二，河上強志，福井千恵，田上昭人^{*1}，柚場俊

康^{*2}, 伊佐間和郎, 松岡厚子: DEHP代替可塑剤を利用した新規血液バッグの開発 - 可塑剤溶出量と溶血性の関係について -

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2012 (2012.11)

^{*1} (独)国立成育医療研究センター

^{*2} 川澄化学工業(株)

宮島敦子, 加藤玲子, 酒井恵子, 松岡厚子: 高分子医用材料上で培養した細胞の細胞毒性および遺伝毒性.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2012 (2012.11)

迫田秀行, 靛島由二, 松岡厚子: スクアレンによる超高分子量ポリエチレンの劣化機構に関する検討.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2012 (2012.11)

迫田秀行, 松岡厚子: 超高分子量ポリエチレンの摩耗特性へのスクアレンの影響.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2012 (2012.11)

澤田留美, 河野健, 松岡厚子: 細胞・組織加工医療機器に用いられる間葉系幹細胞の品質評価 - がん化の指標探索のための遺伝子発現解析 -

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2012 (2012.11)

河野健, 澤田留美, 伊佐間和郎, 靛島由二, 松岡厚子: チタン表面の化学処理による間葉系幹細胞の骨分化誘導.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2012 (2012.11)

中岡竜介, 比留間瞳, 松岡厚子: ベタイン構造を模倣・単純化したモデル表面の調製に関する研究.

日本バイオマテリアル学会大会シンポジウム (2012.11)

植松美幸, 靛島由二, 中岡竜介, 松岡厚子, 瀬川勝智, 中野達也: 医用高分子材料の表面近傍における水和状態のシミュレーション的評価.

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2012 (2012.11)

植松美幸, 市橋琢弥^{*1}, 安里権也^{*2}, 梅津光生^{*1,2}, 中岡竜介, 松岡厚子, 飯村浩^{*3}, 青見茂之^{*4}, 山崎健二^{*4}, 鈴木孝司^{*5}, 村垣善浩^{*5}, 伊関洋^{*5}: 開胸を伴う手術でのナビゲーションを用いた体表から体内の標的血管へのアプローチ決定.

第25回日本内視鏡外科学会総会 (2012.12)

^{*1} 早稲田大学大学院創造理工学研究科総合機械工学専

攻

^{*2} 早稲田大学創造理工学部総合機械工学科

^{*3} 東京女子医科大学病院中央放射線部

^{*4} 東京女子医科大学心臓血管外科

^{*5} 東京女子医科大学先端生命医科学研究所先端工学外科学分野

迫田秀行, 松岡厚子: 高度架橋超高分子量ポリエチレンのデラミネーション破壊特性評価.

第25回バイオエンジニアリング講演会 (2013.1)

Sakoda H, Matsuoka A: Effect of squalene absorption and ageing on the mechanical and wear properties of ultra-high molecular weight polyethylene.

59th Annual Meeting of Orthopaedic Research Society (2013.1)

迫田秀行, 植月啓太^{*}, 松岡厚子: 超高分子量ポリエチレンのデラミネーション破壊特性へのビタミンEの影響.

第43回日本人工関節学会 (2013.2)

^{*} ナカシマメディカル(株)

靛島由二, 澤田留美, 福井千恵, 松岡厚子: 間葉系幹細胞の増殖に及ぼすエンドトキシンの影響について - 蛋白質発現の網羅的解析による検討 -

第12回日本再生医療学会総会 (2013.3)

澤田留美, 靛島由二, 福井千恵, 河野健, 松岡厚子: 間葉系幹細胞の増殖に及ぼすエンドトキシンの影響について - 遺伝子発現の網羅的解析による検討 -

第12回日本再生医療学会総会 (2013.3)

河野健, 澤田留美, 松岡厚子: 細胞・組織加工医療機器に用いられる間葉系幹細胞の品質評価.

第12回日本再生医療学会総会 (2013.3)

靛島由二, 河上強志, 福井千恵, 田上昭人^{*1}, 柚場俊康^{*2}, 伊佐間和郎, 松岡厚子: DEHP代替可塑剤を利用した新規血液バッグの開発 - 可塑剤溶出量と溶血性の関係について -

日本薬学会第133年会 (2013.3)

^{*1} (独)国立成育医療研究センター

^{*2} 川澄化学工業(株)

Miyajima-Tabata A, Sakai K, Kato R, Kawakami T, Matsuoka A, Isama K: Cytotoxicity and genotoxicity studies in A549 cells cultured with metal oxide nanoparticles.

The 52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

小林憲弘, 久保田領志, 杉本直樹, 五十嵐良明: 水道水質試験法に関するアンケート調査.

第63回全国水道研究発表会 (2012.5)

池田香*, 香川(田中)聡子, 神野透人, 小林義典*: 紫根による侵害受容体TRPA1の活性化に関する研究.

第37回日本化粧品学会 (2012.6)

* 北里大学薬学部

Isama K, Kawakami T, Matsuoka A: Apatite formation on Ca-incorporated Ti-Zr based alloys in simulated body fluid.

The 9th World Biomaterials Congress (2012.6)

Isama K, Kawakami T, Sakai K, Miyajima A, Matsuoka A: Effect of nanoparticles on the cytotoxicity of coexisting metal salts.

48th Congress of European Societies of Toxicology (2012.6)

五十嵐良明, 内野正, 西村哲治*: ICP-MSによるカーボンナノマテリアルの金属の分析.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

* 帝京平成大学薬学部

香川(田中)聡子, 大河原晋*, 神野透人: フタル酸エステル類及びその加水分解生成物によるTRPV1及びTRPA1の活性化.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

* 九州保健福祉大学薬学部

内野正, 竹澤俊明*¹, 山下邦彦*², 小島肇, 清水久美子, 宮永裕子, 五十嵐良明, 西村哲治*³: ビトリゲルチャンパーを培養担体とする皮膚感作性試験代替モデルを構成する細胞のサイトカイン産生能について.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

*¹ (独) 農業生物資源研究所

*² (株) ダイセル

*³ 帝京平成大学薬学部

小林憲弘, 河部真弓*, 古川文夫*, 久保田領志, 杉本直樹, 広瀬明彦: 妊娠ラットを用いた尾静脈内投与による多層カーボンナノチューブの生殖・発生毒性の評価と体内動態.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

* (株) DIMS医科学研究所

伊佐間和郎, 河上強志, 酒井恵子, 宮島敦子, 松岡厚子: 金属塩の細胞毒性に及ぼすナノマテリアルの影響.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

Jinno H, Tanaka-Kagawa T: Prediction of physicochemical parameters of household chemicals by computational chemistry using CONFLEX and COSMOtherm.

Healthy Buildings 2012 (2012.7)

Tanaka-Kagawa T, Okamoto Y, Jinno H: Screening of volatile and semi-volatile organic compounds (VOCs/SVOCs) emitted from household products.

Healthy Buildings 2012 (2012.7)

Jinno H, Ohkawara H*, Tanaka-Kagawa T: Activation of nociceptive transient receptor potential channels by phthalates.

6th International Congress of Asian Society of Toxicology (ASIATOX-VI) (2012.7)

* Kyusyu University of Health and Welfare

Kobayashi N, Kawabe M*, Furukawa F*, Kubota R, Sugimoto N, Hirose A: Evaluation of reproductive and developmental toxicity of multi-wall carbon nanotubes in pregnant mice after tail vein administration.

6th International Congress of Asian Society of Toxicology (ASIATOX-VI) (2012.7)

* DIMS Institute of Medical Science, Inc.

小林憲弘, 塚本多矩*, 田原麻衣子, 久保田領志, 杉本直樹, 五十嵐良明: 水道における水質管理目標設定項目の候補農薬のLC/MS/MS一斉分析法の開発.

第21回環境化学討論会 (2012.7)

* (株)鳥津製作所

河上強志, 伊佐間和郎, 神野透人, 西村哲治*: モデルPVCシートを用いた皮膚表面への可塑剤移行量の検討.
第21回環境化学討論会 (2012.7)

* 帝京平成大学薬学部

八木千恵*, 池田香*, 中西鈴華*, 小島麻実*, 中森俊輔*, 白畑辰弥*, 小林義典*, 香川(田中)聡子, 神野透人: Evodiamineヨウ素化体のヒトTRPV1活性化に関する研究.
日本生薬学会第59回年会 (2012.9)

* 北里大学薬学部

Uchino T, Shimizu K, Yamashita K^{*1}, Kojima H, Takezawa T^{*2}, Ikarashi Y: Cytokine production from the cells in the three-dimensional human skin model constructed on a collagen vitrigel membrane.
The 8th Congress of Toxicology in Developing Countries (2012.9)

^{*1} Daicel Corporation

^{*2} National Institute of Agrobiological Sciences

小林憲弘, 杉本直樹, 久保田領志, 野本雅彦*, 五十嵐良明: 利根川水系の浄水場におけるホルムアルデヒド水質汚染の原因物質の探索.
環境科学会2012年会 (2012.9)

* 北千葉広域水道企業団

小林憲弘: 水道水中の農薬類の試験法開発とその妥当性評価.
環境科学会2012年会 (2012.9)

伊佐間和郎, 河上強志, 松岡厚子: カルシウム導入したジルコニウムのイオン吸着挙動とアパタイト形成能.
日本金属学会2012年秋期講演大会 (2012.9)

五十嵐良明, 内野正, 西村哲治*: 家庭用品から放散するアクリル酸エステル類及びメタクリル酸エステル類の感作性評価.
フォーラム2012: 衛生薬学・環境トキシコロジー (2012.10)

* 帝京平成大学薬学部

香川(田中)聡子, 岡元陽子, 五十嵐良明, 神野透人: 室内空气中総揮発性有機化合物の構成成分に関する研究.
フォーラム2012: 衛生薬学・環境トキシコロジー (2012.10)

Isama K, Kawakami T, Sakai K, Miyajima A, Matsuoka A: Effect of SiO₂ and TiO₂ nanoparticles on the cytotoxicity of metal salts.
European Society of Toxicology in Vitro 2012 International Conference (2012.10)

五十嵐良明, 内野正, 小濱とも子, 清水久美子: 化粧品中の鉛の分析法に関する検討.
第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

香川(田中)聡子, 岡元陽子, 神野透人, 五十嵐良明: 家庭用品から放散される揮発性有機化合物に関する研究 - 放散試験としてのサンプリングバッグ法の適応可能性について -.
第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

秋山卓美, 関口若菜, 伊藤裕才, 山崎壮*, 杉本直樹, 穂山浩: カラメルⅢ中2-アセチル-4-テトラヒドロキシブチルイミダゾール (THI) のHPLC分析法の改良.
第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

* 実践女子大学

内野正, 五十嵐良明, 鈴木孝昌, 押澤正, 鈴木和博, 西村哲治*: バングラデシュヒ素汚染地域住民の尿中c-GMP濃度, ヒ素及びヒ素代謝物濃度の変化について.
第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

* 帝京平成大学薬学部

小林憲弘, 久保田領志, 田原麻衣子, 杉本直樹, 五十嵐良明: 水道水中の農薬類の分析法開発とその妥当性評価.
第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

久保田領志, 小林憲弘, 田原麻衣子, 杉本直樹, 五十嵐良明: LC/MS法を用いた水道水中フェノール類分析法の検討.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

田原麻衣子, 杉本直樹, 小林憲弘, 久保田領志, 穂山浩, 五十嵐良明: GC/MSデータベースを用いた定量分析への新規キャリブレーションシステムの適用.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

伊佐間和郎, 河上強志, 西村哲治*: 乳幼児が誤飲する可能性のある金属製アクセサリ類から溶出する有害元素.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

* 帝京平成大学薬学部

伊佐間和郎, 河上強志, 酒井恵子, 宮島敦子, 松岡厚子: 金属塩の細胞毒性に及ぼすナノ粒子の影響.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

河上強志, 伊佐間和郎, 西村哲治*: 繊維製品および革製品中に含まれるアゾ染料由来の芳香族第一アミン類の実態調査.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

* 帝京平成大学薬学部

味村真弓*, 中島晴信*, 吉田仁*, 吉田俊明*, 河上強志, 伊佐間和郎: 繊維製品に含まれるトリス (2,3-ジブプロモプロピル) フォスフェイト (TDBPP) の分析法の検討.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

* 大阪府立公衆衛生研究所

小林憲弘, 杉本直樹, 久保田領志, 野本雅彦*, 五十嵐良明: ホルムアルデヒド水質汚染の原因物質の特定に至る経緯と水道水中の未規制物質の管理における今後の課題.

日本リスク研究学会第25回年次大会 (2012.11)

* 北千葉広域水道企業団

伊佐間和郎, 河上強志, 松岡厚子: カルシウム導入したチタン及びジルコニウムの疑似体液浸漬によるアパタイト形成.

日本バイオマテリアルシンポジウム2012 (2012.11)

香川 (田中) 聡子, 大河原晋*, 岡元陽子, 五十嵐良明,

神野透人: フタル酸エステル類の気道刺激性に関する研究.

平成24年度室内環境学会学術大会 (2012.12)

* 九州保健福祉大学薬学部

岡元陽子, 香川 (田中) 聡子, 五十嵐良明, 神野透人: 室内空气中VOC構成成分のクラスター分析.

平成24年度室内環境学会学術大会 (2012.12)

内野正, 清水久美子, 竹澤俊明*¹, 山下邦彦*², 小島肇, 五十嵐良明, 秋山卓美: コラーゲンビトリゲル膜チャンバーを利用した皮膚感作性試験法の開発現状.

日本動物実験代替法学会第25回大会 (2012.12)

*¹ (独) 農業生物資源研究所

*² (株) ダイセル

五十嵐良明, 久世哲也*¹, 佐藤信夫*², 安田純子*², 林正人*³, 武知めぐみ*⁴, 高野勝弘*⁵, 宮澤法政*⁶, 小島尚*⁷, 坂口洋*⁸, 藤井まき子*⁹: 生活用品試験法 化粧品試験法 鉛不純物.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ (株) カネボウ化粧品

*² (株) コーセー

*³ (株) 資生堂

*⁴ ポーラ化成工業(株)

*⁵ 日本化粧品工業連合会

*⁶ 埼玉県立衛生研究所

*⁷ 帝京科学大学医療科学部

*⁸ 北里大学医療衛生学部

*⁹ 昭和薬科大学

神野透人, 岡元陽子, 五十嵐良明, 香川 (田中) 聡子: ハウスダスト中準揮発性有機化合物の網羅的解析.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

香川 (田中) 聡子, 大河原晋*, 岡元陽子, 五十嵐良明, 神野透人: イソチアゾリン系抗菌剤によるヒト侵害受容器TRPイオンチャネルの活性化.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 九州保健福祉大学薬学部

三瀧由望*¹, 伊豆野祥太郎*², 神野透人, 香川 (田中) 聡子, 埴岡伸光*², 成松鎮雄*²: HepG2細胞におけるフ

タル酸ビス (2-エチルヘキシル) 及びその加水分解代謝物のシトクロムP450mRNA発現に及ぼす影響.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 岡山大学薬学部

*² 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

鹿瀬里保*¹, 三宅祐加*², 神野透人, 香川(田中)聡子, 埴岡伸光*², 成松鎮雄*²: イヌUDP-グルクロン酸転移酵素1A1のcDNAクローニング及びタンパク質発現.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 岡山大学薬学部

*² 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

武内伸治*¹, 小島弘幸*¹, 小林智*¹, 神和夫*¹, 斎藤育江*², 神野透人: 北海道の住宅や公共建築物における可塑剤及び難燃剤の室内空気中濃度.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 北海道立衛生研究所

*² 東京都健康安全研究センター

秋山卓美, 植野麻美, 内野正, 田原麻衣子, 杉本直樹, 五十嵐良明: 化粧品中フェノキシエタノール及びパラベン類のqNMR等を用いた短時間簡便分析法.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

内野正, 竹澤俊明*¹, 山下邦彦*², 小島肇, 清水久美子, 秋山卓美, 五十嵐良明: ビトリゲルチャンバーを用いた皮膚感作性試験代替モデルの開発 (その2) - THP-1細胞のみを用いた方法について -.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ (独) 農業生物資源研究所

*² (株) ダイセル

伊佐間和郎: ナノマテリアルのin vitro安全性評価のための基礎研究 - 金属酸化物ナノ粒子に対する細胞応答 -.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

河上強志, 伊佐間和郎, 五十嵐良明: PVA製タオル類に使用されているイソチアゾリノン系防腐剤の実態調査.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

Kobayashi N, Kawabe M*¹, Nakashima H*¹, Numano T*^{1,2}, Kubota R, Sugimoto N, Hirose A: Evaluation of reproductive and developmental toxicity of multi-wall carbon nanotubes in pregnant mice after intratracheal instillation.

52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

*¹ DIMS Institute of Medical Science Inc.

*² Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences

高山京子*, 渡邊文子*, 水越一史*, 中村宗知*, 根本了: HPLC-FLによる畜水産食品中のノシヘプタイド分析法の検討.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

* (一財) 日本食品分析センター

堤智昭, 鍋師裕美, 蜂須賀暁子, 松田りえ子: NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメーターによる食品中の放射性セシウムスクリーニング.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

松田りえ子, 五十嵐敦子, 蜂須賀暁子, 堤智昭: マーケットバスケット方式による食品からの放射性セシウム摂取量推定.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

菊地博之, 堤智昭, 蜂須賀暁子, 松田りえ子: 牛肉部位間の放射性セシウム濃度の差について.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

鍋師裕美, 堤智昭, 蜂須賀暁子, 松田りえ子: 食品中放射性セシウム量の調理変化に関する検討.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

高附巧, 堤智昭, 松田りえ子, 岡野和史*¹, 亀谷宏美*², 等々力節子*², 菊地正博*³, 後藤浩文*⁴, 関口正之*⁵, 原英之*⁶, 廣庭隆行*⁷: 電子スピン共鳴法による放射線照射した乾燥果実及び貝の検知.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

*¹ JEOL RESONANCE Inc.

*² (独) 農研機構食品総合研究所

*³ (独) 日本原子力研究開発機構

*⁴ (財) 日本食品分析センター

*⁵ (地独) 東京都立産業技術研究センター

*⁶ プルカー・バイオスピン(株)

*⁷ (株)コーガアイソトープ

亀谷宏美*, 高附巧, 堤智昭, 松田りえ子, 等々力節子*: 電子スピン共鳴法によるエビおよびカニの照射誘導ラジカルの検討.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

* (独)農研機構食品総合研究所

齊藤静夏, 根本了, 松田りえ子: 超臨界流体抽出及びLC-MS/MSを用いた野菜・果実中の残留農薬一斉分析法の検討.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

片岡洋平, 渡邊敬浩, 石川智子, 松田りえ子: ICP-MSを用いた清涼飲料水中のカドミウム・鉛・ヒ素の同時分析法の検討.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

吉岡靖雄*¹, 宇治美由紀*¹, 吉田徳幸*¹, 角田慎一*^{2,3}, 鍋師裕美, 吉川友章*¹, 堤康央*¹⁻³: 食品中サブナノマテリアルの安全性評価: 経口投与したサブナノ白金の体内動態及び生体影響に関する基礎検討.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

*¹ 大阪大学大学院

*² (独)医薬基盤研究所

*³ 大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

渡邊敬浩, 石川智子, 松田りえ子: トランス脂肪酸分析法の性能評価手法と性能評価基準設定に関する検討.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

Saito S, Nemoto S, Matsuda R: Multi-residue method for the determination of pesticides in tea by LC-MS/MS.

9th European Pesticide Residue Workshop (2012.6)

Tsutsumi T, Takatsuki S, Matsuda R: Dioxin concentrations in dietary supplements containing animal oil on the Japanese market.

32nd International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (2012.8)

Nakagawa R*, Ashizuka Y*, Hori T*, Kajiwara J*,

Takahashi K*, Tsutsumi T, Matsuda R: Dietary exposure to hexabromocyclododecanes in Japan.

32nd International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (2012.8)

* Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences

Ashizuka Y*¹, Takahashi K*², Yasutake D*¹, Nakagawa R*², Shintani Y*², Hori T*², Kajiwara J*², Tsutsumi T, Matsuda R: Determination of brominated flame retardants in food from Japanese markets.

32nd International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (2012.8)

*¹ Fukuoka Prefectural Government

*² Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences

赤木浩一*, 渡邊敬浩, 菊地博之, 松田りえ子: 魚介類中の有機水銀のフェニル誘導体化・GC-MS法による分析.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

* 福岡市保健環境研究所

堤智昭, 足立利華, 松田りえ子: ピリジンカルボン酸・ピラゾロン法による生あん中のシアン化合物の分析.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

鍋師裕美, 堤智昭, 蜂須賀暁子, 松田りえ子: 調味液への浸漬による牛肉中放射性セシウムの低減に関する検討.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

齊藤静夏, 根本了, 松田りえ子: LC-MS/MSを用いた野菜・果実中酸性農薬の一斉分析法の検討.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

片岡洋平, 渡邊敬浩, 松田りえ子: ミネラルウォーター中の金属, 陰イオン性化合物, 揮発性有機化合物分析法の検討.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

渡邊敬浩, 片岡洋平, 松田りえ子: ミネラルウォーター成分規格分析法に求められる性能.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

石井里枝*, 高橋邦彦*, 戸谷和男*, 根本了, 松田りえ子: LC-MS/MSによる畜水産食品中のクロメプロップおよびクロメプロップ酸分析法の開発.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

* 埼玉県衛生研究所

高橋邦彦*, 石井里枝*, 根本了, 松田りえ子: LC-MS/MSによる農産物及び畜水産物中のジノセブおよびジノテルブの分析.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

* 埼玉県衛生研究所

上野英二*, 井上知美*, 大野春香*, 渡辺美奈恵*, 猪飼誉友*, 森下智雄*, 根本了, 松田りえ子: サロゲート物質を用いたGC-MS/MS法による食品中残留農薬の多成分分析.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

* 愛知県衛生研究所

石塚訓子*, 西亜由美*, 北原由美*, 中村宗知*, 根本了: LC-MS/MSによる畜水産物中のカフェンストロール分析法の検討.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

* (一財)日本食品分析センター

宮脇栄子*, 福沢栄太*, 飯塚誠一郎*, 中村宗知*, 根本了: LC-MS/MSによる食品中の2,4,5-T, 2,4-D, 2,4-DB及びクロプロップの分析法の検討.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

* (一財)日本食品分析センター

吉岡靖雄*¹, 森宣瑛*¹, 吉田徳幸*¹, 角田慎一*^{2,3}, 鍋師裕美, 吉川友章*¹, 堤康央*¹: 食品中のサブナノマテリアルの安全性評価: 経口投与したサブナノ銀の生体影響に関する基礎検討.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

*¹ 大阪大学大学院薬学研究科

*² (独)医薬基盤研究所

*³ 大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

天倉吉章*¹, 堤智昭, 中村昌文*², 半田洋士*², 好村守

生*¹, 松田りえ子, 吉田隆志*¹: 生薬抽出物のAhR活性化作用について.

第29回和漢医薬学会学術大会 (2012.9)

*¹ 松山大学

*² (株)日吉

戸田陽香*¹, 好村守生*¹, 堤智昭, 中村昌文*², 半田洋士*², 松田りえ子, 吉田隆志*¹, 天倉吉章*¹: ローズマリーエキスに含まれる天然AhR活性化成分.

第51回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会 (2012.11)

*¹ 松山大学

*² (株)日吉

Amakura Y*¹, Tsutsumi T, Nakamura M*², Handa H*², Yoshimura M*¹, Matsuda R, Yoshida T*¹: Characterization of natural AhR ligands in vegetable foods and crude drugs.

Bioactive Okayama 2012 -Food & Health- (2012.9)

*¹ 松山大学

*² (株)日吉

齊藤静夏, 根本了, 松田りえ子: 超臨界流体抽出及びLC-MS/MSを用いた穀類及び茶中の残留農薬一斉分析法の検討.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

坂井隆敏, 坂井英里, 齊藤静夏, 根本了, 松田りえ子: 魚介類中の天然ヒドロコルチゾン含有量実態調査.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

堀就英*¹, 安武大輔*², 梶原淳陸*¹, 堤智昭, 天倉吉章*³: 食品中の水酸化PCBs分析法の検討 (第2報).

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

*¹ 福岡県保健環境研究所

*² 福岡県環境部環境保全課

*³ 松山大学

堤智昭, 高附巧, 足立利華, 松田りえ子: 畜肉類を使用した弁当からの塩素化ダイオキシン類摂取量.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

堤智昭, 足立利華, 松田りえ子: 食品中の多環芳香族炭

化水素の分析法の検討.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

中川礼子^{*1}, 芦塚由紀^{*2}, 新谷依子^{*1}, 梶原淳睦^{*1}, 高橋浩司^{*1}, 堤智昭, 松田りえ子: 難燃剤ヘキサブプロモサイクロドデカンによる食品汚染.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

^{*1} 福岡県保健環境研究所

^{*2} 福岡県保健医療介護部

片岡洋平, 渡邊敬浩, 石川智子, 松田りえ子: ICP-OES・ICP-MS・フレイムレス原子吸光光度計を用いた清涼飲料水中のカドミウム・鉛・ヒ素の分析法開発.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

鍋師裕美, 堤智昭, 蜂須賀暁子, 松田りえ子: NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメーターを用いた市販流通食品の放射性セシウム検査.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

渡邊敬浩, 片岡洋平, 松田りえ子: 分析用サンプルの均質化が分析結果の変動に及ぼす影響.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

渡邊敬浩, 松田りえ子: 非対称分布からのサンプリングと検査結果との関係のシミュレーションによる解析.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

片岡洋平: 清涼飲料水中のカドミウム・鉛・ヒ素の分析について.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

松田りえ子, 堤智昭, 蜂須賀暁子: 食品中の放射性セシウム試験法について.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

Tsukakoshi Y^{*1}, Watanabe T, Matsuda R, Iidzuka T^{*2}, Kitagawa Y^{*3}, Kojima T^{*3}, Nishimura T^{*4}, Hishiyama T^{*4}, Goto H^{*4}, Isagawa S^{*4}, Yokota S^{*5}, Omori T^{*5}, Abe H^{*6}, Kai T^{*7}, Tokuda S^{*1}, Satomi M^{*8}, Ono H^{*1}, Yoshida M^{*1}, Ishida N^{*9}, Yasui A^{*1}: Review of some Japanese studies regarding uncertainty arising from sampling from farm to folk.

4th MoniQA International Conference (2013.2)

^{*1} National Agriculture and Food Research Organiza-

tion

^{*2} Japan Inspection Association of Food and Food Industry Environment

^{*3} Joetsu Environmental Research Laboratories

^{*4} Japan Food Research Laboratories

^{*5} Ehime Prefecture

^{*6} Iwate Prefecture

^{*7} Miyazaki Prefecture

^{*8} National Institute of Fishery Sciences

^{*9} Ishikawa Prefectural University

穂山浩, 奥山貴則^{*1}, 松岡英樹, 吉田緑, 戸井田敏彦^{*1}, 遠藤仁^{*2}: アデニン誘発性腎不全ラットへのスギヒラタケ由来シアノ配糖体画分の単回経口投与による毒性評価について.

日本食品化学学会第18回総会・学術大会 (2012.6)

^{*1} 千葉大学大学院薬学研究院

^{*2} ジェイファーマ(株)

片山茂*, 久木田卓弥*, 穂山浩, 中村宗一郎*: THP-1由来樹状細胞の確立とアレルギー評価への応用.

日本食品化学学会第18回総会・学術大会 (2012.6)

* 信州大学農学部

穂山浩: 第9版食品添加物公定書改定方針について.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

安井千晶*, 平田麻梨重*, 奥山貴則*, 東恭平*, 穂山浩, 戸井田敏彦*: スギヒラタケ摂取による急性脳症の原因究明.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 千葉大学大学院薬学研究院

Shoji M*, Akiyama H: Food Allergen Labeling Regulation and its implementation in Japan.

ILSI Workshop on "Food Allergy: From Thresholds to Action Levels" (2012.9)

* Morinaga Institute of Biological Science Inc.

Kukita T*, Katayama S*, Akiyama H, Nakamura S*: Establishment of an in vitro screening assay for allergenicity of proteins using dendritic cells differentiated from THP-1.

The International Society for Nutraceuticals and Functional Foods (2012.12)

* Shinshu University

Kimura Y*, Katayama S*, Tazawa S*, Akiyama H, Teshima R, Nakamura S*: Effects of feeding the buckwheat major allergens glycosylated with glucomannan on buckwheat allergy allergenicities.

The International Society for Nutraceuticals and Functional Foods (2012.12)

* Shinshu University

田中祐輔^{*1}, 中瀬裕子^{*1}, 杉本直也^{*1}, 戸田貴子^{*1}, 小島康弘^{*1}, 神山麻恵^{*1}, 吉原久直^{*1}, 倉持美知雄^{*1}, 田下浩之^{*1}, 新井秀宜^{*1}, 川上綾子^{*2}, 穂山浩, 長瀬洋之^{*1}, 山口正雄^{*1}, 大田健^{*1,3}: 市販の飲料を原因としてアナフィラキシーショックを発症した1例.

第62回日本アレルギー学会秋季学術大会 (2012.11)

^{*1} 帝京大学医学部

^{*2} 出版健保診療所

^{*3} 国立病院機構東京病院

原田晋^{*1}, 山川有子^{*2}, 杉本直樹, 穂山浩: フランス製赤色マカロン摂取後に生じた, コチニール色素によるアナフィラキシーの2症例.

第62回日本アレルギー学会秋季学術大会 (2012.11)

^{*1} はらだ皮膚科クリニック

^{*2} 山川皮ふ科

山口正雄^{*1}, 田中祐輔^{*1}, 中瀬裕子^{*1}, 杉本直也^{*1}, 戸田貴子^{*1}, 小島康弘^{*1}, 神山麻恵^{*1}, 吉原久直^{*1}, 倉持美知雄^{*1}, 田下浩之^{*1}, 新井秀宜^{*1}, 川上綾子^{*2}, 穂山浩, 長瀬洋之^{*1}, 大田健^{*1,3}: 飲料によりアナフィラキシーを発症した症例における好塩基球の表面活性化マーカー CD203c発現およびヒスタミン遊離の解析.

第19回日本免疫毒性学会学術大会 (2012.9)

^{*1} 帝京大学医学部

^{*2} 出版健保診療所

^{*3} 国立病院機構東京病院

横田あずさ*, 久保田浩樹, 佐藤恭子, 穂山浩, 輿石一郎*: 塩素殺菌処理された食材中臭素酸イオン分析法の

開発.

第25回バイオメディカル分析科学シンポジウム (2012.8)

* 群馬大学大学院保健学科

久木田卓弥*, 今井理恵*, 片山茂*, 穂山浩, 中村宗一郎*: THP-1由来樹状細胞を用いたアレルギー性評価法の開発.

日本農芸化学会中部支部第165回例会 (2012.1)

* 信州大学農学部

Mano J^{*1}, Yanaka Y^{*1}, Ikezu Y^{*1}, Onishi M^{*2}, Futo S^{*2}, Minegishi Y^{*3}, Ninomiya K^{*4}, Yotsuyanagi Y^{*4}, Spiegelhalter F^{*5}, Akiyama H, Teshima R, Hino A^{*1}, Naito S^{*1}, Koiwa T^{*1}, Takabatake R^{*1}, Furui S^{*1}, Kitta K^{*1}: Group testing: An efficient approach for GMO quantitation on a weight basis.

The Monsoon Asia Agro-Environmental Research Consortium (2012.9)

^{*1} National Food Research Institute

^{*2} FASMAC Co., Ltd.

^{*3} Nippon Gene Co., Ltd.

^{*4} Shimadzu Co., Ltd.

^{*5} Genescan, Inc.

Takabatake R^{*1}, Onishi M^{*2}, Koiwa T^{*3}, Futo S^{*2}, Minegishi Y^{*4}, Akiyama H, Teshima R, Kurashima T^{*1}, Mano J^{*1}, Furui S^{*1}, Kitta K^{*1}: Development and Interlaboratory Validation of Quantitative PCR Method for Screening Analysis of Genetically Modified Soybeans.

The Monsoon Asia Agro-Environmental Research Consortium (2012.9)

^{*1} National Food Research Institute

^{*2} FASMAC Co., Ltd.

^{*3} Food and Agricultural Materials Inspection Center, Japan

^{*4} Nippon Gene Co., Ltd.

大月典子, 杉本直樹, 多田敦子, 伊藤裕才, 東村豊*, 山田敬子*, 竹内正樹*, 中川誠*, 伊藤澄夫*, 穂山浩: コチニール色素中の夾雑アレルギータンパク質検出法の確立.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

* 三栄源エフ・エフ・アイ(株)

古庄義明^{*1}, 本田宏子^{*2}, 建部千絵, 佐藤恭子, 穂山浩: 高選択性分子認識固相抽出及び吸光光度法を用いたタール色素中の鉛分析法の開発.
第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

^{*1} ジーエルサイエンス(株)

^{*2} (株)共立理化学研究所

佐藤恭子, 建部千絵, 穂山浩: タール色素及びタール色素アルミニウムレーキ規格試験法の検討 (第2報).
第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

北村陽二^{*1,2}, 佐藤恭子, 小川数馬^{*3}, 小阪孝史^{*1}, Mohammad Amwar-ul AZIM^{*2}, 鶴野いずみ^{*3}, 三輪大輔^{*4}, 西村成美^{*4}, 畠中香奈芽^{*4}, 斎藤寛^{*5}, 柴和弘^{*1}: 確認試験の赤外スペクトル測定におけるATR法の適用に関する検討.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

^{*1} 金沢大学学際科学実験センター

^{*2} 金沢大学大学院自然科学研究科

^{*3} 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科

^{*4} 金沢大学医薬保健学域保健学類

^{*5} 岡山大学薬学部

久保田浩樹, 武口裕^{*1}, 滝川香織^{*1}, 畠山久史^{*1}, 関根百合子^{*2}, 佐藤陸実^{*2}, 西岡千鶴^{*3}, 氏家あけみ^{*3}, 酒井國嘉^{*4}, 川原るみ子^{*4}, 古謝あゆ子^{*5}, 佐久川さつき^{*5}, 鐘熙寧, 河崎裕美, 古庄紀子, 建部千絵, 大槻崇, 小宮沙登美, 佐藤恭子, 穂山浩: マーケットバスケット方式による甘味料の一日摂取量調査.
第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

^{*1} 札幌市衛生研究所

^{*2} 仙台市衛生研究所

^{*3} 香川県環境保健研究センター

^{*4} 長崎市保健環境試験所

^{*5} 沖縄県衛生環境研究所

建部千絵, 佐藤恭子, 穂山浩: タール色素及びタール色素アルミニウムレーキ規格試験法の検討 (第1報).
第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

大槻崇, 佐藤恭子, 阿部裕, 杉本直樹, 穂山浩: 定量

NMRを用いた加工食品中のアセスルファムカリウム分析法.

日本食品化学学会第18回総会・学術大会 (2012.6)

大槻崇, 佐藤恭子, 多田敦子, 杉本直樹, 合田幸広, 河村葉子, 穂山浩: qNMRの食品中の食品添加物分析への応用.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

Ohtsuki T, Sato K, Sugimoto N, Akiyama H: Absolute quantification for ascorbic acid and benzoic acid in foods using quantitative ¹H NMR.

2012 ISNFF Conference and Exhibition (2012.12)

Tsutsumi Y*, Suematsu T*, Sugimoto N, Tada A, Ohtsuki T: Combining qNMR and Liquid Chromatography: Purity with High Reliability.

11th International Conference on the applications of Magnetic Resonance in Food 2012 (2012.6)

* JEOL RESONANCE Inc.

中嶋登*, 杉本直樹, 吉川伸哉*, 大城香*, 神谷充伸*: 着生藻に対する褐藻ホンダワラ類の物理的・化学的阻害戦略の検証.

第2回北陸植物学会大会 (2012.6)

* 福井県立大学海洋生物資源学部

中嶋登*, 杉本直樹, 吉川伸哉*, 大城香*, 神谷充伸*: ホンダワラ類15種における褐藻フロロタンニンの含有量と成分組成の比較.

日本藻類学会第36回大会 (2012.7)

* 福井県立大学海洋生物資源学部

杉本直樹, 田原麻衣子, 大槻崇, 多田敦子, 佐藤恭子, 河村葉子, 合田幸広, 五十嵐良明, 穂山浩: qNMRスペクトルデータベース構築の検討.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

中嶋登*, 杉本直樹, 吉川伸哉*, 大城香*, 神谷充伸*: 紅藻キブリティグサに対する褐藻ヨレモクの着生阻害機構.

日本藻類学会第37回大会 (2013.3)

* 福井県立大学海洋生物資源学部

多田敦子, 石附京子, 関口若菜, 佐藤恭子, 建部千絵,
伊藤裕才, 山崎壮, 穂山浩: 既存添加物植物性ステロ
ールの残留溶媒試験法の検討.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

多田敦子, 石附京子, 関口若菜, 杉本直樹, 穂山浩: コ
メヌカ由来既存添加物3品目の成分規格設定に関する検
討.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

伊藤裕才: 黄色タマネギ外皮由来の黄色色素の化学構
造.

第7回化学生態学研究会 (2012.6)

伊藤裕才, 石附京子, 関口若菜, 多田敦子, 秋山卓美,
佐藤恭子, 山崎壮, 穂山浩: アナトー色素中の残留溶媒
分析法の開発.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

Ito Y, Ishizuki K, Sekiguchi W, Tada A, Akiyama T,
Sato K, Yamazaki T, Akiyama H: Analysis of Residual
Solvents in Annatto Extracts Using a Static Headspace
Gas Chromatography Method.

126th AOAC Annual Meeting & Exposition (2012.9)

伊藤裕才, 山崎壮, 杉本直樹, 穂山浩: NMRとHPLC
を併用したカテキン類のモル吸光係数比の算出法.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

伊藤裕才, 坂本祐実*, 杉本直樹, 穂山浩: 赤タマネギ
外皮に黄色色素は含まれているか.

日本農芸化学会2013年度大会 (2013.3)

* 東京理科大学大学院薬学研究科

Mutsuga M: An update on efforts for regulation of food
packaging in Japan.

Global Food Contact 2012 (2012.5)

六鹿元雄, 阿部裕, 山口未来, 河村葉子, 穂山浩: ナイ
ロン製品中のオリゴマーの分析.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

Mutsuga M, Yamaguchi M, Abe Y, Kawamura Y:
Analysis of isocyanates and amines in laminate pouches.

5th International Symposium on Food Packaging

(2012.11)

阿部裕, 山口未来, 六鹿元雄, 河村葉子, 穂山浩: AS
及びABS樹脂製器具中の揮発性物質の分析.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

阿部裕, 山口未来, 六鹿元雄, 穂山浩, 河村葉子: スチ
レン系樹脂製玩具中の揮発性物質調査.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

Abe Y, Yamaguchi M, Mutsuga M, Kawamura Y, Aki-
yama H: Volatile substances in AS and ABS kitchen
utensils.

5th International Symposium on Food Packaging
(2012.11)

Kawamura Y: Migration testing of food contact materi-
als in Japan.

5th Shelf Life International Meeting & Workshop on
Food Packaging Safety (2012.5)

河村葉子, 江藤政弘*, 平川佳則*, 阿部裕, 六鹿元
雄: 国産缶詰中のビスフェノールA含有量と摂取量推
定.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

* (財)食品環境検査協会

Kawamura Y, Etoh M*, Hirakawa Y*, Abe Y, Mutsuga
M: Survey of bisphenol A in domestic canned foods in
Japan.

5th International Symposium on Food Packaging
(2012.11)

* Japan Inspection Association of Food and Food In-
dustry Environment

Kawamura Y: Bisphenol A in Canned Foods.

6th Asian Conference on Food and Nutrition Safety
(2012.11)

大野浩之*, 鈴木昌子*, 六鹿元雄, 河村葉子: イオン
クロマトグラフ-ポストカラム法による金属製焼き網被
膜中の6価クロム試験法の検討.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

* 名古屋市衛生研究所

岸映里*, 尾崎麻子*, 大嶋智子*, 清水充*, 河村葉子: ICP-MSを用いた合成樹脂製器具・容器包装中の有害金属の迅速分析法.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

* 大阪市立環境科学研究所

羽石奈穂子*, 金子令子*, 植松洋子*, 河村葉子: ポリカーボネート製品中のトリエチルアミンおよびトリブチルアミン分析法の改良.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

* 東京都健康安全研究センター

三宅大輔^{*1}, 早川賢治^{*1}, 河村葉子, 有菌幸司^{*2}, 太田敬司^{*3}, 大野浩之^{*4}, 尾崎麻子^{*5}, 金子令子^{*6}, 羽石奈穂子^{*6}, 松井秀俊^{*7}, 六鹿元雄: 生活用品試験法 器具・容器包装および玩具試験法 スチレンなどの揮発性物質のガスクロマトグラフィーによる定性および定量: *o*-ジクロロベンゼン法.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

^{*1} (一財)日本食品分析センター

^{*2} 熊本県立大学

^{*3} (財)食品環境検査協会

^{*4} 名古屋市衛生研究所

^{*5} 大阪市環境科学研究所

^{*6} 東京健康安全研究センター

^{*7} 東洋製罐(株)

五十君静信: 規格基準に係わる試験法の概要.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

Masuda K, Igimi S: Establishment of in vitro human M cell model and assessing the transport of genetically modified bacteria.

INRA-Rowett Gut Microbiology 2012 International Symposium (2012.6)

森田英利^{*1}, Tulika Srivastava^{*2}, 中野章代^{*1}, 高畑宗明^{*1}, 高木孝士^{*3}, 西山英利^{*3}, 藤英博^{*4}, 大島健志朗^{*5}, Todd D. Taylor^{*2}, 五十君静信, 服部正平^{*5}: *Lactobacillus*属と*Bifidobacterium*属における線毛および鞭毛の透過型電子顕微鏡 (TEM) 観察.

日本乳酸菌学会 (2012.7)

^{*1} 麻布大学獣医学部

^{*2} (独)理研QBiC

^{*3} JEOL Ltd.

^{*4} 九州大学生体防御医学研究所

^{*5} 東京大学大学院新領域

高谷周督*, 吉田智紀*, 齊藤美佳子*, 松岡英明*, 五十君静信: 微好気性細菌を好気条件下で定量ソーティングするための条件検討.

日本防菌防黴学会第39回年次大会 (2012.9)

* 東京農工大学工学部生命工学科

中納広一郎*, 高谷周督*, 吉田智紀*, 舟橋久景*, 齊藤美佳子*, 松岡英明*, 五十君静信: FACSを利用した微生物標準物質の「その場」調製法.

日本防菌防黴学会第39回年次大会 (2012.9)

* 東京農工大学工学部生命工学科

Nishiyama Y*, Terao Y*, Morishita N*, Matsumoto T*, Igimi S, Morimatsu F*: Development of a novel nucleic acid lateral flow assay for detection of *Listeria monocytogenes* in food.

2012 AOAC International Annual Meeting & Exposition (2012.10)

* Nippon Meat Packers, Inc.

五十君静信: カンピロバクター標準試験法策定の概要と本菌の制御に関する課題を考える.

第5回日本カンピロバクター研究会 (2012.12)

福田典子*, 堤佳美*, 西田友紀子*, 飯沼泰之*, 古川壮一*, 萩原博和*, 五十君静信: 市販生鮮カット野菜における*Cronobacter spp.*の汚染実態.

第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

* 日本大学生物資源科学部

Okada Y, Momose Y, Suzuki H, Asakura H, Igimi S: Diversity of virulence between the isolates of *Listeria monocytogenes* from patients, foods and animals.

World Dairy Summit 2012 (2012.11)

五十君静信: あずきばっとうによるボツリヌス食中毒事例.

第86回日本細菌学会総会 (2013.3)

岡田由美子, 鈴木穂高, 門田修子, 百瀬愛佳, 朝倉宏,
五十君静信: *Listeria monocytogenes*血清型4b株の病原
性関連遺伝子群の解析.
第86回日本細菌学会総会 (2013.3)

岡田由美子, 門田修子, 鈴木穂高, 荻原博和*, 福田典
子*, 五十君静信: ISO/TS22964に基づく *Cronobacter*
spp.試験法の検討.
第154回日本獣医学会学術総会 (2012.9)

* 日本大学

Okada Y, Monden S, Suzuki H, Nakama A*, Ida M*,
Yamamoto S, Igimi S: Antimicrobial susceptibilities of
Listeria monocytogenes isolated from imported and do-
mestic foods in Japan.
FAVA2013 (2013.1)

* 東京都健康安全研究センター

三好伸一*¹, 岡田由美子, 仲真晶子*², 樋脇弘*³, 江
洲寿美*³, 中村寛海*⁴, 大塚佳代子*⁵, 金子誠二*², 下
島優香子*², 井田美樹*², 三山九美*⁶, 吉田朋高*⁷, 田
中廣行*⁸, 渡部一仁*⁹, 上村尚*¹⁰, 飯島義雄*¹¹, 杉田
隆*¹⁰, 小西良子, 五十君静信: 微生物試験法 食中毒
菌の個別試験法 リステリア・モノサイトゲネス.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 岡山大学

*² 東京都健康安全研究センター

*³ 福岡市保健環境研究所

*⁴ 大阪市環境科学研究所

*⁵ 埼玉県衛生研究所

*⁶ (一財)日本冷凍食品検査協会

*⁷ (一財)日本食品分析センター

*⁸ (一財)食品分析開発センター

*⁹ 摂南大学

*¹⁰ 明治薬科大学

*¹¹ 神戸市環境保健研究所

Yogi K*^{1,2}, Sakugawa S*², Oshiro N, Ikehara T*³, Yasu-
moto T*⁴: First Endeavor Toward Preparation of
Ciguatoxin Standards Based on Toxin Profiles of Fish in
Japan Achieved by Detailed LC-MS/MS Analysis.
15th International Conference on Harmful Algae
(2012.10)

*¹ 琉球大学医学部

*² 沖縄県衛生環境研究所

*³ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

*⁴ (一財)日本食品分析センター

與儀健太郎*¹, 池原強*², 佐久川さつき*³, 大城直雅,
安元健*⁴: 国内シガテラ魚の毒組成とLC-MS/MS分析標
準品の作出
平成25年度日本水産学会春季大会 (2013.3)

*¹ 琉球大学医学部

*² 沖縄県衛生環境研究所

*³ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

*⁴ (一財)日本食品分析センター

大塚亮一*, 鈴木穂高, 武田真記夫*, 山口悟*, 小嶋
五百合*, 富田真理子*, 小山彩*, 高橋尚史*, 桑原真
紀*, 吉田敏則*, 中島信明*, 原田孝則*: ラット肝臓
におけるHif1aの機能.
第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

* (一財)残留農薬研究所

武田真記夫*, 鈴木穂高, 大塚亮一*, 山口悟*, 小嶋
五百合*, 富田真理子*, 小山彩*, 高橋尚史*, 桑原真
紀*, 吉田敏則*, 中島信明*, 原田孝則*: フェノバル
ビタール投与によるラット肝臓におけるALTおよび
ASTの遺伝子発現抑制.
第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

* (一財)残留農薬研究所

鈴木穂高, 岡田由美子: リンパ節欠損 (ALY) マウス
における腸内細菌の体内移行.
第154回日本獣医学会学術集会 (2012.9)

鈴木穂高, 町井研士: 麻痺性貝毒のマウス試験における
試験溶液の投与速度の影響.
第154回日本獣医学会学術集会 (2012.9)

Suzuki H, Machii K: Sex Differences in Mouse Bioassay
for Diarrhetic Shellfish Poisoning Toxins.
17th Federation of Asian Veterinary Associations Con-
gress 2013 (2013.1)

Suzuki H: Contamination of Food-Poisoning Bacteria on
Food in Europe and Japan.

17th Federation of Asian Veterinary Associations Congress 2013 (2013.1)

朝倉宏, 関塚剛*, 黒田誠*, 山本茂貴, 五十君静信:
我が国において流行を示す *Campylobacter jejuni* ST-4526のゲノム特性.

第86回日本細菌学会総会 (2013.3)

* 国立感染症研究所

楠本晃子*, 朝倉宏, Esho Firew Kassa*, 川本恵子*:
帯広近郊の野鳥由来カンピロバクター分離株のMLST解析.

第86回日本細菌学会総会 (2013.3)

* 帯広畜産大学

朝倉宏, 田口真澄*¹, 川本恵子*², 山本茂貴, 五十君静信:
Continued widespread dissemination and increased poultry host fitness of *Campylobacter jejuni* ST-4526 and ST-4253 in Japan.

第155回日本獣医学会学術集会 (2013.3)

*¹ 大阪府立公衆衛生研究所

*² 帯広畜産大学

朝倉宏: 生食用食肉の規格基準策定に係る加熱条件の検討.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

百瀬愛佳, 岡田由美子, 江川智哉, 榊田和彌, 朝倉宏,
今野貴之*¹, 横山敬子*², 甲斐明美*², 平松礼司*³, 田口真澄*⁴, 石村勝之*⁵, 伊藤文明*⁵, 富永潔*⁶, 八尋俊輔*⁷, 古川真斗*⁷, 五十君静信: カンピロバクター・ジェジュニ/コリ標準試験法: Collaborative studyによるNIHSJ-02の妥当性評価.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

*¹ 秋田県健康環境センター

*² 東京都健康安全研究センター

*³ 愛知県衛生研究所

*⁴ 大阪府立公衆衛生研究所

*⁵ 広島市衛生研究所

*⁶ 山口県環境保健センター

*⁷ 熊本県保健環境科学研究所

百瀬愛佳, 川本恵子*, 五十君静信, 山本茂貴, 朝倉

宏: サルモネラの3型分泌装置エフェクターSipB膜上移送は浸透圧抵抗性に寄与する.

第86回日本細菌学会総会 (2013.3)

* 帯広畜産大学

Momose Y, Okada Y, Ekawa T, Masuda K, Asakura H, Igimi S: Collaborative study on a standard method for detection of *Campylobacter jejuni* and *Campylobacter coli* from foods in Japan.

2012 AOAC International Annual Meeting & Exposition (2012.10)

Momose Y, Ekawa T, Masuda K, Asakura H, Okada Y, Yamamoto S, Igimi S: Evaluation of the culture method alternative to ISO 10272-1:2006 for the detection of *Campylobacter jejuni* and *Campylobacter coli* in chicken: collaborative study.

47th Annual Meeting of the UJNR Joint Panel on Toxic Microorganisms (2013.1)

飯塚節子*¹, 斎藤博之*², 田中智之*³, 野田衛: パンソルビン・トラップ法による食品からのノロウイルス遺伝子の検出-弁当屋を原因施設としたノロウイルス集団食中毒事例から-.

第60回日本ウイルス学会学術総会 (2012.11)

*¹ 島根県保健環境研究所

*² 秋田県健康環境センター

*³ 堺市衛生研究所

佐藤裕徳*¹, 本村和嗣*¹, 横山勝*¹, 椎野禎一郎*¹, 中村浩美*¹, 岡智一郎*¹, 片山和彦*¹, 野田衛, 田中智之*²: パンデミックノロウイルスの変化の制約.

第60回日本ウイルス学会学術総会 (2012.11)

*¹ 国立感染症研究所

*² 堺市衛生研究所

山下育孝*¹, 青木里美*¹, 青木紀子*², 立花早苗*³, 川口利花*¹, 菅美樹*¹, 服部昌志*¹, 大倉敏裕*¹, 四宮博人*¹, 野田衛: 愛媛県で検出されたGII.4以外のノロウイルスの分子疫学的解析.

第60回日本ウイルス学会学術総会 (2012.11)

*¹ 愛媛県立衛生環境研究所

*² 西条保健所

*³ 愛媛県立新居浜病院

斎藤博之^{*1}, 東方美保^{*2}, 岡智一郎^{*3}, 片山和彦^{*3}, 田中智之^{*4}, 野田衛: パンソルビン・トラップ法によって食品検体から検出されたノロウイルスの遺伝子解析法の開発.

第60回日本ウイルス学会学術総会 (2012.11)

*¹ 秋田県健康環境センター

*² 福井県衛生環境研究センター

*³ 国立感染症研究所

*⁴ 堺市衛生研究所

森功次*, 永野美由紀*, 秋場哲哉*, 林志直*, 甲斐明美*, 野田衛: DNAシークエンサーを用いたSSCPによるノロウイルス集団胃腸炎事例の解析.

第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

* 東京都健康安全研究センター

溝口嘉範^{*1,2}, 木田浩司^{*1}, 葛谷光隆^{*1}, 濱野雅子^{*1}, 藤井理津志^{*1}, 岸本壽男^{*1}, 槌田浩明^{*2}, 安原広己^{*2}, 野田衛: 生カキを原因とするノロウイルス食中毒事件の疫学調査と遺伝子解析.

第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

*¹ 岡山県保健環境センター

*² 岡山市保健所

斎藤博之^{*1}, 東方美保^{*2}, 岡智一郎^{*3}, 片山和彦^{*4}, 田中智之^{*1}, 野田衛: 自家調製したパンソルビン相当品を用いた食品中の病原ウイルス検出法の検討.

第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

*¹ 秋田県健康環境センター

*² 福井県衛生環境研究センター

*³ 国立感染症研究所

*⁴ 堺市衛生研究所

入谷展弘^{*1}, 改田厚^{*1}, 田中智之^{*2}, 野田衛: カキ喫食を伴う食中毒疑い事例からのウイルスの検出.

第53回日本臨床ウイルス学会 (2012.6)

*¹ 秋田県健康環境センター

*² 堺市衛生研究所

斎藤博之^{*1}, 須藤恒久^{*2}, 田中智之^{*3}, 野田衛: パンソ

ルビン・トラップ法による食品中のウイルス遺伝子検出における血液製剤と感染者血清の利用.

第53回日本臨床ウイルス学会 (2012.6)

*¹ 秋田県健康環境センター

*² 秋田大学

*³ 堺市衛生研究所

原田誠也^{*1}, 西村浩一^{*1}, 李天成^{*2}, 石井孝司^{*2}, 田中智之^{*3}, 野田衛: 熊本県におけるイノシシ, ブタ及びシカのE型肝炎ウイルス汚染実態調査と分子疫学解析.

第60回日本ウイルス学会学術総会 (2012.11)

*¹ 熊本県保健環境科学研究所

*² 国立感染症研究所

*³ 堺市衛生研究所

山本美和子^{*1}, 伊藤文明^{*2}, 野田衛: 2004年から2011年の広島市におけるヒトパレコウイルス3型の分離状況と遺伝子解析.

第60回日本ウイルス学会学術総会 (2012.11)

*¹ 広島市衛生研究所

*² 広島市南保健センター

Sugita-Konishi Y, Irikura D, Saito M^{*1}, Yahata Y^{*2}, Kamata Y: A parasite toxin of *sarcocystis* in raw horse meat causes a new food borne disease.

IAFP European Symposium (2012.5)

*¹ Saitama Meat Inspection Center

*² Infectious Disease Surveillance Center

都筑秀明^{*1}, 柴田篤志^{*1}, 佐藤宏^{*2}, 小西良子: 市場流通生鮮マグロ類のクドア属粘液胞子虫の保有状況調査.

第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

*¹ 愛知県食品衛生検査所

*² 山口大学

小西良子: Exposure assessment for ochratoxin A and fumonisins in Japan.

World Mycotoxin Forum (2012.11)

菊池裕, 宮原美知子, 渡辺麻衣子, 鎌田洋一, 小西良子: リアルタイム定量PCRによる微生物検出法の検討.

日本防菌防黴学会第39回年次大会 (2012.9)

菊池裕, 遊佐精一, 中島治, 手島玲子, 小西良子, 山口照英: リン酸化セリンを含むプリオン蛋白質を認識する抗体に関する研究.

第85回日本生化学会大会 (2012.12)

菊池裕, 宮原美知子, 渡辺麻衣子, 鎌田洋一, 小西良子: リアルタイム定量PCRによる微生物検出法の検討
日本防菌防黴学会第39回年次大会 (2012.9)

玉川萌笑*, 遊佐精一, 中島治, 手島玲子, 辻勉*, 小西良子, 菊池裕: PrP遺伝子欠損細胞株HpL3-4に導入したヒツジプリオン蛋白質の解析.

第85回日本生化学会大会 (2012.12)

* 星薬科大学

菊池裕: 生物試験法関連の話題提供.

日本防菌防黴学会第28回GMPとバリデーションをめぐる諸問題に関するシンポジウム (2013.3)

菊池裕: 日本薬局方 (JP) の展望.

日本PDA製薬学会第3回微生物シンポジウム (2013.3)

Hara-Kudo Y, Konishi N^{*1}, Kai A^{*1}, Ohtsuka K^{*2}: DNA extraction and molecular detection methods for Shiga toxin-producing *Escherichia coli* in food.

VTEC 2012 (2012.5)

^{*1} Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

^{*2} Saitama Institute of Public Health

Hara-Kudo Y, Hiroi M^{*1}, Iizuka S^{*2}, Taga K^{*3}, Sugiyama K^{*1}, Sugita-Konishi Y, Ohtsuka K^{*4}: Detection methods for Shiga toxin-producing *Escherichia coli* O111 in food.

FoodMicro 2012 (2012.9)

^{*1} Shizuoka Institute of Environment and Hygiene

^{*2} Yokohama Quarantine Station

^{*3} Kobe Quarantine Station

^{*4} Saitama Institute of Public Health

工藤由起子, 齊藤志保子^{*1}, 大塚佳代子^{*2}, 山崎省吾^{*3}, 八尋俊輔^{*4}, 岩出義人^{*5}, 西尾智裕^{*6}, 杉山寛治^{*6}, 大友良光^{*7}, 小沼博隆^{*8}, 田中廣行^{*9}, 中川弘^{*10}, 小西良子, 熊谷進^{*11}: 近年の腸炎ビブリオ食中毒の減少と魚介類の汚染状況の解析.

第46回腸炎ビブリオシンポジウム (2012.11)

^{*1} 秋田県健康環境センター

^{*2} 埼玉県衛生研究所

^{*3} 長崎県環境保健研究センター

^{*4} 熊本県保健環境科学研究所

^{*5} 三重県保健環境研究所

^{*6} 静岡県環境衛生科学研究所

^{*7} 弘前大学大学院

^{*8} 東海大学

^{*9} (一財)日本食品分析センター

^{*10} (株)BMLフード・サイエンス

^{*11} 東京大学大学院

曾我部祐介^{*1}, 塚原めぐみ^{*2}, 丸山弓美^{*3}, 飯塚太由^{*1}, 荒木恵美子^{*2}, 小西良子, 工藤由起子: 腸管出血性大腸菌O26, O111およびO157一斉試験法のための増菌培養法の基礎検討.

第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

^{*1} (財)食品環境検査協会

^{*2} 東海大学海洋学部

^{*3} (社)日本食品衛生協会

小西典子^{*1}, 齊木大^{*1}, 大塚佳代子^{*2}, 森哲也^{*3}, 中川弘^{*4}, 飯塚信二^{*5}, 多賀賢一郎^{*6}, 甲斐明美^{*1}, 小西良子, 工藤由起子: 複数機関で実施した腸管出血性大腸菌O26, O111およびO157一斉試験法のための増菌培養法の検討.

第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

^{*1} 東京都健康安全研究センター

^{*2} 埼玉県衛生研究所

^{*3} (財)東京顕微鏡院

^{*4} (株)BMLフード・サイエンス

^{*5} 横浜検疫所

^{*6} 神戸検疫所

山本祐嗣^{*1}, 林昭宏^{*2}, 飯塚信二^{*2}, 多賀賢一郎^{*1}, 大塚佳代子^{*3}, 小西典子^{*4}, 森哲也^{*5}, 中川弘^{*6}, 齊藤志保子^{*7}, 磯部順子^{*8}, 廣井みどり^{*9}, 神吉政史^{*10}, 右田雄二^{*11}, 小西良子, 工藤由起子: 腸管出血性大腸菌O26, O111およびO157の一斉試験法のコロボレイティブスタディによる評価(1).

第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

^{*1} 神戸検疫所

- *² 横浜検疫所
 *³ 埼玉県衛生研究所
 *⁴ 東京都健康安全研究センター
 *⁵ (財)東京顕微鏡院
 *⁶ (株)BMLフード・サイエンス
 *⁷ 秋田県健康環境センター
 *⁸ 富山県衛生研究所
 *⁹ 静岡県環境衛生科学研究所
 *¹⁰ 大阪府立公衆衛生研究所
 *¹¹ 長崎県環境保健研究センター

大塚佳代子^{*1}, 門脇奈津子^{*1}, 森哲也^{*2}, 高見明代^{*3}, 中川弘^{*3}, 林昭宏^{*4}, 上田泰史^{*5}, 小西典子^{*6}, 甲斐明美^{*6}, 右田雄二^{*7}, 神吉政史^{*8}, 廣井みどり^{*9}, 磯部順子^{*10}, 齊藤志保子^{*11}, 小西良子, 工藤由起子: 腸管出血性大腸菌O26, O111およびO157の一斉試験法のコロドレイティブスタディによる評価(2).
 第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

- *¹ 埼玉県衛生研究所
 *² (財)東京顕微鏡院
 *³ (株)BMLフード・サイエンス
 *⁴ 横浜検疫所
 *⁵ 神戸検疫所
 *⁶ 東京都健康安全研究センター
 *⁷ 長崎県環境保健研究センター
 *⁸ 大阪府立公衆衛生研究所
 *⁹ 静岡県環境衛生科学研究所
 *¹⁰ 富山県衛生研究所
 *¹¹ 秋田県健康環境センター

長尾清香, 李謙一^{*}, 小西良子, 工藤由起子: 志賀毒素産生性大腸菌が保有する病原因子と血清群との関連性の解析.
 第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

* 東京大学大学院

小西典子^{*}, 尾畑浩魁^{*}, 高橋正樹^{*}, 下島優香子^{*}, 仲真晶子^{*}, 工藤由起子, 甲斐明美^{*}: 食品を対象とした腸炎ビブリオ試験法作成のための基礎的検討.
 第46回腸炎ビブリオシンポジウム (2012.11)

* 東京都健康安全研究センター

山崎朗子, 田中廣行^{*1}, 三好伸一^{*2}, 渡部一仁^{*3}, 上村尚^{*4}, 飯島義雄^{*5}, 杉田隆^{*4}, 岡田由美子, 工藤由起

子, 小西良子: ランプ法を用いた食品中での各種食中毒微生物病原因子の検出.
 日本薬学会第133年会 (2013.3)

- *¹ (一財)日本食品分析センター
 *² 岡山大学
 *³ 摂南大学
 *⁴ 明治薬科大学
 *⁵ 神戸市環境保健研究所

松谷佐知子: バクテリアの転写因子ArtAタンパク質のDNA結合活性.
 第35回日本分子生物学会年会 (2012.12)

鎌田洋一: 新しく加えられた寄生虫性食中毒の現状と対策馬肉におけるザルコシステリス食中毒.
 平成24年度獣医学術学会北海道地区学会シンポジウム (2012.9)

鎌田洋一: 「粒子状物質とその暴露」 - アレルゲン粒子 - .
 2012年室内環境学会第1回講演会 (2012.9)

小松原英介^{*1}, 宇治家武史^{*2}, 林司^{*1}, 西川禎一^{*2}, 鎌田洋一: NASBA-核酸クロマト法を用いたセレウス菌の新規検出法.
 第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

- *¹ (株)カイノス
 *² 大阪市立大学大学院生活科学研究科

宇治家武史^{*}, 林司^{*}, 山本茂貴, 鎌田洋一: 食材からのエンテロトキシン遺伝子保有ウエルシュ菌の直接検出法.
 第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

* (株)カイノス

浅野桃子^{*1}, ニツ亀雅文^{*1}, 池田高紀^{*2}, 古澤直人^{*1}, 鎌田洋一, 西川禎一^{*1}: パックライスからのセレウリド抽出法と測定方法の検討.
 第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

- *¹ 大阪市立大学大学院生活科学研究科
 *² 帝塚山学院大学

星英之^{*1}, 安木真世^{*1}, 近藤香織^{*1}, 門間千枝^{*2}, 山本

茂貴, 鎌田洋一, 三宅真実^{*1}: 宿主細胞との共培養系におけるウェルシュ菌エンテロトキシンの発現誘導.
第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

^{*1} 大阪府立大学・獣医公衆衛生学

^{*2} 東京都健康安全研究センター

鎌田洋一: ザルコシステイスが含まれる食品による食中毒.

平成24年日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (2013.2)

鎌田洋一, 入倉大祐, 斉藤守弘^{*}, 小西良子: 馬肉ザルコシステイス食中毒の病因毒素タンパク質の同定と性状解析.

第103回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.5)

^{*} 埼玉県食肉衛生検査センター

斉藤守弘^{*}, 鎌田洋一, 小西良子: *Sarcocystis fayeri*による食中毒・下痢のメカニズムと15kDaタンパク質との関係.

第154回日本獣医学会学術集会 (2012.9)

^{*} 埼玉県食品衛生検査センター

村上広和^{*1}, 奈賀俊人^{*3}, 服部能英^{*2}, 竹中宏誌^{*2}, 大田洋一郎^{*2}, 鎌田洋一, 小西良子, 谷森紳治^{*1}, 切畑光統^{*2}: セレウリドおよび類緑体の合成と, それらを標準品に用いる*Bacillus cereus*培養液のLC/MS分析.

日本食品微生物学会第33回学術総会 (2012.10)

^{*1} 大府大院生命環境科学研究科

^{*2} 大府大21世紀科学研究機構

^{*3} 東洋食品工業短大包装食品工学

斉藤守弘^{*}, 宇佐美宏典^{*}, 橋本勝弘, 鎌田洋一, 小西良子: *Sarcocystis fayeri*による食中毒・下痢のメカニズムと15kDaタンパク質との関係.

平成24年日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (2013.2)

^{*} 埼玉県食肉衛生検査センター

Watanabe M, Yonezawa T^{*}, Sugita-Konishi Y, Kamata Y: Application of phytoalexin-producing relationships among trichothecene-producing *Fusarium* species to the prediction about the potential mycotoxin-productivity. MycoRed 2012 (2012.6)

^{*} Fudan University

渡辺麻衣子, 米澤隆弘^{*}, 小西良子, 鎌田洋一: *Fusarium*属菌のマイコトキシン産生能を推定するー分子系統解析の有用性ー.

日本マイコトキシン学会第71回学術講演会 (2012.7)

^{*} 復旦大学

渡辺麻衣子: 津波被災地域における避難施設内の真菌叢.

日本防菌防黴学会第39回年次大会 (2012.9)

渡辺麻衣子, 小沼ルミ^{*1}, 入倉大祐, 瓦田研介^{*1}, 角泰人^{*2}, 横瀬英里子^{*2}, 原田奈穂子^{*2}, 林健太郎^{*2}, 小西良子, 鎌田洋一: 津波被災地域における避難施設内の真菌叢.

日本防菌防黴学会第39回年次大会 (2012.9)

^{*1} 東京都立産業技術研究センター

^{*2} 日本プライマリ・ケア連合学会東日本大震災支援プロジェクト

小沼ルミ^{*1}, 渡辺麻衣子, 瓦田研介^{*1}, 高鳥浩介^{*2}, 小西良子, 鎌田洋一: *Aspergillus fumigatus*アレレルゲン遺伝子の変異と菌分離由来の影響.

日本防菌防黴学会第39回年次大会 (2012.9)

^{*1} 東京都立産業技術研究センター

^{*2} NPO法人カビ相談センター

角泰人^{*1}, 横瀬英里子^{*1}, 原田奈穂子^{*1}, 林健太郎^{*1}, 渡辺麻衣子, 入倉大祐, 小沼ルミ^{*2}, 瓦田研介^{*2}, 小西良子, 鎌田洋一: 石巻市内におけるボランティアによる避難所の寝具・環境清掃活動(ダニバスターズ)とカビ環境の変化.

日本防菌防黴学会第39回年次大会 (2012.9)

^{*1} 日本プライマリ・ケア連合学会東日本大震災支援プロジェクト

^{*2} 東京都立産業技術研究センター

角泰人^{*}, 横瀬英里子^{*}, 原田奈穂子^{*}, 林健太郎^{*}, 渡辺麻衣子, 鎌田洋一, 小西良子: 東日本大震災後の避難所のカビ発生調査と, 水害後に健康被害を起こしうる真菌についての考察.

第53回日本熱帯医学会 (2012.9)

* 日本プライマリ・ケア連合学会東日本大震災支援プロジェクト

渡辺麻衣子, 北山真弓^{*1}, 吉成知也, 橋本ルイコ^{*2}, 川上浩^{*1}, 高橋治男, 小西良子, 鎌田洋一: 食品由来 *Aspergillus niger* のフモニシン産生性スクリーニング手法についての検討.

第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

^{*1} 共立女子大学

^{*2} 千葉県立衛生研究所

鎌田洋一, 小沼ルミ^{*1}, 渡辺麻衣子, 瓦田研介^{*1}, 高鳥浩介^{*2}, 小西良子: *Aspergillus fumigatus* アレルゲン遺伝子の変異と分離源との関連とエピトープへの影響.

第62回日本アレルギー学会秋季学術大会 (2012.11)

^{*1} 東京都立産業技術研究センター

^{*2} NPO法人カビ相談センター

橋本一浩^{*1}, 川上裕司^{*1}, 渡辺麻衣子, 横山耕治^{*2}, 浅野勝佳^{*3}, 陰地義樹^{*3}, 鎌田洋一, 高橋治男: 日本国内にて分離された *Aspergillus section Circumdati* のオクラトキシン類産生性.

日本マイコトキシン学会第72回学術講演会 (2013.1)

^{*1} (株)エフシージー総合研究所

^{*2} 千葉大学真菌医学研究センター

^{*3} 奈良県保健環境研究センター

渡辺麻衣子: 遺伝子塩基配列を用いての *Fusarium* 属菌の同定と分子系統学的位置付けに関する研究.

日本マイコトキシン学会第72回学術講演会奨励賞受賞講演 (2013.1)

Kamata Y, Irikura D, Watanabe M, Ohnishi T, Monma C*, Nakama A*, Kai A*, Sugita-Konishi Y: Isolation and characterization of a new enterotoxin produced by *Clostridium perfringens*.

47th US-Japan Joint Panel Meeting on Toxic Microorganisms, United States-Japan Cooperative Program on Development and Utilization of Natural Resources: 12th International Symposium (2013.1)

* Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

Yoshinari T, Watanabe M, Ohnishi T, Furusawa H, Kawakami H*, Sugita-Konishi, Y: Study on the *Aflatoxigenic* Fungi in *Aflatoxin* G1-Contaminated Corn. 47th Annual Meeting of the UJNR Joint Panel on Toxic Microorganisms (2013.1)

* Kyoritsu Women's University

入倉大祐, 門間千枝*, 甲斐明美*, 小西良子, 渡辺麻衣子, 鎌田洋一: ウエルシュ菌新型下痢毒素の分離と性状(1): ゲノム解析による毒素候補遺伝子の探査.

第86回日本細菌学会総会 (2013.3)

* 東京都健康安全研究センター

鎌田洋一, 入倉大祐, 門間千枝*, 甲斐明美*, 渡辺麻衣子, 小西良子: ウエルシュ菌新型下痢毒素の分離と性状(2): 毒素遺伝子の同定と組換え毒素タンパク質の作製.

第86回日本細菌学会総会 (2013.3)

* 東京都健康安全研究センター

門間千枝*, 鈴木康規*, 入倉大祐, 鎌田洋一, 小西良子, 仲真晶子*, 甲斐明美*: ウエルシュ菌新型下痢毒素の分離と性状(3): 集団食中毒由来株の新型毒素遺伝子の発現と下痢原性の証明.

第86回日本細菌学会総会 (2013.3)

* 東京都健康安全研究センター

鈴木彩葉^{*1}, 大塚朋美^{*1}, 川上浩^{*1}, 入倉大祐, 門間千枝^{*2}, 甲斐明美^{*2}, 小西良子, 渡辺麻衣子, 大西貴弘, 鎌田洋一: ウエルシュ菌新型下痢毒素の分離と性状(4): 培養液中の毒素産生の検証と細胞毒性の解析.

第86回日本細菌学会総会 (2013.3)

^{*1} 共立女子大学

^{*2} 東京都健康安全研究センター

渡辺麻衣子, 大波純一^{*1}, 足立淳^{*2}, 小西良子, 鎌田洋一: *Fusarium proliferatum* ゲノム中の転移因子探索のためのドラフトゲノム解析.

第7回日本ゲノム微生物学会年会 (2013.3)

^{*1} (独) 科学技術振興機構

^{*2} (独) 統計数理学研究所

Ohnishi T, Kawai T^{*1}, Sekizuka T^{*2}, Yahata Y^{*2}, Kuroda M^{*2}, Kumeda Y^{*1}, Iijima Y^{*3}, Kamata Y, Sugita-Konishi Y: *Kudoa septempunctata* causes the novel food-poisoning outbreaks in Japan by consumption of olive flounder in raw.

IAFP European Symposium (2012.5)

^{*1} 大阪府立公衆衛生研究所

^{*2} 国立感染症研究所

^{*3} 神戸市環境保健研究所

李迎春^{*}, 佐藤宏^{*}, 鎌田洋一, 大西貴弘, 小西良子: 日本近海産クロダイとイシガキダイにみられたHenneguya属-Myxobolus属粘液胞子虫3種について. 第154回日本獣医学会学術集会 (2012.9)

^{*} 山口大学

佐藤宏^{*1}, 李迎春^{*1}, Lea A. Jimene^{*1}, 都築秀明^{*2}, 大西貴弘, 小西良子: 日本国内で消費されるマグロに寄生する*Kudoa neothunni*の2系統について. 第154回日本獣医学会学術集会 (2012.9)

^{*1} 山口大学

^{*2} 愛知県衛生研究所

河合高生^{*}, 原田哲也^{*}, 陳内理生^{*}, 菊池裕, 大西貴弘, 小西良子, 久米田裕子^{*}: 乳のみマウスを使用した*Kudoa septempunctata*の下痢原性に関する研究(3). 第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

^{*} 大阪府立公衆衛生研究所

原田哲也^{*}, 河合高生^{*}, 陳内理生^{*}, 大西貴弘, 小西良子, 久米田裕子^{*}: 食中毒患者糞便からのナナホシクトア試験法. 第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

^{*} 大阪府立公衆衛生研究所

大西貴弘, 吉成知也, 古沢博子, 小西良子: 総アフラトキシン規制移行に伴う違反事例の検証. 第72回日本マイコトキシン学会学術講演会 (2013.1)

吉成知也, 佐藤友理^{*}, 渡辺麻衣子, 鎌田洋一, 川上浩^{*}, 大西貴弘, 小西良子: Gグループアフラトキシン含有トウモロコシより分離したアフラトキシン生産菌の解

析.

日本マイコトキシン学会第71回学術講演会 (2012.7)

^{*} 共立女子大学

吉成知也, 田中敏嗣^{*1}, 中島正博^{*2}, 内藤成弘^{*3}, 永山敏廣^{*4}, 堀江正一^{*5}, 石黒瑛一^{*6}, 大西貴弘, 小西良子: アセチル化デオキシニバレノールとフモニシン類の分析法の妥当性の評価及び国内流通品における実態調査.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

^{*1} 神戸市環境保健研究所

^{*2} 名古屋市衛生研究所

^{*3} (独)農研機構食品総合研究所

^{*4} 東京都健康安全研究センター

^{*5} 大妻女子大学

^{*6} (社)日本科学飼料協会

竹内浩^{*1}, 吉成知也, 青山幸二^{*2}, 中島正博^{*3}, 谷口賢^{*3}, 橋口成喜^{*4}, 甲斐茂美^{*5}, 田端節子^{*6}, 田中敏嗣^{*7}, 佐藤孝史^{*8}, 松井好之^{*9}, 小木曾基樹^{*10}, 石黒瑛一^{*10}, 小西良子: 日本に流通する食品中のT-2トキシン, HT-2トキシンおよびゼアラレノン汚染実態調査(平成23年度).

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

^{*1} 三重県保健環境研究所

^{*2} (独)農林水産消費安全技術センター

^{*3} 名古屋市衛生研究所

^{*4} 川崎市衛生研究所

^{*5} 神奈川県衛生研究所

^{*6} 東京都健康安全研究センター

^{*7} 神戸市環境保健研究所

^{*8} (財)食品分析開発センター SUNATEC

^{*9} (財)日本冷凍食品検査協会

^{*10} (財)日本食品分析センター

Yoshinari T, Aoyama K^{*1}, Nakajima M^{*2}, Tanigichi M^{*2}, Takeuchi H^{*3}, Hashiguchi S^{*4}, Kai S^{*5}, Tabata S^{*6}, Tanaka T^{*7}, Sugita-Konishi Y: Occurrence of T-2 toxin, HT-2 toxin and zearalenone in retail foods in Japan. Society of Toxicology (The 52nd Annual Meeting) (2013.3)

^{*1} Food and Agricultural Materials Inspection Center

^{*2} Nagoya City Public Health Research Institute

*³ Mie Prefecture Health and Environment Research Institute

*⁴ Kawasaki City Institute for Public Health

*⁵ Kanagawa Prefectural Institute of Public Health

*⁶ Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

*⁷ Kobe Institute of Health

鎌田洋一, 入倉大祐, 齊藤守弘*, 大西貴弘, 小西良子: 馬肉食中毒の原因寄生虫であるフェイヤー住肉胞子虫の病原性タンパク質の性状.

第154回日本獣医学会学術集会 (2012.9)

* 埼玉県食品衛生検査センター

大野彰子, 太田庸介, 前川京子, 斎藤嘉朗, 奥田晴宏, 栗原正明, 岩田祐子*, 南野直人*, 若林繁夫*, 福原潔: NMRを用いた拡張型心筋症モデルハムスターのメタボローム解析.

第65回日本酸化ストレス学会学術集会 (2012.6)

* 国立循環器病研究センター

福原潔, 大野彰子, 太田庸介, 前川京子, 奥田晴宏, 栗原正明, 奥野海良人*, 新飯俊平*, 斎藤嘉朗, 滝川修*: NMRを用いたアルツハイマー症モデルマウスのメタボローム解析.

第65回日本酸化ストレス学会学術集会 (2012.6)

* 国立循環器病研究センター

中西郁夫*¹, 大久保敬*², 宇都義浩*³, 川島知憲*¹, Sushma Manda*¹, 松本謙一郎*¹, 堀均*³, 福原潔, 伊古田暢夫*⁴, 福住俊一*², 安西和紀*⁵, 小澤俊彦*⁶: アルテピリンCおよびその類縁体の密度汎関数計算による熱力学的パラメータとフリーラジカル消去活性との関係.

第65回日本酸化ストレス学会学術集会 (2012.6)

*¹ (独)放射線医学総合研究所

*² 大阪大学大学院工学研究科

*³ 徳島大学大学院

*⁴ 就実大学薬学部

*⁵ 日本薬科大学

*⁶ 横浜薬科大学

中西郁夫*¹, 川島知憲*¹, Sushma Manda*¹, 宇都義浩*², 大久保敬*³, 堀均*², 松本謙一郎*¹, 福原潔, 福住俊一*³, 安西和紀*⁴, 小澤俊彦*⁵: ブラジル産プロポ

リスに由来するアルテピリンCおよびその誘導体のフリーラジカル消去活性.

第12回日本抗加齢医学会総会 (2012.6)

*¹ (独)放射線医学総合研究所

*² 徳島大学大学院

*³ 大阪大学大学院工学研究科

*⁴ 日本薬科大学

*⁵ 横浜薬科大学

中西郁夫*¹, 稲見圭子*², 野村昌吾*², 大久保敬*³, 川島知憲*¹, 福原潔, 安西和紀*⁴, 小澤俊彦*⁵, 福住俊一*³, 望月正隆*², 松本謙一郎*¹: 非水溶媒中におけるアスコルビン酸およびその誘導体のラジカル消去機構.

第12回日本抗加齢医学会総会 (2012.6)

*¹ (独)放射線医学総合研究所

*² 東京理科大学薬学部

*³ 大阪大学大学院工学研究科

*⁴ 日本薬科大学

*⁵ 横浜薬科大学

名見耶早織, 出水庸介, 佐藤由紀子, 土井光暢*¹, 田中正一*², 栗原正明: 安定化ヘリカルペプチドを用いたVDR転写阻害剤の設計と合成.

ケミカルバイオロジー第7回年会 (2012.6)

*¹ 大阪薬科大学

*² 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

池田絵美*¹, 加藤巧馬*¹, 花田知美*¹, 出水庸介, 栗原正明, 土井光暢*², 津田裕子*³, 大庭誠*¹, 田中正一*¹: 非天然型アミノ酸を含有するエンドモルフィン-2類縁体の合成.

第49回化学関連支部合同九州大会 (2012.6)

*¹ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

*² 大阪薬科大学

*³ 神戸学院大学薬学部

今井耕平*, 矢口亮助*, 福原潔, 中村朝夫*: 光線力学療法に有用な新規シアニン誘導体の合成.

2012年光化学討論会 (2012.9)

* 芝浦工業大学大学院理工学研究科

正田卓司, 加藤雅士*, 井上英史*, 服部隆行, 内藤幹

彦, 栗原正明: 細胞膜透過性蛍光NTAの創製.
第56回日本薬学会関東支部会 (2012.10)

* 東京薬科大学生命科学部

今井耕平*, 矢口亮助*, 福原潔, 中村朝夫*: シアニン骨格を有する光増感剤の合成.
第56回日本薬学会関東支部会 (2012.10)

* 芝浦工業大学大学院理工学研究科

新保未央*, 今井耕平*, 矢口亮助*, 福原潔, 中村朝夫*: がん治療に有用なシアニン骨格を有する新規光線力学療法剤の合成.
第2回CSJ化学フェスタ2012 (2012.10)

* 芝浦工業大学大学院理工学研究科

福原潔, 今井耕平*¹, 中西郁夫*², 大野彰子, 松本謙一郎*², 中村朝夫*¹, 栗原正明: メチル基を有するフラボノイド系抗酸化剤の合成とラジカル消去活性.
第30回メディシナルケミストリーシンポジウム (2012.11)

*¹ 芝浦工業大学大学院理工学研究科

*² (独)放射線医学総合研究所

出水庸介, 倉島恵愛, 本吉仁美, 佐藤由紀子, 正田卓司, 野尻久雄*, 橋高敦史*, 栗原正明: 長鎖アルキル基を有するノンセコステロイド型VDRリガンドの創製.
第30回メディシナルケミストリーシンポジウム (2012.11)

* 帝京大学薬学部

石川奈保子*¹, 大庭誠*², 栗原正明, 出水庸介, 末宗洋*¹, 田中正一*²: キラルアセタールを有する6員環アミノ酸の合成とそのオリゴマーの配座解析.
第38回反応と合成の進歩シンポジウム (2012.11)

*¹ 九州大学大学院薬学府

*² 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

加藤郁美*¹, 大庭誠*¹, 栗原正明, 高野由紀子*², 田中正一*¹: ペンダント型不斉中心を有するキラル五員環状アミノ酸とそのペプチドの合成
第49回ペプチド討論会 (2012.11)

*¹ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

*² 九州大学大学院薬学府

今西愛*¹, 大庭誠*¹, 出水庸介, 栗原正明, 土井光暢*², 高崎紘臣*³, 末宗洋*³, 田中正一*¹: アジド基を有するキラル五員環アミノ酸とそのペプチドの合成.
第49回ペプチド討論会 (2012.11)

*¹ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

*² 大阪薬科大学

*³ 九州大学大学院薬学府

杉山亨*¹, 今村保忠*², 出水庸介, 栗原正明, 高野真史*³, 橋高敦史*³: リジン側鎖を持ったβキラルペプチド核酸の合成.
第49回ペプチド討論会 (2012.11)

*¹ 東京大学大学院総合文化研究科

*² 工学院大学

*³ 帝京大学薬学部

中西郁夫*¹, 稲見圭子*², 野村昌吾*², 大久保敬*³, 川島知憲*¹, 福原潔, 安西和紀*⁴, 福住俊一*³, 小澤俊彦*⁵, 望月正隆*², 松本謙一郎*¹: ビタミンCおよびその誘導体の有機溶媒中におけるラジカル消去機構.
第27回日本酸化ストレス学会関東支部会 (2012.12)

*¹ (独)放射線医学総合研究所

*² 東京理科大学薬学部

*³ 大阪大学大学院理工学研究科

*⁴ 日本薬科大学

*⁵ 横浜薬科大学

宇久翼*¹, 大庭誠*¹, 出水庸介, 栗原正明, 土井光暢*², 田中正一*¹: キラルアセタールを有する4員環状アミノ酸よりなるペプチドの合成と二次構造解析.
第29回薬学会九州支部大会 (2012.12)

*¹ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

*² 大阪薬科大学

荒井卓也*¹, 大野彰子, 柿澤多恵子*², 中川秀彦*¹, 小澤俊彦*³, 宮田直樹*¹, 栗原正明, 福原潔: AD治療薬を指向したAβのC末端モチーフを有するTrolox誘導体の開発.
第24回ビタミンE研究会 (2013.1)

*¹ 名古屋市立大学大学院薬学研究科

*² 工学院大学工学部

*³ 横浜薬科大学

太田庸介, 大野彰子, 石田誠一, 黒田幸恵, 最上(西巻)知子, 奥田晴宏, 栗原正明, 関野祐子, 斎藤嘉朗, 福原潔: NMRメタボロミクスを用いたアセトアミノフェンの細胞毒性機構の解析.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

大野彰子, 荒井卓也*², 中西郁夫*¹, 松本謙一郎*¹, 中川秀彦*², 宮田直樹*², 栗原正明, 福原潔: カテキンをテンプレートとしたアルツハイマー病予防薬の開発.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ (独)放射線医学総合研究所

*² 名古屋市立大学大学院薬学研究科

今井耕平*^{1,2}, 矢口亮助*¹, 福原潔, 中村朝夫*¹: 新たな活性酸素ドナーとして期待されるシアニン誘導体の合成.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 芝浦工業大学大学院理工学研究科

*² (独)放射線医学総合研究所

荒井卓也*¹, 大野彰子, 柿澤多恵子*², 中川秀彦*¹, 小津俊彦*³, 栗原正明, 福原潔, 宮田直樹*¹: AD治療薬の開発を指向したAβ1-40およびAβ1-42のC末端モチーフを有するビタミンE誘導体の合成とAβ凝集阻害能の解析.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 名古屋市立大学大学院薬学研究科

*² 工学院大学工学部

*³ 横浜薬科大学

長久保貴哉*¹, 大野彰子, 荒井卓也*², 斉藤俊樹*¹, 宮田直樹*², 北川理*¹, 福原潔, 栗原正明: レスベラトロールをテンプレートとした新規抗酸化物質の開発.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 芝浦工業大学工学部応用化学科

*² 名古屋市立大学大学院薬学研究科

正田卓司, 花尻(木倉)瑠里, 福原潔, 奥田晴宏, 合田

幸広, 栗原正明: 合成カンナビノイド代謝物の合成に関する研究.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

栗原正明, 佐藤由紀子, 出水庸介: QSARによる化学物質の有害性予測法の開発.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

栗原正明, 佐藤由紀子, 出水庸介: コンピュータシミュレーションによる違法ドラッグの活性予測.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

本吉仁美, 出水庸介, 倉島恵美, 正田卓司, 佐藤由紀子, 栗原正明: 長鎖アルキル基を持つノンセコステロイド型VDRリガンドの創製.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

白川真奈美, 名兎耶早織, 出水庸介, 正田卓司, 佐藤由紀子, 栗原正明: LXXLLモチーフを有する安定化ヘリカルペプチド.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

山崎徳和, 出水庸介, 正田卓司, 佐藤由紀子, 栗原正明: らせん構造を有する新規フォルダマーの創製.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

今西愛*¹, 大庭誠*¹, 出水庸介, 栗原正明, 土井光暢*², 高崎紘臣*³, 末宗洋*³, 田中正一*¹: アジド基を持つ光学活性五員環アミノ酸の合成とそのペプチドの二次構造解析.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

*² 大阪薬科大学

*³ 九州大学大学院薬学府

小野京*¹, 島袋充史*¹, 大庭誠*¹, 土井光暢*², 栗原正明, 出水庸介, 田中正一*¹: 光学活性5員環メチオニンアナログの設計とそのペプチドの二次構造解析.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

*² 大阪薬科大学

杉山亨*¹, 今村保忠*², 出水庸介, 栗原正明, 高野真史*³, 橋高敦史*³: β-リジンPNAの合成.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 東京大学大学院総合文化研究科

*² 工学院大学

*³ 帝京大学薬学部

加藤雅士, 正田卓司, 出水庸介, 井上英史*, 服部隆行, 内藤幹彦, 栗原正明: 細胞膜透過性蛍光NTAの設計・合成.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 東京薬科大学生命科学部

名児耶早織, 出水庸介, 佐藤由紀子, 正田卓司, 土井光暢*¹, 田中正一*², 栗原正明: 安定化ヘリカルペプチドを用いたVDR-コアクチベータ結合阻害剤の創製.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 大阪薬科大学

*² 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

末吉康人*¹, 和泉有紀*¹, 土井光暢*², 出水庸介, 栗原正明, 大庭誠*¹, 田中正一*¹: ペプチドコンフォメーションへの重水素同位体効果に関する研究.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

*² 大阪薬科大学

出水庸介, 土井光暢*¹, 佐藤由紀子, 田中正一*², 栗原正明: ジ置換アミノ酸によるLD-ペプチドの二次構造制御.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

*¹ 大阪薬科大学

*² 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

Naito M, Okuhira K, Demizu Y, Itoh Y*, Ishikawa M*, Ohoka N, Shibata N, Hattori T, Nishimaki-Mogami T, Kurihara M, Hashimoto Y*: Development of hybrid small molecules that induce IAP-mediated ubiquitylation and proteasomal degradation of target proteins in a specific manner.

Genetics and Chemistry Sharing a Language of Discovery (2012.5)

* 東京大学分子細胞生物学研究所

Ohno A, Kawanishi T, Okuda H, Kurihara M, Fukuhara K: New approach to quality evaluation for a difference of the high-order structure of peptide/protein drugs.

244th American Chemical Society National Meeting & Exposition, (2012.8)

Fukuhara K, Imai K*¹, Nakanishi I*², Ohno A, Matsumoto K*², Nakamura A*¹, Kurihara M: Methyl analogues of quercetin for improved radical-scavenging activities.

244th American Chemical Society National Meeting & Exposition, (2012.8)

*¹ 芝浦工業大学大学院理工学研究科

*² (独)放射線医学総合研究所

Fukuhara K: The Application of NMR-Based Metabolomics in Drug Development.

The 3rd International Symposium on Drug Discovery and Design by NMR (2012.10)

Nagoya S, Demizu Y, Sato Y, Nagumo S*¹, Doi M*², Tanaka M*³, Kurihara M: Design and synthesis of stabilized helical peptide for transcriptional inhibitor of vitamin D receptor.

The 11th International Symposium on Advanced Technology (ISAT-Special) (2012.10)

*¹ 工学院大学

*² 大阪薬科大学

*³ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

Okumura-Noji K*¹, Cavigiolio G*², Huang R*³, Davidson WS*³, Akita N*¹, Okuhira K, Yokoyama S*¹, Tsujita M*¹: An anion-exchange chromatography isolated sub-fraction of mouse apolipoprotein A-I is unable to activate cellular cholesterol release from mouse peritoneal macrophage foam cells.

Arteriosclerosis, Thrombosis, Vascular Biology 2012 Scientific Sessions (2012.4)

*¹ 名古屋市立大学

*² Children's Hospital Oakland Research Institute

*³ University of Cincinnati

Naito M, Okuhira K, Demizu Y, Itoh Y*, Ishikawa M*,

Ohoka N, Shibata N, Hattori T, Nishimaki-Mogami T, Kurihara M, Hashimoto Y*: Development of small molecules that induce IAP-mediated ubiquitylation and proteasomal degradation of target proteins in a specific manner.

Cell Symposia: Genetics and Chemistry Sharing a Language of Discovery (2012.5)

* 東京大学分子細胞生物学研究所

石川稔^{*1}, どど孝介^{*2}, 伊藤幸裕^{*1}, 浅沼三和子^{*2}, 佐藤伸一^{*1}, 袖岡幹子^{*2}, 内藤幹彦, 橋本祐一^{*1}: タンパク質ノックダウン法を利用した新治療戦略と低分子の標的タンパク質同定法.

日本ケミカルバイオロジー学会第7回年会 (2012.6)

^{*1} 東京大学分子細胞生物学研究所

^{*2} (独)理化学研究所

Nishimaki-Mogami T, Cui H, Okuhira K, Naito M, Suzuki K, Nishimura T, Hirose A: Mechanism underlying multiwall carbon nanotube-induced IL-1beta secretion. EUROTOX 2012 (2012.6)

奥平桂一郎, 出水庸介, 大岡伸通, 柴田識人, 服部隆行, 最上(西巻)知子, 奥田晴宏, 栗原正明, 内藤幹彦: 乳癌におけるエストロゲンレセプターの分解を誘導する分子SNIPER(ER)の開発.

第16回日本がん分子標的治療学会学術集会 (2012.6)

Ohoka N, Okuhira K, Cui H, Wu W, Naito M, Nishimaki-Mogami T: HNF4 α regulates human liver-specific ABCA1 gene expression.

第44回日本動脈硬化学会学術集会 (2012.7)

Ohoka N, Okuhira K, Cui H, Wu W, Naito M, Nishimaki-Mogami T: Hepatocyte Nuclear Factor 4alpha (HNF4alpha) Regulates Liver-specific Human ATP-binding Cassette Protein A1 (ABCA1) Gene Expression in Response to Cholesterol Depletion.

ASBMB Symposium "Frontiers in Lipid Biology" (2012.9)

服部隆行, 田矢洋一*: Distinct and site-specific phosphorylation of the retinoblastoma protein at serine 612 in differentiated cells.

第71回日本癌学会学術総会 (2012.9)

* 国立シンガポール大学癌科学研究所

Hattori T, Uchida C^{*1}, Takahashi H^{*2}, Yamamoto N^{*2}, Naito M, Taya Y^{*2}: Distinct Phosphorylation of the Retinoblastoma Protein at Serine 612 in Differentiated Cells.

Ninth AACR-Japanese Cancer Association Joint Conference: Breakthroughs in Basic and Translational Cancer Research (2013.2)

^{*1} 東京医科大学

^{*2} 国立シンガポール大学

Ohoka N, Ohata H*, Naito M: Apollon binds cyclin A and promotes degradation in early mitosis independent of spindle assembly checkpoint.

Ninth AACR-Japanese Cancer Association Joint Conference: Breakthroughs in Basic and Translational Cancer Research (2013.2)

* 国立がん研究センター研究所

Shibata N, Ohoka N, Sakuraba Y*, Gondo Y*, Naito M: Destabilization of FLICE-like inhibitory protein long (FLIPL), an anti-apoptotic and anti-necrotic protein, through ubiquitin-proteasome system by a stop codon read-through mutation.

Ninth AACR-Japanese Cancer Association Joint Conference: Breakthroughs in Basic and Translational Cancer Research (2013.2)

* (独)理化学研究所バイオリソースセンター

Okuhira K, Demizu Y, Ohoka N, Shibata N, Hattori T, Nishimaki-Mogami T, Kurihara M, Okuda H, Naito M: Development of SNIPER(ER) that induces estrogen receptor degradation followed by rapid cell death in breast cancer cells.

Ninth AACR-Japanese Cancer Association Joint Conference: Breakthroughs in Basic and Translational Cancer Research (2013.2)

服部隆行, 内田千晴^{*1}, 高橋宏隆^{*2}, 山本直樹^{*2}, 内藤幹彦, 田矢洋一^{*2}: 細胞分化に伴うRBタンパク質のセリン612の特異的リン酸化.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

^{*1} 東京医科大学

^{*2} 国立シンガポール大学

柴田識人, 内藤幹彦, Glass CK^{*}: 25-Hydroxycorticosteroidsによる炎症反応の制御.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

^{*} カリフォルニア大学サンディエゴ校

奥平桂一郎, 大岡伸通, 最上(西巻)知子, 伊藤幸裕^{*}, 石川稔^{*}, 橋本祐一^{*}, 内藤幹彦: 細胞内に局在するタンパク質を標的としたプロテインノックダウン技術の評価.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

^{*} 東京大学分子細胞生物学研究所

友重秀介^{*}, 北口梨沙^{*}, 大金賢司^{*}, 石川稔^{*}, 内藤幹彦, 橋本祐一^{*}: 神経変性疾患原因タンパク質分解誘導剤の創製研究.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

^{*} 東京大学分子細胞生物学研究所

中村政志^{*1,2}, 矢上晶子^{*1}, 原和宏^{*2}, 太田理会^{*1}, 佐野晶代^{*1}, 福富友馬^{*3}, 手島玲子, 松永佳世子^{*1}: 加水分解小麦末含有石鹼による小麦アレルギーの診断方法の開発.

第24回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2012.5)

^{*1} 藤田保健衛生大学

^{*2} ホーユー(株)総合研究所

^{*3} 国立相模原病院

福富友馬^{*1}, 手島玲子, 松永佳世子^{*2}, 板垣康治^{*3}, 谷口正実^{*1}, 秋山一男^{*1}: グルパール19Sで感作された加水分解小麦アレルギー患者におけるその他の加水分解小麦への感作状況.

第24回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2012.5)

^{*1} 国立相模原病院

^{*2} 藤田保健衛生大学

^{*3} 北海道文教大学

手島玲子: 輸入解禁となった遺伝子組換えパパイアの検査法.

Ifia JAPAN 2012・食の安全・科学フォーラム第11回セミナー 今注目すべき食品の規格と検査 (2012.5)

Teshima R, Nakamura R, Kitta K^{*1}, Satoh R^{*1}, Lang G^{*1}, Schegg K^{*2}, Blumenthal K^{*3}, Hicks L^{*4}, Rouquié D^{*5}, Herman RA^{*6}, Herouet-Guicheney C^{*5}, Ladics G^{*7}, McClain S^{*8}, Poulsen LK^{*9}, Privalle L^{*10}, Ward JM^{*11}, Doerr N^{*12}, Rascle JB^{*5}: Inter-laboratory optimization of two-dimensional difference gel electrophoresis (2D-DIGE) of rice seed allergens in non-transgenic rice varieties.

European Academy of Allergy and Clinical Immunology (EAACI) Congress 2012 (2012.6)

^{*1} National Food Research Institute

^{*2} Nevada Proteomics Center

^{*3} State University of New York at Buffalo

^{*4} Donald Danforth Plant Science Center

^{*5} Bayer Crop Science

^{*6} Dow AgroSciences LLC

^{*7} DuPont Agricultural Biotechnology

^{*8} Syngenta Crop Protection, LLC

^{*9} Statens Serum Institut

^{*10} BASF Plant Science

^{*11} Monsanto Co.,

^{*12} ILSI Health and Environmental Sciences Institute (HESI)

手島玲子: コメ品種間のアレルゲン発現変動のアレルゲノーム解析.

日本プロテオーム学会2012年大会 (2012.7)

中村政志^{*1,2}, 矢上晶子^{*1}, 原和宏^{*2}, 太田理会^{*1}, 佐野晶代^{*1}, 小林東^{*1}, 福富友馬^{*3}, 手島玲子, 松永佳世子^{*1}: 加水分解コムギ末感作により生じた小麦アレルギーの解析.

第42回日本アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会 (2012.7)

^{*1} 藤田保健衛生大学

^{*2} ホーユー(株)総合研究所

^{*3} 国立相模原病院

手島玲子: 食物アレルギーの話.

第49回日本小児アレルギー学会 (2012.9)

手島玲子: 新規食品並びにアレルギー物質の規格と検査

について.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

Teshima R: Regulation of food containing allergic ingredients in Japan.

5th International Fresenius Conference (2012.10)

手島玲子: アレルギーの最近の話題-身近にあるアレルギー物質とアレルギー抑制薬について-

日本薬学会関東支部・市民講座(くすりと健康2012地方講演会) (2012.11)

手島玲子: 化粧品に含まれる食物アレルギー
日本薬学会第133年会 (2013.3)

蜂須賀暁子: 食品中の放射性物質調査の方法.

第103回日本食品衛生学会学術講演会シンポジウムI 食と放射能を考える (2012.5)

蜂須賀暁子: 食品放射能検査の測定スキームと考え方～スクリーニング検査・確定検査～.

第49回アイソトープ・放射線研究発表会放射線計測分科会イブニングセミナー (2012.7)

蜂須賀暁子, 木村美恵, 中村亮介, 中村里香, 穂山浩, 手島玲子: 経口摂取酸化亜鉛ナノ粒子のマウス免疫影響について.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

中島治, 中村公亮, 近藤一成, 穂山浩, 手島玲子: ヒトエリスロポエチン遺伝子を導入された遺伝子組換えニワトリに由来する肉の検知法について.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

中村亮介, 中村里香, 安達玲子, 板垣康治^{*1}, 松永佳世子^{*2}, 福富友馬^{*3}, 手島玲子: 酸加水分解小麦含有石鹼で感作された患者IgEの*in vitro*活性化試験による交差反応性の評価.

第24回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2012.5)

^{*1} 北海道文教大学

^{*2} 藤田保健衛生大学

^{*3} 国立相模原病院

中村亮介, 中村里香, 星川彩^{*}, 樋口雅一, 川上浩^{*}, 手島玲子: 培養マスト細胞株を用いたアレルギー試験(EXiLE法)による抗アレルギー活性物質のスクリーニ

ング.

日本食品化学学会第18回総会・学術大会 (2012.6)

^{*} 共立女子大学

中村亮介, 中村里香, 酒井信夫, 安達玲子, 福富友馬^{*}, 手島玲子: EXiLE法による加水分解小麦のアレルゲン性における分子サイズの影響の解析.

第85回日本生化学会 (2012.12)

^{*} 国立相模原病院

中村亮介, 中村里香, 手島玲子: EXiLE法における抗原の固相化の影響.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

中村里香, 中村亮介, 安達玲子, 板垣康治^{*1}, 福富友馬^{*2}, 手島玲子: 酸加水分解小麦のIgE結合性および惹起能の比較検討.

第24回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2012.5)

^{*1} 北海道文教大学

^{*2} 国立相模原病院

中村里香, 中村亮介, 小関良弘^{*}, 手島玲子: 塩ストレス耐性遺伝子組換えイネ種子のアレルゲンおよびプロテオーム解析.

日本食品化学学会第18回総会・学術大会 (2012.6)

^{*} 東京農工大学大学院工学研究院

中村里香, 中村亮介, 酒井信夫, 安達玲子, 板垣康治^{*1}, 福富友馬^{*2}, 手島玲子: 酸加水分解小麦含有石鹼に感作された患者血清IgE反応性の解析.

第19回日本免疫毒性学会学術大会 (2012.9)

^{*1} 北海道文教大学

^{*2} 国立相模原病院

伊藤篤志^{*1}, 田口朋之^{*1}, 茂木豪介^{*1}, 田名綱建雄^{*1}, 近藤一成, 穂山浩, 手島玲子, 佐々木伸大^{*2}, 山田晃世^{*2}, 小関良宏^{*2}: DNAマイクロアレイによるGMOスクリーニング検査法の開発.

日本食品化学学会第18回総会・学術大会 (2012.6)

^{*1} 横河電機(株)

^{*2} 東京農工大学大学院工学研究院

高島令王奈^{*1}, 大西真理^{*2}, 布藤聡^{*2}, 峯岸恭孝^{*3}, 近藤一成, 穂山浩, 手島玲子, 真野潤一^{*1}, 橘田和美^{*1}: 遺伝子組換えイネ検出のためのイネ種共通内在性配列の検討.

第30回日本植物細胞分子生物学会大会 (2012.8)

^{*1} (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

^{*2} (株) ファスマック

^{*3} (株) ニッポンジーン

近藤一成, 小林友子, 中村公亮, 小櫃冴未, 野口秋雄, 長沢栄史^{*}, 手島玲子: クサウラベニタケおよび近縁種のrDNA ITS領域の解析.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

^{*} (財) 日本きのこセンター

近藤一成, 坂田こずえ, 小櫃冴未, 中村公亮, 野口秋雄, 手島玲子: フロクマリン類の*in vitro*光毒性について.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

近藤一成, 小櫃冴未, 手島玲子: エレオステアリン酸刺激によるRIP1の役割.

第35回日本分子生物学会年会 (2012.12)

Kondo K, Obitsu S, Teshima R: New role of RIP1 in e-leostearic acid-mediated cell death.

The 19th Society for Free Radical Biology and Medicine (2012.12)

近藤一成, 小櫃冴未, 小林友子, 中村公亮, 坂田こずえ, 手島玲子: PCR-RFLPを用いたクサウラベニタケの迅速同定法.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

高島令王奈^{*1}, 則武寛通^{*2}, 野口秋雄, 中村公亮, 近藤一成, 穂山浩, 手島玲子, 真野潤一^{*1}, 橘田和美^{*1}: 加水品を含む複数のスイートコーン試料からのDNA抽出法の検討.

日本食品化学学会第18回総会・学術大会 (2012.6)

^{*1} (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

^{*2} (独) 農林水産消費安全技術センター

西辻泰之^{*1}, 菊池洋介^{*1}, 真野潤一^{*2}, 福留真一^{*1}, 遠藤繁^{*1}, 林田拓也^{*1}, 川上裕之^{*1}, 栗本洋一^{*1}, 野口秋雄, 中村公亮, 近藤一成, 穂山浩, 手島玲子, 高島令王奈^{*2}, 橘田和美^{*2}: プロリンリッチプロテイン遺伝子を標的としたコムギ内在性遺伝子検出系の開発とリアルタイムPCRアレイ法への適用.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

^{*1} (株) 日清製粉グループ

^{*2} (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

真野潤一^{*1}, 高島かおり^{*1}, 峯岸恭孝^{*2}, 二宮健二^{*3}, 布藤聡^{*4}, 野口秋雄, 中村公亮, 近藤一成, 穂山浩, 手島玲子, 高島令王奈^{*1}, 橘田和美^{*1}: 遺伝子組換えトウモロコシグループテストングのためのグループ作成法及び系統判別試験法の確立.

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

^{*1} (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

^{*2} (株) ニッポンジーン

^{*3} (株) 島津製作所

^{*4} (株) ファスマック

野口秋雄, 穂山浩, 中村公亮, 坂田こずえ, 真野潤一^{*1}, 高島令王奈^{*1}, 峯岸恭孝^{*2}, 布藤聡^{*3}, 橘田和美^{*1}, 近藤一成, 手島玲子: スタック品種混入粉末試料における遺伝子組換えトウモロコシの定量法開発 (第二報)

第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

^{*1} (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

^{*2} (株) ニッポンジーン

^{*3} (株) ファスマック

野口秋雄, 中村公亮, 坂田こずえ, 小林友子, 大森清美^{*1}, 笠原正輝^{*2}, 高島令王奈^{*3}, 橘田和美^{*3}, 穂山浩, 近藤一成, 手島玲子: 遺伝子組換えパパイヤ55-1系統特異的検知法の妥当性評価.

第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

^{*1} 神奈川県衛生研究所

^{*2} (独) 農林水産消費安全技術センター

^{*3} (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

真野潤一^{*1}, 布藤聡^{*2}, 峯岸恭孝^{*3}, 二宮健二^{*4}, 野口秋雄, 近藤一成, 穂山浩, 手島玲子, 高島令王奈^{*1}, 橘田和美^{*1}: 遺伝子組換えトウモロコシの混入率を正確に評価するグループテスト法法の開発.
表示・起源分析技術研究懇談会 (2012.11)

^{*1} (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所
^{*2} (株) ファスマック
^{*3} (株) ニッポンジーン
^{*4} (株) 島津製作所

中村公亮, 穂山浩, 河野徳昭^{*1}, 吉松嘉代^{*1}, 野口秋雄, 近藤一成, 真野潤一^{*2}, 橘田和美^{*2}, 手島玲子: 日欧で検出された安全性未審査遺伝子組換えコメ (Kefeng 系統) 混入に関する検知技術の開発について (第2報).
日本食品化学学会第18回総会・学術大会 (2012.6)

^{*1} (独) 医薬基盤研究所
^{*2} (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

中村公亮, 南竹優美^{*1}, 近藤一成, 野口秋雄, 小櫃冴未, 真野潤一^{*2}, 高島令王奈^{*2}, 橘田和美^{*2}, 穂山浩, 川上浩^{*1}, 手島玲子: 遺伝子組換え表示対象のジャガイモ加工食品から抽出されるジャガイモDNAの断片長について.
第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

^{*1} 共立女子大学
^{*2} (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

Nakamura K, Akiyama H, Kobayashi T, Noguchi A, Ohmori K^{*1}, Kasahara M^{*2}, Kitta K^{*3}, Kondo K, Teshima R: Applicability of qualitative and quantitative real-time polymerase chain reaction method for detecting genetically modified papaya line 55-1 to papaya products.
126th AOAC Annual Meeting & Exposition (2012.10)

^{*1} 神奈川県衛生研究所
^{*2} (独) 農林水産消費安全技術センター
^{*3} (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

中村公亮, 穂山浩, 野口秋雄, 小林友子, 坂田こずえ,

近藤一成, 大森清美^{*1}, 笠原正輝^{*2}, 高島令王奈^{*3}, 橘田和美^{*3}, 手島玲子: パパイア加工品の遺伝子組換えパパイア含有に関する総合的評価法.
第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

^{*1} 神奈川県衛生研究所
^{*2} (独) 農林水産消費安全技術センター
^{*3} (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

Morimoto K*, Katayama S*, Fukumoto T*, Nakamura K, Nakamura S*: Amyloidogenicities of artificially synthesized human stefins A and B.
2012 ISNFF-Functional Foods, Nutraceuticals, Natural Health Products and Dietary Supplements (2012.12)

* 信州大学

Nakamura K, Akiyama H, Kawano N^{*1}, Kobayashi T, Yoshimatsu K^{*1}, Mano J^{*2}, Kitta K^{*2}, Noguchi A, Kondo K, Teshima R: Evaluation of real-time PCR detection methods for detecting genetically modified Bt rice lines harboring CpTI-KDEL-T-nos transgenic construct in rice product.
2012 ISNFF-Functional Foods, Nutraceuticals, Natural Health Products and Dietary Supplements (2012.12)

^{*1} (独) 医薬基盤研究所
^{*2} (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

Nakamura K, Matsuoka H, Nakashima S*, Kanda T*, Kondo K, Teshima R, Akiyama H: Apple procyanidins inhibit development of collagen-induced arthritis via down-regulation of Th17 response.
2012 ISNFF-Functional Foods, Nutraceuticals, Natural Health Products and Dietary Supplements (2012.12)

* アサヒグループホールディングス(株)

中村公亮, 穂山浩, 松岡英樹, 中島翔平*, 神田智正*, 近藤一成, 手島玲子: リンゴプロシアニジン (ACT) の経口摂取によるコラーゲン誘導性関節炎の発症遅延効果.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

* アサヒグループホールディングス(株)

小櫃冴未, 近藤一成, 中村公亮, 小林友子, 野口秋雄, 坂田こずえ, 手島玲子: クサウラベニタケおよび近縁種のPCR-RFLP法を用いた迅速同定法の検討.
第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

坂田こずえ, 近藤一成, 小櫃冴未, 中村公亮, 野口秋雄, 手島玲子: フロクマリン類の*in vitro*光毒性について.
第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

小林友子, 中村公亮, 近藤一成, 野口秋雄, 小櫃冴未, 峰岸恭孝^{*1}, 真野潤一^{*2}, 高畠令王奈^{*2}, 橘田和美^{*2}, 手島玲子: 遺伝子組換えコメ検知法に用いる内在性遺伝子の比較検討.
第104回日本食品衛生学会学術講演会 (2012.9)

^{*1} (株)ニッポンジーン

^{*2} (独)農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

安達玲子, 中村里香, 酒井信夫, 福富友馬^{*}, 手島玲子: 加水分解小麦による経皮感作に関するマウスモデル実験系を用いた検討.
第24回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2012.5)

^{*} 国立相模原病院

安達玲子, 中村里香, 酒井信夫, 福富友馬^{*}, 手島玲子: 加水分解タンパク質の経皮感作能~マウスモデル実験系を用いた検討~.
第24回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2012.5)

^{*} 国立相模原病院

安達玲子: アレルギー物質を含む食品の表示制度と検査法の現状.
ifa/HFE JAPAN 2012 (2012.5)

Adachi R, Sakai S, Akiyama H, Teshima R: Food Allergen Labeling Regulation: A Japanese Perspective. International Association of Food Protection 2012 Annual Meeting (2012.7)

Adachi R, Sakai S, Akiyama H, Teshima R: The Official Detection Methods for Monitoring of Food Allergy Labeling System in Japan.
126th AOAC Annual Meeting & Exposition (2012.10)

安達玲子, 中村里香, 酒井信夫, 福富友馬^{*}, 手島玲子: 各種加水分解小麦の経皮感作能に関するマウスモデル実験系を用いた比較検討.
第62回日本アレルギー学会秋季学術大会 (2012.11)

^{*} 国立相模原病院

北野高道^{*1}, 山下弘高^{*1,2}, 安達玲子, 手島玲子, 福富友馬^{*3}, 松永佳世子^{*4}, 稲垣直樹^{*1,2}, 田中宏幸^{*1,2}: 加水分解小麦末による全身感作マウスに及ぼす抗原経口負荷の影響.
第62回日本アレルギー学会秋季学術大会 (2012.11)

^{*1} 岐阜薬科大学

^{*2} 岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科

^{*3} 国立相模原病院

^{*4} 藤田保健衛生大学

Adachi R, Nakamura R, Sakai S, Fukutomi Y^{*}, Teshima R: Sensitization to acid-hydrolyzed wheat protein by transdermal administration to BALB/c mice.
52nd SOT Annual Meeting and ToxExpo (2013.3)

^{*} Sagamihara National Hospital

酒井信夫, 安達玲子, 宮崎玉樹, 阿曾幸男, 奥田晴宏, 手島玲子: 医薬品添加物に含まれる食物アレルギータンパク質に関する研究.
第49回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11)

中村厚, 酒井信夫, 安達玲子, 手島玲子: ゴマ (*Sesamum indicum* L.) アレルゲンである11Sグロブリンの抗原解析.
日本食品化学学会第18回総会・学術大会 (2012.6)

太田有子, 青木良子, 森川馨^{*}, 天沼喜美子, 春日文子: 北欧の医療関連データベースを用いた医薬品の市販後安全性研究.
第2回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2012.9)

^{*} 帝京大学薬学部

天沼喜美子, 太田有子, 丸野有利子, 前田初代, 大塚文, 青木良子, 森川馨^{*}, 春日文子: 米国FDAにおいて大規模副作用データベース (AERS) から検出されたシグナルとその後の安全対策.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 帝京大学薬学部

青木良子, 丸野有利子, 太田有子, 前田初代, 天沼喜美子, 春日文字: Clopidogrelの臨床的有効性に影響を与える因子.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

太田有子, 前田初代, 丸野有利子, 青木良子, 天沼喜美子, 春日文字: 海外の医薬品安全性情報 (2012年の「医薬品安全性情報」から).

日本薬学会第133年会 (2013.3)

窪田邦宏, 天沼宏, 柳沢英二^{*1}, 霜島正浩^{*2}, 渋谷俊介^{*3}, 春日文字: 臨床検査機関における全国の菌検出データからの食中毒被害実態の推定.

第33回日本食品微生物学会学術総会 (2012.10)

^{*1} (株)ミロクメディカルラボラトリー

^{*2} (株)ビー・エム・エル

^{*3} 三菱化学メディエンス(株)

窪田邦宏, 天沼宏, 春日文字: 「食品安全情報」- 海外における食品微生物関連安全情報の動向 (2012年).

日本薬学会第133年会 (2013.3)

天沼宏, 窪田邦宏, 春日文字: 欧米諸国における腸管出血性大腸菌O157アウトブレイクの最近の状況 (2006~2012年).

日本薬学会第133年会 (2013.3)

畷山智香子: 食品中化学物質のリスクの考え方.

日本子ども学会第二回放射線と子ども研究会 (2012.6)

畷山智香子: 食品中の遺伝毒性発がん物質のリスク評価.

第48回日本食品照射研究協議会教育講演会 (2012.6)

登田美桜, 畷山智香子, 春日文字: 過去50年間のわが国の高等植物による食中毒事例の傾向について.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

森田健: 化学物質のリスク評価の観点から見た放射線のリスク.

2012年度日本環境変異原学会公開シンポジウム (2012.5)

森田健, 常見知広^{*1}, 林真^{*2}: 化審法変異原性リスク評

価のための*in vivo*小核試験データの要求優先度.
第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*1} 経済産業省製造産業局

^{*2} (公財)食品農医薬品安全性評価センター

Morita T, Tsunemi T^{*1}, Hayashi M^{*2}: Prioritization of Request of *in vivo* Micronucleus Assay Data for Risk Evaluation under the Kasin-law.

The 6th International Congress of Asian Society of Toxicology (2012.7)

^{*1} Ministry of Economy, Trade and Industry

^{*2} BioSafety Research Center

Morita T, Uno Y^{*1}, Honma M, Kojima H, Hayashi M^{*2}, Tice R^{*3}, Corvi R^{*4}, Schectman L^{*5}: The JaCVAM Validation Study of the *in vivo* Comet Assay: Selection of Test Chemicals.

43rd Annual Meeting of Environmental Mutagen Society (2012. 9)

^{*1} Ministry of Economy, Trade and Industry Mitsubishi Tanabe Pharma

^{*2} BioSafety Research Center

^{*3} National Institute of Environmental Health Sciences

^{*4} European Union Reference Laboratory for Alternative Methods to Animal testing

^{*5} Innovative Toxicology Consulting

Hamada S^{*1}, Takashima R^{*1}, Shimada K^{*2}, Matsumoto K^{*3}, Kawakami S^{*4}, Tanaka J^{*5}, Matsumoto H^{*6}, Nakai T^{*7}, Imamura T^{*8}, Matsumura S^{*9}, Sanada H^{*10}, Inoue K^{*11}, Muto S^{*12}, Hagio S^{*13}, Hayashi A^{*14}, Takayanagi T^{*15}, Ogiwara Y^{*16}, Maeda A^{*17}, Narumi K^{*18}, Takasawa H^{*1}, Ogawa I^{*13}, Ohyama W^{*18}, Wako Y^{*1}, Kawasaki K^{*1}, Morita T, Kojima H, Hayashi M^{*5}, Honma M.: Evaluation of Repeated Dose Liver Micronucleus Assay in Rats (II): Summary of Collaborative Study by CSGMT/JEMS.MMS.

43rd Annual Meeting of Environmental Mutagen Society (2012. 9)

^{*1} Mitsubishi Chemical Medience Corporation

^{*2} Astellas Pharma

^{*3} Astellas Research Technologies

^{*4} Asahi Kasei Pharma

- *⁵ BioSafety Research Center
 *⁶ Food and Drug Safety Center
 *⁷ Hokko Chemical Industry
 *⁸ Ina Research
 *⁹ Kao Corporation
 *¹⁰ Kaken Pharmaceutical
 *¹¹ Maruho
 *¹² Mitsubishi Tanabe Pharma
 *¹³ Nissan Chemical Industries
 *¹⁴ Shin Nippon Biomedical Laboratories
 *¹⁵ Suntory Business Expert
 *¹⁶ Taisho Pharmaceutical
 *¹⁷ Toray Industries
 *¹⁸ Yakult Honsha

Ohyama W^{*1}, Narumi K^{*1}, Okada E^{*1}, Fujiishi Y^{*1}, Takayanagi T^{*2}, Hori H^{*2}, Matsumura S^{*3}, Ikeda N^{*3}, Natsume M^{*4}, Tanaka J^{*4}, Takashima R^{*5}, Hamada S^{*5}, Asano N^{*6}, Morita T, Kojima H, Honma M, Hayashi M^{*4}: Evaluation of Repeated Dose Gastrointestinal tract Micronucleus Assay in Rats: Summary of Collaborative Study by CSGMT/JEMS.MMS. 43rd Annual Meeting of Environmental Mutagen Society (2012. 9)

- *¹ Yakult Honsha
 *² Suntory Business Expert
 *³ Kao Corporation
 *⁴ Biosafety Research Center
 *⁵ Mitsubishi Chemical Medience Corporation
 *⁶ Kinki University

Morita T: Information gathering and expert judgment in GHS classification of chemicals. 1st Malaysian Congress of Toxicology (2012.10)

Morita T: Recent collaborative studies by JEMS.MMS – A repeated-dose micronucleus assay. 3rd Asian Conference on Environmental Mutagens (2012.10)

Hamada S^{*1}, Takashima R^{*1}, Shimada K^{*2}, Matsumoto K^{*3}, Kawakami S^{*4}, Tanaka J^{*5}, Matsumoto H^{*6}, Nakai T^{*7}, Imamura T^{*8}, Matsumura S^{*9}, Sanada H^{*10}, Inoue K^{*11}, Muto S^{*12}, Hagio S^{*13}, Hayashi A^{*14}, Takayanagi T^{*15}, Ogiwara Y^{*16}, Maeda A^{*17}, Narumi K^{*18}, Takasawa H^{*1}, Ogawa I^{*13}, Ohyama W^{*18}, Wako Y^{*1}, Kawa-

sako K^{*1}, Sano M^{*5}, Nobuyuki O^{*5}, Morita T, Kojima H, Hayashi M^{*5}, Honma M: Development of repeated dose lover micronucleus assay using adult rats, Summary of collaborated study by CSGMT/JEMS.MMS. 3rd Asian Conference on Environmental Mutagens (2012.10)

- *¹ Mitsubishi Chemical Medience Corporation
 *² Astellas Pharma
 *³ Astellas Research Technologies
 *⁴ Asahi Kasei Pharma
 *⁵ BioSafety Research Center
 *⁶ Food and Drug Safety Center
 *⁷ Hokko Chemical Industry
 *⁸ Ina Research
 *⁹ Kao Corporation
 *¹⁰ Kaken Pharmaceutical
 *¹¹ Maruho
 *¹² Mitsubishi Tanabe Pharma
 *¹³ Nissan Chemical Industries
 *¹⁴ Shin Nippon Biomedical Laboratories
 *¹⁵ Suntory Business Expert
 *¹⁶ Taisho Pharmaceutical
 *¹⁷ Toray Industries
 *¹⁸ Yakult Honsha

森田健, 常見知広^{*1}, 林真^{*2}: 化審法評価におけるin vitro染色体異常試験の最小有効濃度 (LEC) の有用性. 日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

- *¹ 経済産業省製造産業局
 *² (公財)食品農医薬品安全性評価センター

森田健: 化審法における変異原性試験が果たす役割. 日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

Morita T: Analysis of Japanese CSCL (Chemical Substances Control Law) Database and ISHL (Industrial Safety and Health Law) databases.

European Union Reference Laboratory for Alternatives to Animal Testing (ECVAM) Workshop, How can in vitro mammalian cell genotoxicity tests reduce the need for in vivo follow-up testing with compounds positive in the Ames test? (2013.1)

Hamada S^{*1}, Takashima R^{*1}, Shimada K^{*2}, Matsumoto K^{*3}, Kawakami S^{*4}, Tanaka J^{*5}, Matsumoto H^{*6}, Nakai

T^{*7}, Imamura T^{*8}, Matsumura S^{*9}, Sanada H^{*10}, Tera-
shima Y^{*11}, Inoue K^{*12}, Muto S^{*13}, Hagio S^{*14}, Hayashi
A^{*15}, Takayanagi T^{*16}, Ogiwara Y^{*17}, Maeda A^{*18},
Narumi K^{*19}, Takasawa H^{*1}, Ogawa I^{*14}, Ohyama W^{*19},
Wako Y^{*1}, Kawasaki K^{*1}, Morita T, Kojima H, Hayashi
M^{*5}, Honma M: Evaluation of Repeated Dose Liver Mi-
cronucleus Assay in Rats: Summary of Collaborative
Study by CSGMT/JEMS.MMS.
52nd Society of Toxicology (2013.3)

*¹ Mitsubishi Chemical Medience Corporation

*² Astellas Pharma

*³ Astellas Research Technologies

*⁴ Asahi Kasei Pharma

*⁵ BioSafety Research Center

*⁶ Food and Drug Safety Center

*⁷ Hokko Chemical Industry

*⁸ Ina Research

*⁹ Kao Corporation

*¹⁰ Kaken Pharmaceutical

*¹¹ Kissei Pharmaceutical

*¹² Maruho

*¹³ Mitsubishi Tanabe Pharma

*¹⁴ Nissan Chemical Industries

*¹⁵ Shin Nippon Biomedical Laboratories

*¹⁶ Suntory Business Expert

*¹⁷ Taisho Pharmaceutical

*¹⁸ Toray Industries

*¹⁹ Yakult Honsha

松倉節子^{*1}, 斎藤嘉朗, 杉山永見子, 頭金正博^{*2}, 黒瀬
光一, 長谷川隆一, 松永佳世子^{*2}, 高橋幸利^{*2}, 古谷博
和^{*2}, 村松正明^{*2}, 外園千恵^{*2}, 上田真由美^{*2}, 木下
茂^{*2}, 久保充明^{*3}, 筵田泰誠^{*3}, 池澤善郎^{*1}, 鎌谷直
之^{*3}, 相原道子^{*1}, 鹿庭なほ子: 日本人におけるステ
ィーブンス・ジョンソン症候群及び中毒性表皮壊死症と相
関するHLAタイプの探索.

第111回日本皮膚科学会総会 (2012.6)

*¹ 横浜市立大学

*² SJS/TEN遺伝子多型研究班

*³ (独)理化学研究所

斎藤嘉朗: 副作用予防における遺伝子情報活用の現状と
展望 (SJS, TEN).

医療薬学フォーラム2012 (2012.7)

前川京子, 西川潤, 鹿庭なほ子, 杉山永見子, 小泉朋
子, 黒瀬光一, 頭金正博^{*}, 斎藤嘉朗: 日本人における
アロプリノール誘因性重症薬疹発症の危険因子HLA-B^{*}
58:01のサロゲートマーカー多型を対象としたタイピン
グ系の構築.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

* 名古屋市立大学薬学部

斎藤嘉朗, 鹿庭なほ子, 杉山永見子, 黒瀬光一, 前川京
子: 臨床上に重要な副作用のゲノム解析に関する取り組
みの現況と今後のメタボロミクス解析の必要性等につい
て.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

黒瀬光一, 宇梶真帆, 斎藤嘉朗, 打田光宏^{*}, 土屋敏
行^{*}: h-CLATを用いた医薬品のアレルゲン性評価.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

* Meiji Seikaファルマ(株)

頭金正博^{*1}, 鹿庭なほ子, 斎藤嘉朗, 杉山永見子, 黒瀬
光一, 西川潤, 長谷川隆一^{*2}, 相原道子^{*3}, 松永佳世
子^{*4}, 安部正通^{*4}, 古谷博和^{*5}, 高橋幸利^{*6}, 池田浩
子^{*6}, 村松正明^{*7}, 上田真由美^{*8}, 外園千恵^{*8}, 木下
茂^{*8}, 池澤善郎^{*3}, 日本PGxデータサイエンスコンソー
シアム (JPDSC): アロプリノールを服用した患者での
スティーブンス・ジョンソン症候群/中毒性表皮壊死症
の発症と関連するバイオマーカーの網羅的探索研究.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

*¹ 名古屋市立大学

*² (独)製品評価技術基盤機構

*³ 横浜市立大学

*⁴ 藤田保健衛生大学

*⁵ 大牟田病院

*⁶ 国立静岡てんかん・神経医療センター

*⁷ 東京医科歯科大学

*⁸ 京都府立医科大学

Tajima Y, Maekawa K, Ishikawa M, Murayama M,
Nishimaki-Mogami T, Nakanishi H^{*1}, Ikeda K^{*2}, Arita
M^{*3}, Taguchi R^{*4}, Jiansheng G^{*5}, Okuno A^{*5}, Niida S^{*5},
Takikawa O^{*5}, Saito Y: Lipidomic analysis of brain and
plasma from a mouse model for Alzheimer's disease.

54th International Conference on the Biosciences of
Lipids (2012.9)

*¹ Akita University

*² Keio University

*³ The University of Tokyo

*⁴ Chubu University

*⁵ National Center for Geriatrics and Gerontology

Maekawa K, Tajima Y, Ueno N, Ishikawa M, Murayama M, Nishimaki-Mogami T, Nakanishi H^{*1}, Ikeda K^{*2}, Arita M^{*3}, Taguchi R^{*4}, Iwata Y^{*5}, Minamino N^{*5}, Wakabayashi S^{*5}, Saito Y: Lipidomic analysis of heart tissues from a hamster model for dilated cardiomyopathy.

54th International Conference on the Biosciences of Lipids (2012.9)

*¹ Akita University

*² Keio University

*³ The University of Tokyo

*⁴ Chubu University

*⁵ National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute

打田光宏^{*}, 土屋敏行^{*}, 宇梶真帆, 斎藤嘉朗, 黒瀬光一: Human Cell Line Activation Test (h-CLAT) を用いた医薬品のアレルゲン性評価.

第19回日本免疫毒化学学会学術大会 (2012.9)

* Meiji Seikaファルマ(株)

花谷忠昭, 佐井君江, 堀雄史^{*}, 川上純一^{*}, 木村通男^{*}, 斎藤嘉朗: 医療情報データベースを用いた医療現場における行政施策の反映の確認.

第2回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2012.9)

* 浜松医科大学医学部附属病院

Sai K, Saito Y: Ethnic differences in the metabolism and responses (toxicology and efficacy) of anti-cancer drugs based on genetic variations.

2012 AAPS Annual Meeting and Exposition (2012.10)

前川京子, 田島陽子, 石川将己, 村山真由子, 妹尾勇弥, 最上(西巻)知子, 中西広樹^{*1}, 池田和貴^{*2}, 有田誠^{*3}, 田口良^{*4}, 檜垣小百合^{*5}, 奥野海良人^{*5}, 新飯田俊平^{*5}, 斎藤嘉朗, 滝川修^{*5}: アルツハイマー病モデルマウスの脳及び血漿における脂肪酸代謝物のメタボロ-

ム解析.

第7回メタボロームシンポジウム (2012.10)

*¹ 秋田大学

*² 慶応義塾大学

*³ 東京大学

*⁴ 中部大学

*⁵ 国立長寿医療研究センター

黒瀬光一, 鹿庭なほ子, 斎藤嘉朗: 重症薬疹に関するファークゲノミクス解析.

日本人類遺伝学会第57回大会 (2012.10)

斎藤嘉朗, 佐井君江, 石井明子: バイオ医薬品と化学合成医薬品の相互作用.

日本薬物動態学会第27回年会 (2012.11)

斎藤嘉朗, 前川京子, 佐井君江, 鹿庭なほ子, 黒瀬光一: ヒト試料を用いたバイオマーカー研究の現状と問題点.

第33回日本臨床薬理学会学術総会 (2012.11)

黒瀬光一, 鹿庭なほ子, 斎藤嘉朗: GWASを用いた副作用リスク因子マーカーの網羅的解析.

第33回日本臨床薬理学会学術総会 (2012.11)

花谷忠昭, 佐井君江, 頭金正博^{*1}, 瀬川勝智, 木村通男^{*2}, 堀雄史^{*2}, 川上純一^{*2}, 斎藤嘉朗: 医療情報データベースを用いたヘパリン起因性血小板減少 (HIT) 検出アルゴリズムの構築.

第18回日本薬剤疫学会学術総会 (2012.11)

*¹ 名古屋市立大学大学院薬学研究科

*² 浜松医科大学医学部附属病院

鶴谷康太^{*1}, 加川建弘^{*1}, 広瀬俊治^{*1}, 荒瀬吉孝^{*1}, 白石光一^{*1}, 峯徹哉^{*1}, 猪子英俊^{*1}, 前川京子, 斎藤嘉朗, 滝川一^{*2}: 肝内胆汁うっ滞症における ABCB11 V444A polymorphism と HLA genotype の解析.

第34回胆汁酸研究会 (2012.12)

*¹ 東海大学

*² 帝京大学

前川京子, 田島陽子, 上野紀子, 石川将己, 村山真由子, 最上知子, 中西広樹^{*1}, 池田和貴^{*2}, 有田誠^{*3}, 田口良^{*4}, 岩田裕子^{*5}, 南野直人^{*5}, 若林繁夫^{*5}, 斎藤嘉

朗：拡張型心筋症モデルハムスターの心筋における脂質代謝物のメタボローム解析.
第35回日本分子生物学会 (2012.12)

- *¹ 秋田大学
- *² 慶応義塾大学
- *³ 東京大学
- *⁴ 中部大学
- *⁵ 国立循環器病センター

田島陽子, 前川京子, 石川将己, 村山真由子, 妹尾勇弥, 最上(西巻)知子, 中西広樹^{*1}, 池田和貴^{*2}, 有田誠^{*3}, 田口良^{*4}, 檜垣小百合^{*5}, 奥野海良人^{*5}, 新飯田俊平^{*5}, 滝川修^{*5}, 斎藤嘉朗: アルツハイマー病モデルマウスの脳組織および血漿における脂質メタボローム解析.
第85回日本生化学会 (2012.12)

- *¹ 秋田大学
- *² 慶応義塾大学
- *³ 東京大学
- *⁴ 中部大学
- *⁵ 国立長寿医療研究センター

石川将己, 田島陽子, 村山真由子, 妹尾勇弥, 前川京子, 斎藤嘉朗: 非食事制限下におけるヒト血液中の脂質代謝物レベルに対する試料採取要件の検討.
第85回日本生化学会 (2012.12)

前川京子, 上番増喬^{*1}, 石川将己, 田島陽子, 妹尾勇弥, 村山真由子, 最上(西巻)知子, 中西広樹^{*2}, 池田和貴^{*3}, 田口良^{*4}, 藤井庄人^{*5}, 柴崎友一朗^{*5}, 米山博之^{*5}, 南茂陸生^{*1}, 安田和基^{*1}, 斎藤嘉朗: 非アルコール性脂肪性肝炎モデルマウス(STAM^(R)マウス)の肝臓における脂質メタボローム解析.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

- *¹ 国立国際医療研究センター
- *² 秋田大学
- *³ 慶応義塾大学
- *⁴ 中部大学
- *⁵ (株)ステリック再生医科学研究所

石川将己, 前川京子, 妹尾勇弥, 田島陽子, 浦田政世, 村山真由子, 脇坂真美^{*}, 熊谷雄治^{*}, 斎藤嘉朗: ヒト血液中脂質代謝物レベルの血漿・血清差, 男女差, 年齢差に関する網羅的検討.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 北里大学

佐井君江, 花谷忠昭, 東雄一郎, 瀬川勝智, 頭金正博, 大松秀明^{*}, 榎本博雄^{*}, 平井みどり^{*}, 斎藤嘉朗: 病院情報システムを用いたスタチン製剤による筋障害・横紋筋融解症の検出.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 神戸大学病院薬剤部

齋藤充生^{*1}, 頭金正博^{*2}, 佐井君江, 林讓^{*1}, 久保田洋子^{*1}, 飯嶋久志^{*3}, 矢島毅彦^{*4}, 大室弘美^{*5}, 吉田ルシア幸子^{*5}: 薬局薬剤師に対する医療機器データベースに関するアンケート調査について.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

- *¹ 帝京平成大学薬学部
- *² 名古屋市立大学大学院薬学研究科
- *³ 千葉県薬剤師会
- *⁴ ヘルス・ヴィジランス研究会
- *⁵ 武蔵野大学薬学部

杉山永見子, 鹿庭なほ子, 高橋幸利^{*}, 古谷博和^{*}, 村松正明^{*}, 木下茂^{*}, 蓮田泰誠^{*}, 黒瀬光一, 頭金正博^{*}, 前川京子^{*}, 矢上晶子^{*}, 安部正通^{*}, 外園千恵^{*}, 上田真由美^{*}, 池田浩子^{*}, 池澤善郎^{*}, 日本ファーマコジェノミクス・データ・サイエンス・コンソーシアム, 松永佳世子^{*}, 相原道子^{*}, 斎藤嘉朗: 日本人における抗てんかん薬誘因性SJS/TENとHLAタイプとの相関解析.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

* SJS/TEN遺伝子多型研究班

畠山和久^{*1}, 埴岡伸光^{*1}, 黒瀬光一, 松永民秀^{*2}, 成松銀雄^{*1}: ヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞様細胞におけるUDP-グルクロン酸転移酵素の発現解析.
日本薬学会第133年会 (2013.3)

- *¹ 岡山大学薬学部
- *² 名古屋市立大学薬学部

斎藤嘉朗, 佐井君江, 鹿庭なほ子, 田島陽子, 石川将己, 最上(西巻)知子, 前川京子: バイオマーカー探索研究とその臨床応用に向けての課題.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

Hirabayashi Y, Yoon BI*, Igarashi K, Kanno J, Inoue T: Differences in regulation of gene expression profiles of the bone marrow between C57BL/6 and C3H/He mice after benzene treatment.

Society of Toxicology 52nd Annual Meeting & ToxExpo (2013.3)

* Kangwon National University

Hirabayashi Y, Yoon BI*, Igarashi K, Kanno J, Inoue T: Differences in regulation of benzene-induced gene expression between C57BL/6 and C3H/He.

第35回日本分子生物学会年会 (2012.12)

* Kangwon National University

平林容子, 尹秉一^{*1}, 壺井功^{*2}, 菅野純, Trosko JE^{*3}, 井上達: 造血幹・前駆細胞の細胞動態に対するコネキシン32の役割.

第74回日本血液学会総会 (2012.10)

^{*1} Kangwon National University

^{*2} 日本大学医学部

^{*3} Michigan State University

原田智紀*, 保刈岳雄*, 壺井功*, 平林容子, 菅野純, 井上達, 相澤信*: Regulation of mast cell development by hematopoietic microenvironment in mice.

第74回日本血液学会総会 (2012.10)

* 日本大学医学部

平林容子, 尹秉一*, 五十嵐勝秀, 菅野純: ベンゼン誘発白血病頻度の異なるC57BL/6とC3H/Heのベンゼン暴露後の骨髓細胞による発煙遺伝子の系統差.

第71回日本癌学会学術総会 (2012.9)

* Kangwon National University

Hirabayashi Y, Yoon BI^{*1}, Tsuboi I^{*2}, Kanno J, Trosko JE^{*3}, Inoue T: Role of Connexin 32: maintenance of cell quiescence and support of proliferation of hematopoietic stem/progenitor cells.

The 41st Annual meeting for the International Society for Hematology and Stem Cells (ISEH) (2012.8)

^{*1} Kangwon National University

^{*2} 日本大学医学部

^{*3} Michigan State University

平林容子, 尹秉一*, 五十嵐勝秀, 菅野純, 井上達: ベンゼン曝露後のマウス骨髓細胞の発現遺伝子の系統差: C57BL/6とC3H/Heの比較.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

* Kangwon National University

Hirabayashi Y, Yoon BI^{*1}, Tsuboi I^{*2}, Kanno J, Trosko JE^{*3}, Inoue T: Dual Function of Cx32 in Hematopoiesis: Maintenance of cell quiescence and support of proliferation of hematopoietic stem/progenitor cells.

The 10th Annual meeting for the International Society for Stem Cell Research (ISSCR) (2012.6)

^{*1} Kangwon National University

^{*2} 日本大学医学部

^{*3} Michigan State University

平林容子, 李光勲, 五十嵐勝秀, 小川幸男, 菅野純, 淀井淳司*, 井上達: 放射線やベンゼン曝露後のマウス骨髓に見られる酸化的障害性遺伝子発現マーカープロファイリングの比較探索.

第101回日本病理学会総会 (2012.4)

* 京都大学

Okubo Y, Igarashi K, Saga Y*, Kanno J: Analysis of the Delta signaling as the reverse signaling of Notch in mouse development.

第7回Notch研究会 (2013.2)

* National Institute of Genetics

Okubo Y, Sugawara T*, Kanno J, Kimura A*, Saga Y*: Lfng regulates the synchronized oscillation of the mouse segmentation clock via the trans-repression of Notch signaling.

第7回Notch研究会 (2013.2)

* National Institute of Genetics

Okubo Y, Sugawara T*, Kanno J, Kimura A*, Saga Y*:

Lfng regulates the synchronized oscillation of the mouse segmentation clock via the trans-repression of Notch signaling.

CDB Symposium (2013.3)

* National Institute of Genetics

五十嵐勝秀：エピジェネティック毒性。
第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

種村健太郎*, 古川佑介, 大塚まき, 五十嵐勝秀, 相崎健一, 北嶋聡, 佐藤英明*, 菅野純：発生-発達期の神経シグナルかく乱による遅発中枢影響解析-幼若期マウスへのイボテン酸投与による成熟期の脳高次機能障害について-

第39回日本毒性学会学術年会シンポジウム (2012.7)

* 東北大学

五十嵐勝秀：イントロダクション：『エピジェネティクスから捉えた毒作用発現』-基礎研究の著しい進展と作用メカニズム研究への期待-

第39回日本毒性学会学術年会シンポジウム (2012.7)

北嶋聡, 相崎健一, 五十嵐勝秀, 菅野純：食品の安全性確認に向けたPercellomeトキシコゲノミクスの適用-香料エストラゴールの場合-

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

富永貴志^{*1}, 富永洋子^{*1}, 五十嵐勝秀, 種村健太郎^{*2}, 菅野純, 中島欽一^{*3}：妊娠期投与による胎生期バルプロ酸暴露マウスは学習記憶異常と海馬抑制系の減弱を示す。

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

*¹ 徳島文理大学

*² 東北大学

*³ 奈良先端科学技術大学院大学

赤土正一*, 田中友規*, 波平昌一*, 野口浩史*, 五十嵐勝秀, 辻村啓太*, 中島欽一*：ニューロンの発達及び興奮毒性神経細胞死制御におけるDNMT1の機能解析。

包括型脳科学研究推進支援ネットワーク夏のワークショップ (2012.7)

* 奈良先端科学技術大学院大学

Kitajima S, Aisaki K, Igarashi K, Kanno J: Application of Percellome Toxicogenomics approach to food safety in case of a flavor, estragole.

The 6th International Congress of Asian Society of Toxicology (ASIA TOX-VI) (2012.7)

五十嵐勝秀：エピゲノム変化が関与する毒作用発現。
環境エピゲノミクス研究会第7回定例会招待講演 (2012.5)

北嶋聡, 高橋祐次, 五十嵐勝秀, 相崎健一, 菅野純：Percellome網羅的定量的トキシコゲノミクス。

平成24年度公益社団法人日本実験動物学会維持会員懇談会 (2012.11)

高橋祐次, 小川幸男, 高木篤也, 相磯成敏^{*1}, 今井田克己^{*2}, 菅野純：音響式ダスト発生装置を用いた多層カーボンナノチューブの全身暴露吸入と肺内負荷量の測定。
第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

*¹ 日本バイオアッセイ研究センター

*² 香川大学

Taquahashi Y, Ogawa Y, Takagi A, Aiso S^{*1}, Imaida K^{*2}, Kanno J: Whole Body Inhalation Exposure of Multi-Walled Carbon Nanotube by Using an Acoustical Dust Generator and Measurements of Its Body Burden in Lung.

The 6th International Congress of Asian Society of Toxicology (2012.7)

*¹ Japan Bioassay Research Center

*² Kagawa University

高橋祐次, 高木篤也, 菅野純：高度に分散性を高めた多層カーボンナノチューブのp53ヘテロ欠損マウス腹腔内投与による中皮腫発がん。

第27回発癌病理研究会 (2012.8)

高橋祐次, 高木篤也, 菅野純：多層カーボンナノチューブの慢性影響について。

平成24年度公益社団法人日本実験動物学会維持会員懇談会 (2012.11)

高橋祐次, 高木篤也, 辻昌貴, 菅野純：p53+/-マウスを用いた多層カーボンナノチューブの中皮腫発癌評価。
平成24年度「個体レベルでのがん研究支援活動」ワーク

シヨップ (2013.2)

安彦行人, 相賀裕美子*, 菅野純: 体節形成開始因子 Mesp2の領域特異的発現制御機構.

第35回日本分子生物学会年会 (2012.12)

* 国立遺伝学研究所

菅野純: 子どもの毒性学Overview.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

菅野純: リスク評価から見た放射線毒性学.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

Kanno J: Nanomaterial Toxicity, its Chronic Aspects.
The 6th International Congress of Asian Society of Toxicology (2012.7)

Kanno J: Radiation Toxicology-Differences and Similarities between Radiation and Chemicals.
the 8th Congress of Toxicology in Developing Countries (8CTDC) (2012.9)

Kanno J, Takagi A, Taquahashi Y, Futakuchi M^{*1}, Tsuda H^{*2}, Hirose A: Nanomaterial Toxicology - Importance of Chronic Toxicity Assessment.
the 8th Congress of Toxicology in Developing Countries (8CTDC) (2012.9)

^{*1} Department of Molecular Toxicology, Graduate School of Medical Sciences, Nagoya City University

^{*2} Nanomaterial Toxicology Project Laboratory, Nagoya City University, Nagoya, Japan

Kanno J, Igarashi K, Kitajima S, Aisaki K, Tanemura K: Endocrine disruptor as receptor mediated signal toxicity.

15th International Congress on Hormonal Steroids and Homones & Cancer (2012.11)

Kanno J: Cancer risk and the nuclear desaster in Japan.
The 7th Princess Chulabhorn International Science Congress-Cancer from Basic Research to Cure (2012.11)

Kanno J, Aisaki K, Igarashi K, Taquahashi Y, Kitajima

S: Percellome Toxicogenomics application to Sick Building Syndrome-level inhalation toxicity.

the 52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

佐藤薫: iPS細胞由来ニューロンの薬理学的解析.

平成24年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業公開シンポジウム (2012.5)

里吉寛*, 眞嶋悠幾*, 井手聡一郎*, 佐藤薫, 南雅文*: 胎生~新生期における鉛暴露が成熟後のラットの情動に及ぼす影響.

日本薬学北海道支部第138回例会 (2012.6)

* 北海道大学

佐藤薫: ヒトiPS細胞由来神経細胞を用いた毒性評価系の可能性.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

最上(重本)由香里, 関野祐子, 佐藤薫: 生後ラットの脳・SVZ周辺において活性化ミクログリアは神経およびグリア細胞の新生・分化を制御している.

第14回応用薬理研究会 (2012.9)

片山敦子, 守口徹*, 関野祐子, 佐藤薫: 幼弱期化学物質暴露による情緒社会性への影響の予測.

第14回応用薬理研究会 (2012.9)

* 麻布大学

高橋華奈子, 入江智彦, 関野祐子, 佐藤薫: グルタミン酸トランスポーターEAAT2機能調節機構の解析ツールとしてのエピトープ標識EAAT2の開発.

第14回応用薬理研究会 (2012.9)

佐藤薫, 栗脇淳一, 高橋華奈子, 齊藤善彦^{*1}, 岡淳一郎^{*1}, 尾谷祐子^{*2}, 謝宇^{*2}, 中澤憲一, 関野祐子, 大和田智彦^{*2}: タモキシフェンを基盤とした新規グルタミン酸トランスポーター阻害剤の開発.

第14回応用薬理研究会 (2012.9)

^{*1} 東京理科大学

^{*2} 東京大学

藤森康希*, 高木淳平*, 佐藤薫, 鈴木岳之: パロキセ

チンは炎症条件におけるミクログリアからのグルタミン酸放出を調節することにより、グルタミン酸トランスポーター機能低下を抑制する。

第35回日本神経科学大会 (2012.9)

* 慶応大学

最上 (重本) 由香里, 藤森康希*, 五十嵐良明, 関野祐子, 佐藤薫: 神経幹細胞増殖およびミクログリアに対するカーボンナノチューブの影響。

第35回日本神経科学大会 (2012.9)

* 慶応大学

高橋華奈子, 入江智彦, 関野祐子, 佐藤薫: グルタミン酸トランスポーター機能解析ツールとしてのエピトープ標識EAAT2コンストラクトの可能性—アフリカツメガエル卵母細胞強制発現系を用いて—。

第35回日本神経科学大会 (2012.9)

小口 (片山) 敦子, 門馬彰彦*, 大友ゆき*, 今井美鈴*, 秋友孝文*, 守口徹*, 関野祐子, 佐藤薫: 胎生~新生期の化学物質暴露が情緒社会性にもたらすリスクを予測するマーカー機能タンパク質遺伝子群の探索。

第35回日本神経科学大会 (2012.9)

* 麻布大学

佐藤薫, 高橋華奈子, 最上 (重本) 由香里, 大津香苗, 岡田洋平*, 岡野栄之*, 関野祐子: ヒトiPS細胞由来神経細胞標本のグルタミン酸およびATPへの反応性の株間比較。

第35回日本神経科学大会 (2012.9)

* 慶応大学

最上 (重本) 由香里, 干川和枝, 三浦麻利衣*, 関野祐子, 佐藤薫: 神経細胞とグリア細胞 (アストロサイト・ミクログリア) が共存する新規In Vitro血液脳関門モデルの開発。

日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 慶応大学

高橋華奈子, 最上 (重本) 由香里, 大津香苗, 岡田洋平*, 岡野栄之*, 関野祐子, 佐藤薫: ヒトiPS細胞由来神経細胞標本の遺伝子発現プロファイリングの株間比

較。

日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 慶応大学

片山敦子, 門馬彰彦*, 秋友孝文*, 廣末愛*, 星裕姫乃*, 守口徹*, 関野祐子, 佐藤薫: バルプロ酸幼弱期暴露が情緒社会性におよぼす影響を予測するマーカー遺伝子群の探索。

日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 麻布大学

佐藤薫, 片山敦子, 門馬彰彦*, 守口徹*, 関野祐子: バルプロ酸を胎生期あるいは生後適用したラット扁桃体の遺伝子発現マイクロアレイ解析。

第86回日本薬理学会年会 (2013.3)

* 麻布大学

最上由香里, 大野泰雄, ジェームズEゴールドマン*, 関野祐子, 佐藤薫: ミクログリアは生後初期脳室下帯の神経新生, オリゴデンドロサイト新生を促進する。

第86回日本薬理学会年会 (2013.3)

* コロンビア大学

藤森康希*, 高木淳平*, 佐藤薫, 鈴木岳之*: パロキセチンはP2X4受容体活性化の抑制によりミクログリアの活性化を要請する。

第86回日本薬理学会年会 (2013.3)

* 慶応大学

三浦麻利衣*, 佐藤薫, 鈴木岳之*: グリア型グルタミン酸トランスポーター機能に対し極長鎖脂肪酸が与える影響の検討。

第6回先端分子薬理研究会 (2012.12)

* 慶応大学

大和田智彦*¹, 佐藤薫, 栗脇淳一, 高橋華奈子, 齊藤善彦*², 岡淳一郎*², 中澤憲一, 関野祐子, 沙宇*¹, 尾谷優子*¹: タモキシフェンを基盤としたグルタミン酸トランスポーター阻害剤の開発。

第30回メデイシナルケミストリーシンポジウム (2012.11)

*¹ 東京大学

*² 東京理科大学

Sato K, Takahashi K, Shigemoto-Mogami Y, Ohtsu K, Okada Y*, Okano H*, Sekino Y: The clonal difference in response to ATP of human induced pluripotent stem cell-derived neurons.

ISSCR2012 (2012.6)

* Keio University

Sato K, Takahashi K, Shigemoto-Mogami Y, Ohtsu K, Okada Y*, Okano H*, Sekino Y: The clonal difference in response to ATP of human induced pluripotent stem cell-derived neurons.

Purine2012 (2012.5-6)

* Keio University

Sato K, Kuriwaki J, Takahashi K, Saito Y*¹, Oka J*¹, Otani Y*², Sha Y*², Nakazawa K, Sekino Y, Ohwada T*²: Discovery of a tamoxifen-related compound that suppresses glial L-glutamate transport activity without interaction with estrogen receptors.

FENS meeting 2012 (2012.7)

*¹ Tokyo University of Science

*² University of Tokyo

Takahashi Y, Katayama A, Nagase M*¹, Moriguchi T*², Sato K, Kato F*¹: Electrophysiological and transcriptional identification of the remote influence in the central amygdala following single postnatal administration of valproate in rats.

FENS meeting 2012 (2012.7)

*¹ Jikei University

*² Azabu University

Sato K, Takahashi K, Shigemoto-Mogami Y, Ohtsu K, Okada Y*, Okano H*, Sekino Y: The comparative study of the mRNA-expression of P2 receptors and glutamate receptors between neurons differentiated from 201B7 and 253G1 human induced pluripotent stem cell lines.

the 11th biennial meeting of APSN and the 55th annual

meeting of JSN (2012.9)

* Keio University

Sekino Y, Takahashi K, Shigemoto-Mogami Y, Ohtsu K, Okada Y*, Okano H*, Sato K: The clonal difference in response to ATP and L-Glutamate of human induced pluripotent stem cell-derived neurons.

the 11th biennial meeting of APSN and the 55th annual meeting of JSN (2012.9)

* Keio University

Sato K, Fujimori K*, Takaki J*, Suzuki T*, Sekino Y: Paroxetine Prevents the Functional Impairment of L-Glutamate Transporters in Inflammation by Modulating Microglial Glutamate Release.

SfN 2012 (2012.10)

* Keio University

佐藤薫：ヒトiPS細胞由来神経細胞を用いた毒性評価実現にむけた取り組み。

スーパー特区フォーラム (2013.1)

諫田泰成：Role of sphingosine kinase-1 in proliferation of cancer stem cells.

第10回幹細胞シンポジウム (2012.5)

諫田泰成, 平田尚也, 山田茂, 関野祐子：乳癌幹細胞におけるリゾリン脂質の機能解析。

第11回生命科学研究会 (2012.6)

平田尚也, 山田茂, 関野祐子, 諫田泰成：乳癌幹細胞の増殖に対するTGFβの影響。

日本薬理学会第126回関東部会 (2012.7)

諫田泰成, 山田茂, 平田尚也, 関野祐子：Embryonic carcinoma細胞の増殖に対するトリブチルスズの影響。

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

諫田泰成, 山田茂, 関野祐子：トリブチルスズ毒性に対するメタボローム解析の応用。

第3回メタロミクス研究フォーラム (2012.08)

諫田泰成：ヒトiPS細胞を用いた心毒性評価の現状と課題。

第2回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2012.9)

平田尚也, 諫田泰成: TGF β 刺激によるMEK/ERKを介した乳癌幹細胞の増殖.

第71回日本癌学会学術総会 (2012.9)

山田茂, 関野祐子, 諫田泰成: メタボロームを利用した有機スズ化合物による毒性機構の解析.

第127回薬理学会関東部会 (2012.10)

諫田泰成: 癌幹細胞を標的とする薬剤の可能性

第127回薬理学会関東部会 (2012.10)

山田茂, 関野祐子, 諫田泰成: 金属毒性に対するメタボロームの応用.

第35回日本分子生物学会年会 (2012.12)

諫田泰成, 平田尚也, 山田茂, 関野祐子: 乳癌幹細胞におけるスフィンゴシン1リン酸とNotchシグナルのクロストーク.

第35回日本分子生物学会年会 (2012.12)

大西知子, 斎藤光義*, 諫田泰成, 関野祐子: 多点電極システムを用いたヒトiPS細胞由来心筋細胞の薬理学的評価 - 試験プロトコルの標準化の試み

第4回日本安全性薬理研究会 (2013.02)

* (株)Ion Chat Research

平田尚也, 山田茂, 関野祐子, 諫田泰成: 乳癌幹細胞におけるニコチンとNotchシグナルのクロストーク.

第12回日本再生医療学会 (2013.3)

諫田泰成: 癌幹細胞の受容体を標的とした治療戦略.

第86回日本薬理学会年会 (2013.3)

平田尚也, 山田茂, 関野祐子, 諫田泰成: TGF β 刺激によるNotchシグナルを介した乳癌幹細胞の増殖機構.

第86回日本薬理学会年会 (2013.3)

山田茂, 関野祐子, 諫田泰成: ヒト胎児性癌細胞の糖輸送に対する有機スズの影響.

第86回日本薬理学会年会 (2013.3)

諫田泰成: ヒトiPS細胞の心毒性試験への応用.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

八代龍, 山田茂, 平田尚也, 板垣宏*, 関野祐子, 諫田泰成: 細胞内代謝に対するスフィンゴシンキナーゼの影響.

日本薬学会第133年会 (2013.3)

* 横浜国立大学

Kanda Y, Hirata N, Sekino Y: Role of $\alpha 7$ nicotinic acetylcholine receptor in cancer stem cells.

10th International Society for Stem Cell Research (2012.6)

Hirata N, Sekino Y, Kanda Y: Regulation of breast cancer stem cells by sphingosine-1-phosphate.

10th International Society for Stem Cell Research (2012.6)

Hayakawa T, Kunihiro T, Ando T, Uno H, Kobayashi S, Matsui E, Yada H, Kanda Y, Kurokawa J, Furukawa T: Contractile behaviors of human-induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocyte monolayers evaluated with an image-based analysis using motion vector prediction technique: A comparison with extracellular electrophysiology.

Safety Pharmacology Society 12th Annual Meeting (2012.10)

Ishida S: Development of in vitro toxicity tests using hepatocyte differentiated from human stem cells.

Workshop: "Genetic Toxicology: Opportunities to Integrate New Approaches" (2012.4)

石田誠一: 分化誘導肝細胞を用いたヒト特異的有害反応の評価.

平成24年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業公開シンポジウム (2012.5)

Dubois-Pot-Schneider H*, Fekir K*, Aninat C*, Glaise D*, Ishida S, Morel F*, Corlu A*: Reprogramming of transformed HepaRG hepatocytes in bipotent progenitors.

ISSCR2012 (2012.6)

* INSERM

Kubo T, Hori T, Kuroda Y, Miyajima A, Sunouchi M,

Corlu A^{*1}, Morel M^{*1}, Ozawa S^{*2}, Sekino Y, Ishida S: Genomic DNA methylation as a potential marker of stem cell during hepatic cell differentiation. ISSCR2012 (2012.6)

^{*1} INSERM

^{*2} Iwate Medical University

石田誠一, 久保崇, 黒田幸恵, Anne Corlu*, Fabrice Morel*, 関野祐子: 三次元培養による肝前駆細胞の分化様式の調節. 第19回肝細胞研究会 (2012.6)

* INSERM

Kubo T, Hori T, Kuroda Y, Hojyo M, Miyajima A, Sunouchi M, Corlu A^{*1}, Morel F^{*1}, Ozawa S^{*2}, Sekino Y, Ishida S: Comparative analyses of genomic DNA methylations and gene expressions in hepatic cells. 日本薬物動態学会第27回年会 (2012.11)

^{*1} INSERM

^{*2} 岩手医科大学

Ishida S, Kim S-R, Kubo T, Kuroda Y, Hojyo M, Miyajima A, Matsushita T*, Sekino Y: The comprehensive analysis of the basal metabolic functions of human fetal and adult hepatocytes. 日本薬物動態学会第27回年会 (2012.11)

* 崇城大学

石田誠一: 医薬品開発における動物細胞利用の現状と将来. 第29回医用高分子研究会講座 (2012.11)

竹澤俊明*, 石田誠一: コラーゲンビトリゲルの特徴とその開発現状~全体概要~. 日本動物実験代替法学会第25回大会 (2012.12)

* (独)農業生物資源研究所

押方歩*, 石田誠一, 竹澤俊明*: コラーゲンビトリゲル膜チャンバーを利用した肝代謝モデルの開発現状. 日本動物実験代替法学会第25回大会 (2012.12)

* (独)農業生物資源研究所

石田誠一, 久保崇, 黒田幸恵, 北條麻紀, Anne Corlu*, Fabrice Morel*, 関野祐子: 肝前駆細胞の簡便で安定的な培養維持法の開発. 日本薬学会第133年会 (2013.3)

* INSERM

石田誠一: 創薬支援のためのヒト肝薬物代謝を評価する安定かつ再現性に優れた細胞レベルでの試験系の開発. 日本薬学会第133年会 (2013.3)

宇佐見誠, 満長克祥*, 入江智彦, 宮島敦子, 関野祐子: 培養ラット胚におけるエタノールによる発生毒性のプロテオミクス解析. 第52回日本先天異常学会学術集会 (2012.7)

* 東邦大学

入江智彦, 松崎泰教*, 関野祐子, 平井宏和*: Kv3.3チャンネルのミスセンス変異は培養小脳プルキンエ細胞において細胞死と興奮性変化を引き起こす. 第35回日本神経科学大会 (2012.9)

* 群馬大学

入江智彦, 松崎泰教*, 関野祐子, 平井宏和*: 脊髄小脳変性症13型における変異型Kv3.3チャンネルは, 培養小脳プルキンエ細胞において細胞死と興奮性変化を引き起こす. 第90回日本生理学会大会 (2013.3)

* 群馬大学

関野祐子: 性差の科学的理解と男女共同参画. 第90回日本生理学会大会 (2013.3)

関野祐子: ヒトiPS細胞由来分化細胞の安全性薬理試験への応用の可能性.

平成24年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業公開シンポジウム (2013.2)

関野祐子: ヒトiPS細胞由来心筋とニューロンを用いた非臨床試験法の開発. 第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

藤枝智美, 白尾智明*, 三輪英樹*, 関野祐子: マウス

扁桃体に抑制性応答を引き起こす神経回路の光学イメージングによる解析.

第3回国際放射線神経生物学会大会 (2013.1)

* 群馬大学

藤枝智美, 白尾智明*, 三輪秀樹*, 関野祐子: 光学イメージングにより明らかになった扁桃体外側核へのフィードフォワード抑制の新しい経路.

第90回日本生理学会大会 (2013.3)

* 群馬大学

関野祐子, 勝亦憲子*, 木村純子*, 宮坂京子*, 水村和枝*, 中道友*, 小田(望月)紀子*, 白尾智明*, 鈴木裕一*, 高松研*, 内田さえ*: 生理学会員アンケート2012結果報告.

第90回日本生理学会大会 (2013.3)

* 群馬大学

原宏士朗, 藤枝智美, 入江智彦, 三輪秀樹*, 岡淳一郎*, 白尾智明*, 花尻-木倉瑠理, 合田幸広, 関野祐子: 光学的測定法により解析した扁桃体における神経応答に対するカンナビノイドの作用.

第86回日本薬理学会年会 (2013.3)

* 群馬大学

Yuko Sekino: Human iPS-derived cardiomyocyte for development of in vitro pre-clinical testing.

ILSI HESI, Stem cell-derived Cardiomyocytes as Model of Cardiac Pathology and Toxicity Workshop (2013.3)

Jung M^{*1}, Han M^{*1}, Fukuda T^{*2}, Ikeda H^{*3}, Hagino S^{*4}, Omori T^{*5}, Yamakage K^{*6}, Kojima H, Sunouchi M: International Validation Study: An Overview of Alternative Methods for Eye Irritation Test using SIRC Cells.

9th KSAAE Meeting, Korea (2012.8)

*¹ Biototech Co. Ltd., Korea

*² BOZO Research Center Inc., Tokyo Laboratory

*³ Nihon Kolmar Co.,Ltd., R&D

*⁴ Shiseido Research Center

*⁵ Doshisha University

*⁶ Hatano Research Institute, FDSC

簾内桃子: 化粧品原料評価のための眼刺激性試験代替法の動向.

日本動物実験代替法学会第25回大会シンポジウム (2012.12)

簾内桃子, 福田隆之^{*1}, 池田英史^{*2}, 鄭美淑^{*3}, 大森崇^{*4}, 田中裕美^{*4}, 山影康次^{*5}, 萩野滋延^{*6}, 小島肇: SIRC-CVS試験を用いた眼刺激性評価代替法の国際バリデーション研究 (I).

日本動物実験代替法学会第25回大会 (2012.12)

*¹ (株)ボゾリサーチセンター東京研究所

*² 日本コルマー(株)研究開発本部

*³ (株)バイオトクステック

*⁴ 同志社大学文化情報学部

*⁵ (財)食品薬品安全センター秦野研究所

*⁶ (株)資生堂リサーチセンター

Sunouchi M, Nakazawa K, Kikura-Hanajiri R, Kobayashi K*, Kojima H, Usami M: Age-dependent capability of drug metabolism in commercially available human hepatocytes.

The 52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

* Shizuoka Prefectural Agriculture and Forestry College, Iwata, Shizuoka

小川久美子, 曹永晩, 豊田武士, 大波冴子, 高見成昭, 今井俊夫*, 西川秋佳: 塩酸セミカルバジドにより誘発されたB6C3F₁マウスの血管および骨病変.

第101回日本病理学会総会 (2012.4)

* 国立がん研究センター研究所

豊田武士, 塚本徹哉^{*1}, 高須伸二, 時亮^{*2}, 田中卓二^{*3}, 立松正衛^{*4}, 西川秋佳, 小川久美子: ヘリコバクター・ピロリ感染齧歯類モデルにおけるHMG-CoA還元酵素阻害剤の化学予防効果の検討.

第19回日本がん予防学会 (2012.6)

*¹ 藤田保健衛生大学

*² (株)三井化学

*³ (株)東海細胞研究所

*⁴ 日本バイオアッセイ研究センター

高須伸二, 武藤倫弘^{*1}, 一二三佳恵^{*1}, 若林敬二^{*2}, 中釜齊^{*1}: アンジオテンシンII受容体拮抗薬のMinマウス腸ポリープ生成抑制効果.

第19回日本がん予防学会 (2012.6)

^{*1} 国立がん研究センター研究所

^{*2} 静岡県立大学

一二三佳恵^{*1}, 藤井元^{*1}, 高橋真美^{*1}, 山本真史^{*1}, 高須伸二, 小宮雅美^{*1}, 中西るり^{*1}, 志村美聖^{*1}, 野間寛陽^{*1}, 谷中昭典^{*2}, 武藤倫弘^{*1}: Metformin及びlosartan併用投与によるMinマウス腸ポリープ生成抑制.

第19回日本がん予防学会 (2012.6)

^{*1} 国立がん研究センター研究所

^{*2} 東京理科大学

Inoue K, Takahashi M, Matsuo S, Nishikawa A, Yoshida M: Effects of constitutive androstane receptor (CAR) on diethylnitrosamine (DEN) initiated liver in mice.

31st Annual Symposium of the Society of Toxicologic Pathology (2012.6)

Matsuo S, Takahashi M, Inoue K, Irie K, Tamura K, Ogawa K, Yoshida M: Effects of postnatal exposure to cyclophamide on medulloblastoma and cerebellar development in Ptch1 heterozygous mice.

31st Annual Symposium of the Society of Toxicologic Pathology (2012.6)

盛田怜子^{*}, 林仁美^{*}, 谷合枝里子^{*}, 八舟宏典^{*}, 赤根弘敏^{*}, 白木彩子^{*}, 石井雄二, 鈴木和彦^{*}, 渋谷淳^{*}, 三森国敏^{*}: Orphenadrine (ORPH) のラット肝発がんプロモーション作用に関する研究.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*} 東京農工大学

田村圭, 井上薫, 高橋美和, 松尾沙織里, 入江かをる, 小澤正吾^{*}, 小川久美子, 西川秋佳, 吉田緑: トリアゾール系抗真菌剤による肝肥大におけるCARの関与に投与用量が与える影響.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*} 岩手医科大学

川島潤^{*1}, 中村知裕^{*1}, 小川裕布子^{*1}, 代田欣二^{*1}, 渡辺元^{*2}, 永岡謙太郎^{*2}, 田谷一善^{*2}, 吉田緑, 代田眞理子^{*1}: エチニルエストラジオール新生児期曝露による雌ラットの内分泌系への遅発影響.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*1} 麻布大学

^{*2} 東京農工大学

中村知裕^{*}, 川島潤^{*}, 小川裕布子^{*}, 代田欣二^{*}, 吉田緑, 代田眞理子^{*}: 新生児期エチニルエストラジオール曝露がラットの原始卵胞数推移に及ぼす影響.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*} 麻布大学

吉田緑, 鈴木大節, 松本清司^{*1}, 代田眞理子^{*2}, 井上薫, 高橋美和, 小野敦: 日本における農薬の急性参照用量設定シミュレーション結果とその問題点.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*1} 信州大学

^{*2} 麻布大学

黒田顕, 木島綾希, 金美蘭, 松下幸平, 高須伸二, 石井雄二, 小川久美子, 西川秋佳, 梅村隆志: 既存添加物オゾケライトのラットにおける慢性毒性・発がん性併合試験.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

曹永晩, 水田保子, 豊田武士, 大波冴子, 小川久美子: グリシドール及びグリシドール脂肪酸エステルによるラット乳腺腫瘍発生修飾作用の検討.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

木島綾希, 石井雄二, 高須伸二, 松下幸平, 黒田顕, 小川久美子, 梅村隆志: *gpt* deltaラットを用いた合成抗菌剤ニトロフラントインおよびその代謝物の*in vivo*変異原性.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

山本龍一^{*1}, 鈴木和彦^{*1}, 嶋本敬介^{*2}, 木村真之^{*1}, 藤井雄太^{*1}, 盛田怜子^{*1}, 石井雄二, 渋谷淳^{*1}, 三森国敏^{*1}: Indole-3-carbinol (I3C) の26週間投与によるラット肝腫瘍促進作用に関する研究.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

*¹ 東京農工大学

*² (株)ポゾリサーチセンター

松下幸平, 木島綾希, 石井雄二, 高須伸二, 金美蘭, 黒田顕, 増井則夫*, 能美健彦, 小川久美子, 西川秋佳, 梅村隆志: レポーター遺伝子導入ラットを用いた短期発がん物質検出モデルの開発.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

* (株)日本エスエルシー

吉田緑, 田村圭, 井上薫, 高橋美和, 松尾沙織里, 入江かをる, 小川久美子, 小澤正吾*, 西川秋佳: トリアゾール系抗真菌剤による肝肥大および肝腫瘍発生にCARが果たす役割.

第27回発癌病理研究会 (2012.8)

* 岩手医科大学

Ishii Y, Takasu S, Matsushita K, Kuroda K, Nohmi T*, Ogawa K, Umemura T: Application of DNA adductome analysis to reporter gene mutation assay to understand chemical carcinogenesis.

22nd IUBMB & 37th FEBS Congress (2012.9)

* National Institute of Biomedical Innovation

高橋美和, 井上薫, 松尾沙織里, 森川朋美, 吉田緑: 17 α -ethynylestradiol (EE) の新生児期単回曝露による視床下部Kiss1遺伝子発現の変化.

第105回日本繁殖生物学会大会 (2012.9)

吉田緑, 高橋美和, 森川朋美, 井上薫, 松尾沙織里, 田谷一善*, 渡辺元*: 新生児期エストロゲン類曝露で誘発される神経内分泌系および生殖器系への遅発影響にエストロゲンレセプターが果たす役割.

第105回日本繁殖生物学会大会 (2012.9)

* 東京農工大学

鈴木和彦*, 谷合枝里子*, 盛田怜子*, 八舟宏典*, 石井雄二, 小野敦, 三森国敏*, 渋谷淳*: 異なるフタル酸エステル類の併用投与によるラット肝臓及び雄性生殖器への影響.

第154回日本獣医学会学術集会 (2012.9)

* 東京農工大学

井上薫, 高橋美和, 坂本洋平, 田村圭, 松尾沙織里, 吉田緑: Constitutive androstane receptor (CAR) 欠損マウスの肝臓におけるdiethylnitrosamine (DEN) の影響.

第154回日本獣医学会学術集会 (2012.9)

豊田武士, 塚本徹哉^{*1}, 高須伸二, 時亮^{*2}, 立松正衛^{*3}, 曹永晩, 大波冴子, 西川秋佳, 小川久美子: *Helicobacter pylori*感染スナネズミ胃発癌モデルにおけるアスピリンの化学予防効果.

第71回日本癌学会学術総会 (2012.9)

*¹ 藤田保健衛生大学

*² (株)三井化学

*³ 日本バイオアッセイ研究センター

石井雄二, 高須伸二, 松下幸平, 黒田顕, 能美健彦, 西川秋佳, 小川久美子, 梅村隆志: DNAアダクトーム解析とレポーター遺伝子変異原性試験による化学発がんのコンビネーション評価.

第71回日本癌学会学術総会 (2012.9)

高須伸二, 石井雄二, 日比大介, 松下幸平, 黒田顕, 小川久美子, 西川秋佳, 梅村隆志: フラン誘発ラット肝GST-P陽性領域におけるNrf2関連因子の発現解析.

第71回日本癌学会学術総会 (2012.9)

曹永晩, 豊田武士, 大波冴子, 水田保子, 西川秋佳, 小川久美子: グリシドール脂肪酸エステルによるラット乳腺発がん修飾作用.

第71回日本癌学会学術総会 (2012.9)

黒田顕, 石井雄二, 松下幸平, 高須伸二, 小川久美子, 梅村隆志: シトリニンの包括的*in vivo*変異原性評価.

第71回日本癌学会学術総会 (2012.9)

大波冴子, 曹永晩, 豊田武士, 堀端克良, 本間正充, 能美健彦, 西川秋佳, 小川久美子: 3-MCPDと3-MCPDのエステル化合物に関するラットを用いた*in vivo*遺伝毒性的検討と亜慢性毒性試験.

第71回日本癌学会学術総会 (2012.9)

松下幸平, 石井雄二, 高須伸二, 金美蘭, 黒田顕, 能美健彦, 西川秋佳, 小川久美子, 梅村隆志: F344 *gpt* deltaラットの自然発生腫瘍スペクトラの検索.

第71回日本癌学会学術総会 (2012.9)

Jung YT*, Choi JH*, Kim HJ*, Lee SG*, Nishikawa A,

Lee IS*, Yu MH*: Anti-inflammatory effects of *Picrasma quassioides* (Indian quassia) on LPS-activated RAW 264.7 macrophages.
第71回日本癌学会学術総会 (2012.9)

* Keimyung University

藤井万紀子*, 豊田武士, 中西速夫*, 近藤豊*, 長田啓隆*, 関戸好孝*: 悪性中皮腫におけるHippoシグナリングの欠失とTGF- β の協調によるCTGFの発現調節.
第71回日本癌学会学術総会 (2012.9)

* 愛知県がんセンター研究所

石井雄二, 高須伸二, 松下幸平, 黒田顕, 能美健彦*, 小川久美子, 梅村隆志: 肝発がん物質エストラゴールの特異的DNA付加体定量解析ならびに遺伝子突然変異誘発性.
日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

* (独)医薬基盤研究所

黒田顕, 石井雄二, 高須伸二, 木島綾希, 松下幸平, 梅村隆志: 臭素酸カリウムの腎発がん標的部位における*in vivo*変異原性.
日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

Cho YM, Toyoda T, Onami S, Mizuta Y, Nishikawa A, Ogawa K: Modifying effect of glycidol fatty acid esters on *N*-methyl-*N*-nitrosourea induced mammary carcinogenesis in SD rats.
KSNS-KSTP International Joint Symposium 2012 (2012.11)

赤木純一, 橋本恵至^{*1}, 大森治夫^{*2}, 岩井成憲^{*3}, 森谷正明^{*1}, 花岡文雄^{*2}: TLSポリメラーゼ欠損細胞と複製ベクターを用いた細胞内TLSアッセイによる紫外線誘発DNA損傷6-4光産物の損傷乗り越え複製機構の解析.
第35回日本分子生物学会年会 (2012.12)

^{*1} ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校

^{*2} 学習院大学

^{*3} 大阪大学

鈴木健司^{*1}, 赤木純一, 大橋英治^{*2}, 横井雅幸^{*1}, 大森治夫^{*1}, 花岡文雄^{*1}: PolkのRevIに依存した活性が紫外線によるDNA損傷のTLSに関与する.

第35回日本分子生物学会年会 (2012.12)

^{*1} 学習院大学

^{*2} 九州大学

松尾沙織里, 高橋美和, 井上薫, 入江かをる, 田村圭, 小川久美子, 西川秋佳, 吉田緑: Ptch1ヘテロノックアウトマウスにおけるソニックヘッジホッグ阻害剤Cyclopamineの生後暴露による髄芽腫発生抑制作用.
第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

松下幸平, 石井雄二, 高須伸二, 黒田顕, 木島綾希, 能美健彦, 小川久美子, 梅村隆志: *gpt* deltaラットを用いた短期発がん物質検出モデルの開発.
第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

石井雄二, 木島綾希, 高須伸二, 松下幸平, 黒田顕, 見玉幸夫, 小川久美子, 梅村隆志: *gpt* deltaマウスを用いた臭素酸カリウムの*in vivo*変異原性の検索とニトリロ三酢酸併用投与の影響.
第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

木島綾希, 石井雄二, 高須伸二, 松下幸平, 黒田顕, 小川久美子, 梅村隆志: 合成抗菌剤ニトロフラントインの化学構造に依存した*in vivo*変異原性.
第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

高須伸二, 石井雄二, 松下幸平, 黒田顕, 木島綾希, 見玉幸夫, 小川久美子, 梅村隆志: *gpt* deltaマウスにおける高脂肪食摂取の自然発生遺伝子突然変異に与える影響.
第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

大波冴子, Cho Young-Man, 豊田武士, 吉田緑, 西川秋佳, 小川久美子: ラットを用いた3-MCPDエステル化合物の13週間亜慢性毒性試験.
第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

豊田武士, Cho Young-Man, 大波冴子, 水田保子, 赤木純一, 鈴木勇, 西川秋佳, 小川久美子: F344ラットにおけるグリシドール脂肪酸エステル13週間反復投与毒性試験.
第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

野中瑞穂^{*1}, 小川久美子, 小野寺博志^{*1}, 中江大^{*2}, 西川秋佳: 医薬品のがん原性評価の方法について-ICH S1 EWGにおける検討内容.

第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

*¹ (独)医薬品医療機器総合機構*² 東京都健康安全研究センター

日比大介, 木島綾希, 鈴木裕太, 金美蘭, 石井雄二, 小西良子, 小川久美子, 梅村隆志: オクラトキシンAが誘発する発がん標的臓器, 腎臓の*in vivo*変異原性, アポトーシスならびにカリオメガリーに対する*p53*欠損の影響.

第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

黒田顕, 渡辺麻衣子, 日比大介, 石井雄二, 高須伸二, 木島綾希, 松下幸平, 能美健彦, 小川久美子, 小西良子, 梅村隆志: *gpt delta*ラットを用いたオクラトキシンAの欠失変異誘発メカニズムの解明.

第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

Cho Young-Man, 水田保子, 豊田武士, 大波冴子, 赤木純一, 鈴木勇, 西川秋佳, 小川久美子: グリシドール脂肪酸エステルによるラット乳腺腫瘍発生修飾作用の検討.

第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

鈴木勇, 大波冴子, Cho Young-Man, 豊田武士, 赤木純一, 水田保子, 西川秋佳, 小川久美子: モンモリロナイトを主成分とするナノクレイのラットに対する13週間混餌投与の影響.

第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

井上薫, 高橋美和, 松尾沙織里, 田村圭, 森川朋美, 小川久美子, 吉田緑: ブドウ果皮抽出物の混餌投与によりみられたラット耳下腺・腺房上皮細胞における変化について.

第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

長谷川也須子*, 久保田久代*, 小林健一*, 吉田緑, 宮川宗之*: ラットの吸入麻酔薬 (イソフルラン), 腹腔内投与麻酔薬 (メドミジン・ミダゾラム・ブトルフェノール混合剤) の4週間反復投与による影響.

第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

* (独)労働安全衛生総合研究所

隈部志野*, 佐藤順子*, 友成由紀*, 橋本知水*, 高橋美和, 吉田緑, 土居卓也*, 涌生ゆみ*, 土谷稔*: ラットEndometrial stromal sarcomaの多様性.

第29回日本毒性病理学会総会および学術集会 (2013.1)

* (株)三菱化学メディエンス

吉田緑: ヒト健康評価の現場と遺伝子改変動物を用いたメカニズム研究.

平成24年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (2013.2)

Cho YM, Toyoda T, Onami S, Mizuta Y, Nishikawa A, Ogawa K: Modifying effect of glycidol fatty acid esters on *N*-methyl-*N*-nitrosourea induced mammary carcinogenesis in rats.

52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

Matsushita K, Ishii Y, Takasu S, Kuroda K, Kijima A, Nohmi T, Ogawa K, Nishikawa A, Umemura T: A Medium-term animal model using *gpt delta* rats for predicting chemical carcinogenicity and related mechanisms of action.

52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

Ishii Y, Takasu S, Matsushita K, Kuroda K, Nohmi T, Ogawa K, Nishikawa A, Umemura T: Quantitative analysis of specific DNA adducts and *in vivo* mutagenicity following exposure to the hepatocarcinogen estragole.

52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

Takasu S, Ishii Y, Matsushita K, Kuroda K, Kodama Y, Ogawa K, Nishikawa A, Umemura T: Effects of obesity on spontaneous reporter gene mutations in *gpt delta* mice fed a high-fat diet.

52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

Onami S, Cho YM, Toyoda T, Ishii Y, Umemura T, Yoshida M, Horibata K, Honma M, Nohmi T, Nishikawa A, Ogawa K: Evaluation of toxic effects of 3-MCPD and associated esters in rats.

52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

Toyoda T, Cho YM, Onami S, Akagi J, Nishikawa A, Ogawa K: A 13-week subchronic toxicity study of gly-

cidol fatty acid esters in F344 rats.

52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

Kuroda K, Watanabe M, Ishii Y, Takasu S, Matsushita K, Kijima A, Ogawa K, Nohmi T, Nishikawa A, Sugita-Konishi Y, Umemura T: Modes of action underlying citrinin-induced renal carcinogenesis.

52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

Inoue K, Takahashi M, Sakamoto Y, Tamura K, Matsuo S, Kodama Y, Yoshida M: Toxicity of diethylnitrosamine (DEN) in the liver of constitutive androstane receptor (CAR)-knockout (KO) mice.

52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

Tamura K, Inoue K, Takahashi M, Matsuo S, Irie K, Kodama Y, Ozawa S*, Yoshida M: Liver hypertrophy is not a key event in constitutive androstane receptor (CAR)-mediated liver tumor development in mice treated with triazoles.

52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

* Iwate Medical University

Yoshida M, Suzuki D, Matsumoto K*, Inoue K, Takahashi M, Morita T, Shiota M*, Ono A: Simulation of acute reference dose (ARfD) setting for pesticides in Japan.

52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

*¹ Shinshu University

*² Azabu University

吉田緑：トキシコロジーにおける毒性病理学と卒後教育の重要性。

第155回日本獣医学会学術集会 (2013.3)

太田世志雄, 今井俊夫*¹, 小山田敏文*², 曹永晩, 小川久美子, 西川秋佳: ラット甲状腺濾胞上皮細胞の細胞増殖及び発がんに対するプロスタグランジン (PG) 合成系の影響。

第155回日本獣医学会学術集会 (2013.3)

*¹ 国立がん研究センター研究所

*² 北里大学

松下幸平, 木島綾希, 石井雄二, 高須伸二, 黒田顕, 能美健彦*, 小川久美子, 梅村隆志: F344 *gpt* deltaラットの自然発生腫瘍スペクトラの検索。

第155回日本獣医学会学術集会 (2013.3)

* (独) 医薬基盤研究所

長谷川也須子*, 久保田久代*, 小林健一*, 吉田緑, 宮川宗之*: ラットの吸入麻醉薬 (イソフルラン), 腹腔内投与麻醉薬 (メデトミジン・ミダゾラム・ブトルファンール混合剤) の2週間および4週間反復投与による影響。

第155回日本獣医学会学術集会 (2013.3)

* (独) 労働安全衛生総合研究所

小川久美子: げっ歯類を用いた *in vivo* 毒性試験における性差。

第90回日本生理学会大会 (2013.3)

本間正充: 遺伝毒性試験の最近の国際動向について。

MMS研究会第60回定例会 (2012.6)

山田雅巳: ICHS2 (R1) への対応とICHM7の進捗状況について。

JEMS/BMS研究会第47回定例会 (2012.6)

Mekenyan O*, Petkov P*, Kotov S*, Stoeva S*, Kamenska V*, Dimitrov S*, Honma M, Hayashi M*, Benigni R*, Patlewicz G*: Mechanistic models for *in vivo* liver genotoxicity and *in vivo* micronucleus based on metabolism considerations.

QSAR2012 (2012.6)

*¹ ブルガス大学

*² (公財) 食品農薬品安全性評価センター

*³ イタリア高等健康研究所

Yamada M, Masumura K, Nohmi T: Mutation accumulation in the whole genome of *E. coli* mutator strains.

United Kingdom Environmental Mutagen Society (UKEMS) 35th annual meeting (2012.7)

Kimoto T^{*1}, Horibata K, Muto S^{*2}, Sanada H^{*3}, Okamoto M^{*3}, Hashimoto K^{*4}, Itoh, S^{*4}, Uno Y^{*2}, Honma M: A Japanese interlaboratory evaluation study on *Pig-a* mutation assay for in vivo mutagenicity assessment. United Kingdom Environmental Mutagen Society (UKEMS) 35th annual meeting (2012.7)

*¹ Teijin Pharma, Ltd.

*² Mitsubishi Tanabe Pharma corp.

*³ Kaken Pharmaceutical Co., Ltd.

*⁴ Daiichi Sankyo Co., Ltd.

本間正充：①New ICH S2(R1) Guideline -Revision, Background and Highlight. ②Risk Assessment on Management of genotoxic Impurities in Pharmaceuticals. 2012 International Workshop on Genetic Toxicology (2012.8)

安井学, 鴨下渚, 本間正充：極低線量暴露を想定した新しいDNA付加体1分子による遺伝子変異解析系の基礎的研究.

日本放射線影響学会第55回大会 (2012.9)

Masumura K, Osugi N^{*}, Toyoda-Hokaiwado N, Nohmi T: Characteristics of point mutations and deletions accumulated with aging of *gpt* delta transgenic mice. The 42nd Annual Meeting of the European Environmental Mutagen Society (2012.9)

* Japan SLC, Inc.

Horibata K, Ukai A, Kimoto T^{*}, Suzuki T, Kamoshita N, Masumura K, Nohmi T, Honma M: Evaluation of *in vivo* genotoxicity induced by *N*-ethyl-*N*-nitrosourea, benzo[*a*]pyrene and 4-nitroquinoline-1-oxide by *Pig-a* and *gpt* assays.

Environmental Mutagen Society 43rd Annual Meeting, USA (2012.9)

* TEIJIN Pharma Limited

Kimoto T^{*1}, Horibata K, Muto S^{*2}, Sanada H^{*3}, Okamoto M^{*3}, Hashimoto K^{*4}, Itoh S^{*4}, Uno Y^{*2}, Honma M: A Japanese collaborative study on rat *Pig-a* assay; Report on interlaboratory difference in *Pig-a* assay using RBCs and RETs.

Environmental Mutagen Society 43rd Annual Meeting,

USA (2012.9)

*¹ 帝人ファーマ(株)

*² 田辺三菱製薬(株)

*³ 科研製薬(株)

*⁴ 第一三共(株)

Honma, M: Risk assessment and management of genotoxic impurities in pharmaceuticals.

The 3rd Asian Conference on Environmental Mutagens (2012.10)

Yamada M, Masumura K, Takamune M, Nohmi T: Analysis of mutations accumulated in the genome of *E.coli* mutator strains using a next-generation DNA sequencer.

The 3rd Asian Conference on Environmental Mutagens (2012.10)

Masumura K, Osugi N^{*}, Toyoda-Hokaiwado N, Nohmi T: Spontaneous point mutations and deletions induced in liver and testis of aged *gpt* delta transgenic mice.

The 3rd Asian Conference on Environmental Mutagens (2012.10)

* Japan SLC, Inc.

Nohmi T, Toyoda-Hokaiwado N, Yasui Y^{*1}, Takamune M, Yamada M, Muramatsu M, Masumura K, Ohta T^{*2}, Tanaka T^{*3}: Modulatory effects of capsaicin on *N*-diethylnitrosamine induced mutagenesis and hepatocarcinogenesis in *gpt* delta rats.

The 3rd Asian Conference on Environmental Mutagens (2012.10)

*¹ Rakuno Gakuen University

*² Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences

*³ The Tokai Cytopathology Institute

本間正充：遺伝毒性を如何に評価，解釈するか？ - HESI-IVGTプロジェクト -

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

鵜飼明子, 濱崎幹也^{*}, 児玉喜明^{*}, 野田朝男^{*}, 楠洋一郎^{*}, 本間正充：DNAマイクロアレイによるヒト正常細胞での放射線損傷領域のゲノムマッピング.

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

* 放射線影響研究所

高橋俊孝^{*1}, 中川ゆづき^{*1}, 豊泉友康^{*1}, 田島恵理^{*1},
西村哲治^{*2}, 本間正充, 山影康次^{*1}: カーボンナノチューブのCHL/IU培養細胞を用いた染色体異常試験 (その2).

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

^{*1} (財)食品薬品安全センター秦野研究所

^{*2} 帝京平成大学

兼丸祐紀, 鴨下渚, 佐々彰^{*}, 本間正充, 安井学: ゲノムの特定部位に導入させたプロモ化DNA付加体の突然変異誘発能の解析.

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

* 米国NIH, NIEHS

本山茂記^{*1}, 竹入章^{*1}, 和田直子^{*2}, 寺社下浩一^{*1}, 三島雅之^{*1}, 新見直子, Petr Grúz, 増村健一, 山田雅巳, 能美健彦: ベンゾ[a]ピレンの損傷乗り越えDNA複製におけるDNA polymerase κ の役割.

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

^{*1} 中外製薬株式会社・研究本部

^{*2} (株)中外医科学研究所

安井学, 鴨下渚, 本間正充: ライブセルイメージングを用いた多層カーボンナノチューブによる倍数性細胞の発生機序の解明.

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

山田雅巳, 高宗万希子, 松田知成^{*}: 次世代DNAシーケンサーを用いた変異原性試験の開発-変異スペクトラムの特徴-

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

* 京都大学大学院

松田知成^{*}, 松田陽子^{*}, 高宗万希子, 山田雅巳: 次世代DNAシーケンサーを用いた変異原性試験の開発-パイロット試験-

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

* 京都大学大学院

須井哉^{*}, 川上久美子^{*}, 根岸沙記^{*}, 山田雅巳: ハイ・スループット微生物遺伝毒性試験法の検討8.

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

* (財)食品薬品安全センター秦野研究所

木本崇文^{*1}, 堀端克良, 武藤重治^{*2}, 真田尚和^{*3}, 岡本美奈子^{*3}, 橋本和之^{*4}, 伊東悟^{*4}, 宇野芳文^{*2}, 本間正充: *Pig-a*アッセイ共同研究: ラット末梢血*Pig-a*アッセイの*in vivo*突然変異試験法としての有用性に関する比較.

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

^{*1} 帝人ファーマ(株)

^{*2} 田辺三菱製薬(株)

^{*3} 科研製薬(株)

^{*4} 第一三共(株)

高木久宜^{*}, 野崎祐次^{*}, 河田昭彦^{*}, 山田雅巳, 増村健一, 能美健彦: *gpt delta*ラットの13週間飼育試験.

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

* 日本エスエルシー(株)

堀妃佐子^{*}, 下吉里実^{*}, 高柳智美^{*}, 増村健一, 山田雅巳, 藤居互^{*}: F344系統*gpt delta*ラットを用いた突然変異試験と小核試験(末梢血, 骨髄, 肝臓, 大腸)の統合法の検討.

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

* サントリービジネスエキスパート(株)

濱田修一^{*1}, 高島理恵^{*1}, 嶋田圭祐^{*2}, 松本和美^{*3}, 川上哲^{*4}, 田中仁^{*5}, 松本浩孝^{*6}, 中井智博^{*7}, 今村匡志^{*8}, 松村奨士^{*9}, 真田尚和^{*10}, 井上健司^{*11}, 武藤重治^{*12}, 萩尾宗一郎^{*13}, 林亜耶^{*14}, 高柳智美^{*15}, 萩原庸介^{*16}, 前田晃央^{*17}, 成見香瑞範^{*18}, 高沢博修^{*1}, 小川いづみ^{*13}, 大山ワカ子^{*18}, 涌生ゆみ^{*1}, 川迫一史^{*1}, 佐野正樹^{*5}, 大橋信之^{*5}, 森田健, 小島肇, 林真^{*5}, 本間正充: 反復投与による肝臓小核試験法の有用性の検討: MMS共同研究の報告.

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

^{*1} 三菱化学メディエンス(株)

^{*2} アステラス製薬(株)

^{*3} アステラスリサーチテクノロジー(株)

^{*4} 旭化成ファーマ(株)

*⁵ (公財)食品農医薬品安全性評価センター

*⁶ (一財)食品薬品安全センター

*⁷ 北興化学工業(株)

*⁸ (株)イナリサーチ

*⁹ 花王(株)

*¹⁰ 科研製薬(株)

*¹¹ マルホ(株)

*¹² 田辺三菱製薬(株)

*¹³ 日産化学工業(株)

*¹⁴ (株)新日本科学

*¹⁵ サントリービジネスエキスパート(株)

*¹⁶ 大正製薬(株)

*¹⁷ 東レ(株)

*¹⁸ (株)ヤクルト本社

大山ワカ子^{*1}, 成見香瑞範^{*1}, 岡田恵美子^{*1}, 藤石洋平^{*1}, 高柳智美^{*2}, 堀妃佐子^{*2}, 松村奨士^{*3}, 池田直弘^{*3}, 夏目匡克^{*4}, 田中仁^{*4}, 高島理恵^{*5}, 松本浩孝^{*6}, 須井哉^{*6}, 浅野哲秀^{*7}, 森田健, 小島肇, 本間正充, 濱田修一^{*5}, 林真^{*4}: 反復投与による消化管小核試験法の有用性の検討: MMS共同研究の報告.

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

*¹ (株)ヤクルト本社

*² サントリービジネスエキスパート(株)

*³ 花王(株)

*⁴ (公財)食品農医薬品安全性評価センター

*⁵ 三菱化学メディエンス(株)

*⁶ (一財)食品薬品安全センター

*⁷ 近畿大学

堀端克良, 石川恵生^{*1}, 山内一己^{*2}, 鶴飼明子, 本間正充: *Pig-a/PIG-A* 遺伝毒性試験の汎用性: ヒト *PIG-A* アッセイの確立とマウス *Pig-a* アッセイによる放射線遺伝毒性評価.

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

*¹ 山形大学

*² (財)環境科学技術研究所

増村健一, 大杉直弘^{*}, 豊田尚美, 石井雄二, 梅村隆志, 高木久宜^{*}, 西川秋佳, 本間正充, 能美健彦: *gpt delta* マウスおよびラットを用いた自然突然変異および誘発突然変異の解析.

日本環境変異原学会第41回大会 (2012.11)

* 日本エスエルシー(株)

本間正充: 医薬品中に含まれる遺伝毒性不純物の安全性評価とTTCの考え方.

第10回食品安全フォーラム (2012.11)

山田雅巳, 高宗万希子, 増村健一, 能美健彦: 大腸菌 *mutM/mutY* 二重変異株のゲノムに蓄積した突然変異の3か月間の推移の次世代シーケンサーによる解析.

第35回日本分子生物学会年会 (2012.12)

清水雅富^{*}, 高橋文太^{*}, 三瓶謙斗^{*}, 福永友紀^{*}, 細井香葉^{*}, 和田真美^{*}, 細田明美^{*}, ピーターグルーズ, 碓井之雄^{*}: 脂質過酸化物質 4-oxo-nonenal は出芽酵母の突然変異を誘導する.

第35回日本分子生物学会年会 (2012.12)

* 東京医療保健大学

安井学, 兼丸祐紀^{*}, 鴨下渚, 佐々彰, 本間正充: Mutation analysis of site-specific brominated DNA adducts located in the genome of human lymphoblastoid cells.

ゴードン研究会議 (ほ乳類細胞のDNA修復) (2013.2)

* 昭和大学

谷口正之^{*1}, 橋本健司^{*1}, 田嶋幸司^{*1}, 杉山圭一, 加藤哲男^{*2}, 落合秋人^{*1}, 田中孝明^{*1}: LPS刺激細胞を用いた米由来抗菌CLペプチドの抗炎症作用の解析.

日本農芸化学会大会 (2013.3)

*¹ 新潟大自然研

*² 東京歯科大学

本間正充, 佐治哲也^{*}: The effect of BLM helicase deficiency on double strand break repair.

Keystone Symposium, Genomic Instability and DNA Repair (2013.3)

* (独)労働安全衛生総合研究所

Inoue A^{*}, Honma M, Lahti JM^{*}: ChlR1 and Cohesin protect replication forks by distinct mechanism.

Keystone Symposium, Genomic Instability and DNA Repair (2013.3)

* St. Jude Children's Research Hospital, USA

Hirose A, Ono A, Hirata-Koizumi M, Serizawa H^{*1}, Su-

naga M^{*2}, Furukawa M^{*2}, Kamata E, Nishimura T: Repeated dose 28-day oral toxicity studies of single- and multi-walled carbon nanotubes in rats.
The 48th EUROTOX2012 (2012.6)

^{*1} (株)ボゾリサーチセンター

^{*2} (株)化合物安全性研究所

Ono A: Stably transfected estrogen receptor alpha transactivation assay using HeLa9903 cell line as in vitro method to screen the endocrine disruption potentials of chemicals.
2012 World Congress on In Vitro Biology (2012.6)

Hirose A, Takahashi M, Kato H, Doi Y^{*1}, Hagiwara A^{*1}, Hirata-Koizumi M, Ono A, Kubota R, Nishimura T^{*2}: Repeated dose toxicity of fullerene C60 by gavage for a month in rats.

The 6th International Congress of Asian Society of Toxicology (2012.7)

^{*1} (株)DIMS医科学研究所

^{*2} 帝京平成大学

小野敦: 急性参照用量 (Acute reference dose) と急性曝露評価の必要性.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

森川裕二^{*1}, 上原健城^{*2}, 中津則之^{*1}, 小野敦, 山田弘^{*1}, 大野泰雄, 漆谷徹郎^{*1,3}: トキシコゲノミクスによる肝臓の小胞体ストレス評価マーカーの探索.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*1} (独)医薬基盤研究所

^{*2} 塩野義製薬(株)

^{*3} 同志社女子大学

水川裕美子^{*1}, 森川裕二^{*2}, 中津則之^{*2}, 小野敦, 山田弘^{*2}, 大野泰雄, 漆谷徹郎^{*1,2}: ヒト肝細胞トランスクリプトームデータベースを用いたペルオキシソーム増殖因子活性化受容体 (PPAR) α アゴニストの検出とその検証.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*1} 同志社女子大学

^{*2} (株)医薬基盤研究所

南圭一^{*1}, 新田浩之^{*1}, 上原健城^{*2}, 上西千晶^{*3}, 五十嵐芳暢^{*3}, 神吉将之^{*4}, 木野潤一^{*5}, 阿部香織^{*5}, 堀之内彰^{*6}, 小野敦, 山田弘^{*3}, 漆谷徹郎^{*3,7}, 大野泰雄: シスプラチン投与ラット尿サンプルにおけるmiRNA発現解析.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*1} 小野薬品工業(株)

^{*2} 塩野義製薬(株)

^{*3} (独)医薬基盤研究所

^{*4} アステラス製薬(株)

^{*5} 大塚製薬(株)

^{*6} 武田薬品工業(株)

^{*7} 同志社女子大学

南圭一^{*1}, 上原健城^{*2}, 林仁美^{*3,4}, 三森国敏^{*3}, 大村功^{*5}, 神吉将之^{*5}, 小野敦, 山田弘^{*6}, 大野泰雄, 漆谷徹郎^{*6,7}: ラット肝2段階発がんモデルを用いた肝発がんの分子毒性学的研究-4. レクチンアレイを用いた肝臓の糖鎖プロファイル解析.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*1} 小野薬品工業(株)

^{*2} 塩野義製薬(株)

^{*3} 東京農工大学

^{*4} 岐阜大学大学院

^{*5} アステラス製薬(株)

^{*6} (独)医薬基盤研究所

^{*7} 同志社女子大学

上原健城^{*1,2}, 森川裕二^{*2}, 林仁美^{*3,4}, 三森国敏^{*3}, 神吉将之^{*5}, 大村功^{*5}, 南圭一^{*6}, 中津則之^{*2}, 小野敦, 山田弘^{*2}, 大野泰雄, 漆谷徹郎^{*2,7}: ラット肝2段階発がんモデルを用いた肝発がんの分子毒性学的研究-1. トキシコゲノミクス及び病理組織学的アプローチによる肝発がん物質のイニシエーション活性の検索.

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*1} 塩野義製薬(株)

^{*2} (独)医薬基盤研究所

^{*3} 東京農工大学

^{*4} 岐阜大学大学院

^{*5} アステラス製薬(株)

^{*6} 小野薬品工業(株)

^{*7} 同志社女子大学

鈴木和彦^{*1}, 谷合枝里子^{*1,2}, 小野敦, 石井雄二, 盛田

怜子^{*1,2}, 八舟宏典^{*1,2}, 三森国敏^{*1}, 渋谷淳^{*1}: 異なるフタル酸エステル類の90日間併用混餌投与によるラットの肝臓と雄性生殖器への影響の相互作用。

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*1} 東京農工大学

^{*2} 岐阜大学連合大学院

神吉将之^{*1}, 上原健城^{*2}, 林仁美^{*3,4}, 三森国敏^{*3}, 大村功^{*1}, 南圭一^{*5}, 中津則之^{*6}, 小野敦, 山田弘^{*6}, 大野泰雄, 漆谷徹郎^{*6,7}: ラット肝2段階発がんモデルを用いた肝発がんの分子毒性学的研究-2. 肝臓および血漿における網羅的マイクロRNA発現解析とバイオマーカー探索。

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*1} アステラス製薬(株)

^{*2} 塩野義製薬(株)

^{*3} 東京農工大学

^{*4} 岐阜大学大学院

^{*5} 小野薬品工業(株)

^{*6} (独)医薬基盤研究所

^{*7} 同志社女子大学

大村功^{*1}, 上原健城^{*2,3}, 林仁美^{*4,5}, 三森国敏^{*4}, 神吉将之^{*1}, 南圭一^{*6}, 中津則之^{*3}, 小野敦, 山田弘^{*3}, 大野泰雄, 漆谷徹郎^{*3,7}: ラット肝2段階発がんモデルを用いた肝発がんの分子毒性学的研究-3. 次世代シーケンサーを用いた肝臓における網羅的DNAメチレーション解析。

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*1} アステラス製薬(株)

^{*2} 塩野義製薬(株)

^{*3} (独)医薬基盤研究所

^{*4} 東京農工大学

^{*5} 岐阜大学大学院

^{*6} 小野薬品工業(株)

^{*7} 同志社女子大学

平田睦子, 藤井咲子^{*}, 古川正敏^{*}, 川村智子, 高橋美加, 松本真理子, 加藤日奈, 小野敦, 広瀬明彦: パーフルオロドデカン酸の反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験。

第39回日本毒性学会学術年会 (2012.7)

^{*} (株)化合物安全性研究所安全性研究部

水川裕美子^{*1}, 森川裕二^{*2}, 中津則之^{*2}, 小野敦, 山田弘^{*2}, 大野泰雄, 漆谷徹郎^{*1}: ラット肝トランスクリプトームデータベースを用いた血液凝固不全の判別とその検証。

日本薬学会第133年会 (2013.3)

^{*1} 同志社女子大学薬学部

^{*2} (独)医薬基盤研究所

Okubo S^{*1}, Miyamoto M^{*1}, Takami K^{*1}, Kanki M^{*3}, Ono A, Nakatsu N^{*2}, Yamada H^{*2}, Ohno Y, Urushidani T^{*2,4}: Identification and Quantitative Evaluation of Novel Circulating Liver-Specific mRNAs in Rats Treated with Various Hepatotoxic Compounds: Validation for Biomarkers of Drug-Induced Liver Injury.

52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

^{*1} Takeda Pharmaceutical Company Limited

^{*2} National Institute of Biomedical Innovation

^{*3} Astellas Pharmaceutical Incorporated

^{*4} Doshisha Women's College of Liberal Arts

Ono A, Ikeya M^{*1}, Suzuki T^{*2}, Nishimura T^{*3}, Kawamura T, Takahashi M, Matsumoto M, Kato H, Hirata-Koizumi M, Hirose A: A Combined Repeated Dose and Reproductive/Developmental Toxicity Screening Study of Perfluoroundecanoic Acid in Rats.

52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (2013.3)

^{*1} Bozo Research Center Inc.

^{*2} Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

^{*3} Teikyo Heisei University Takeda Pharmaceutical Company Limited

高橋美加, 松本真理子: OECD高生産量化学物質初期評価会議 (SIAM) における日本の取り組み。

化学生物総合管理学会第9回学術総会 (2012.9)